

テーブルディスカッション

参考資料

<目次>

視点① 仙台を磨き伝える ～世界に輝く杜の都の深化と継承～	3
視点② 仙台でともに生きる ～多様性が生きるまちの実現～	13
視点③ 仙台で暮らす ～地域コミュニティの強化～	20
視点④ 仙台で育つ ～子ども・子育て応援まちづくり～	30
視点⑤ 仙台で学ぶ・活かす ～学びの環境づくりとチャレンジ応援～	42
視点⑥ 仙台で働く ～働く場所として選ばれる環境づくり～	48
視点⑦ 躍動する仙台を創る ～都心再構築と交流都市づくり～	61

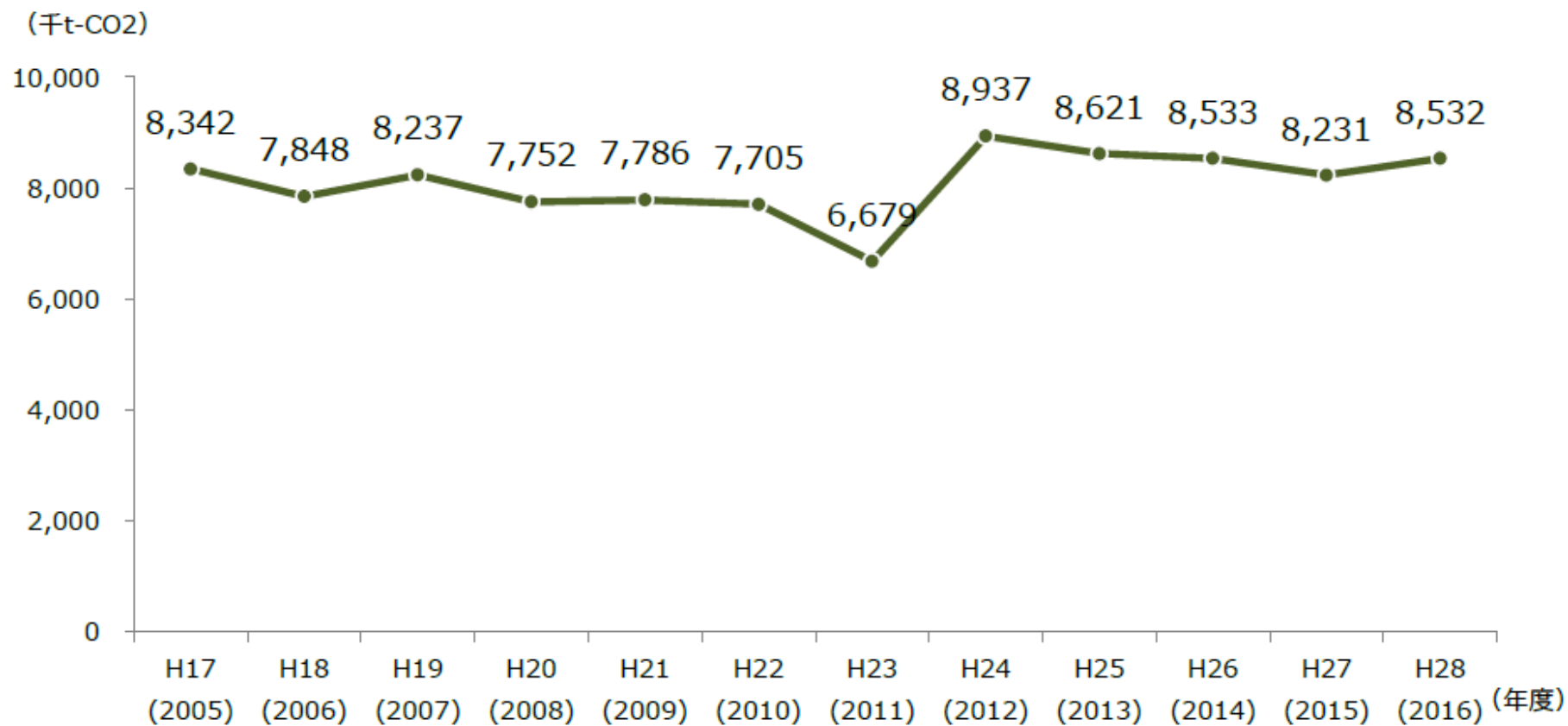
本資料は、審議会資料「仙台市の現状に関する基礎データ集」「分野ごとの将来見通し」

のほか、市の分野別計画等に掲載されているデータを中心に作成したものです。

温室効果ガス排出量

視点①仙台を磨き伝える

温室効果ガス排出量は震災後に急増しており、その後、震災前の水準まで戻っていない。



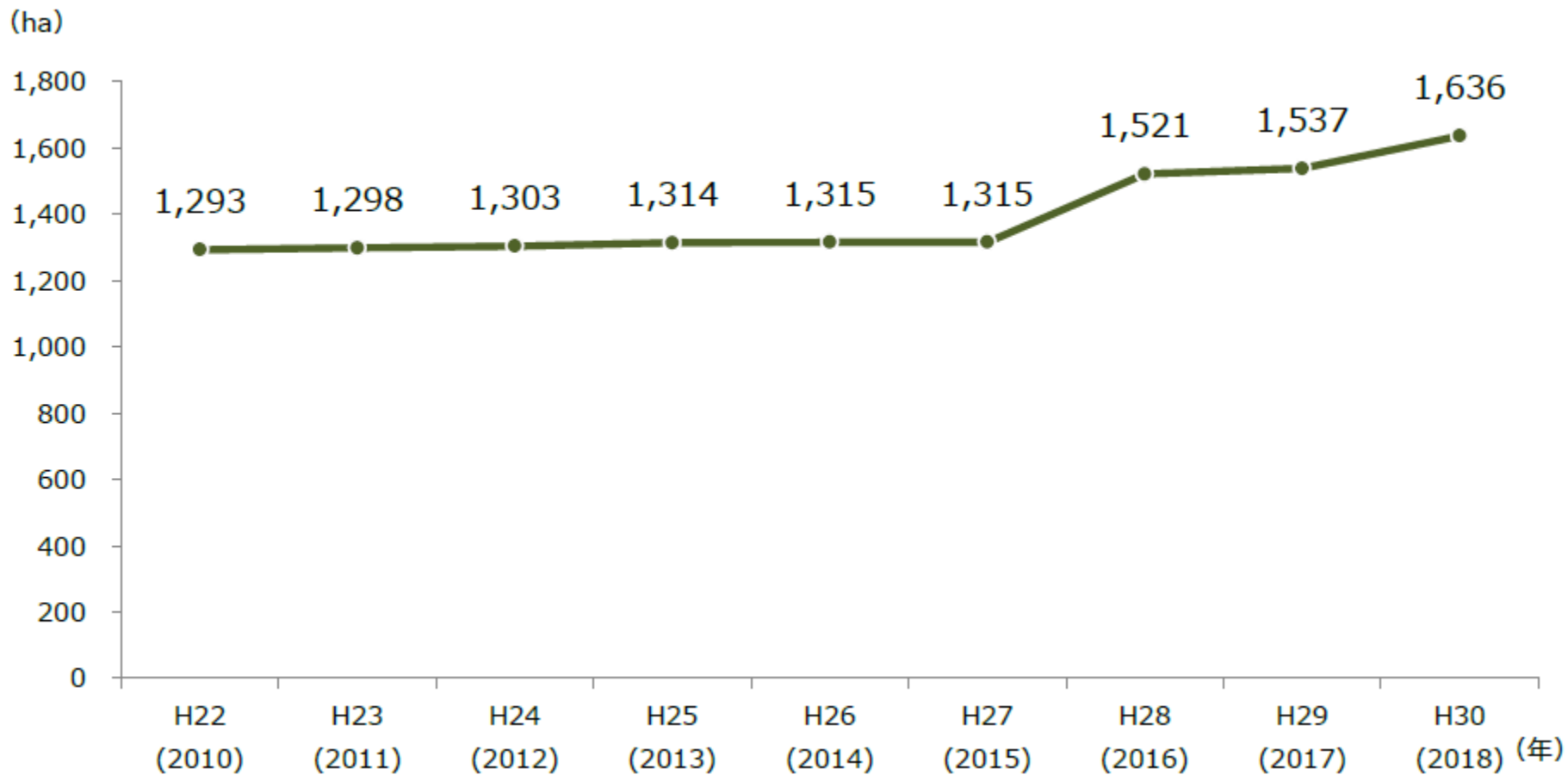
出典：仙台市の温室効果ガス排出量（環境局）

注：H28年度は速報値。各種統計資料が過去に遡って更新される場合があるため、数値が変更となる可能性がある。

都市公園面積

視点①仙台を磨き伝える

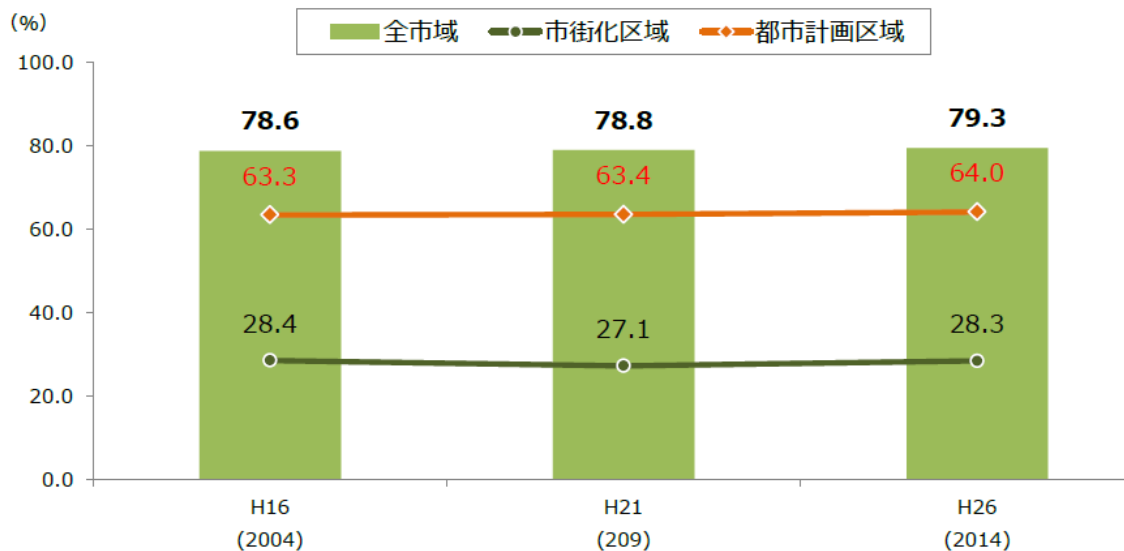
H30年の都市公園面積は1,636haとなっており、近年は増加傾向にある。



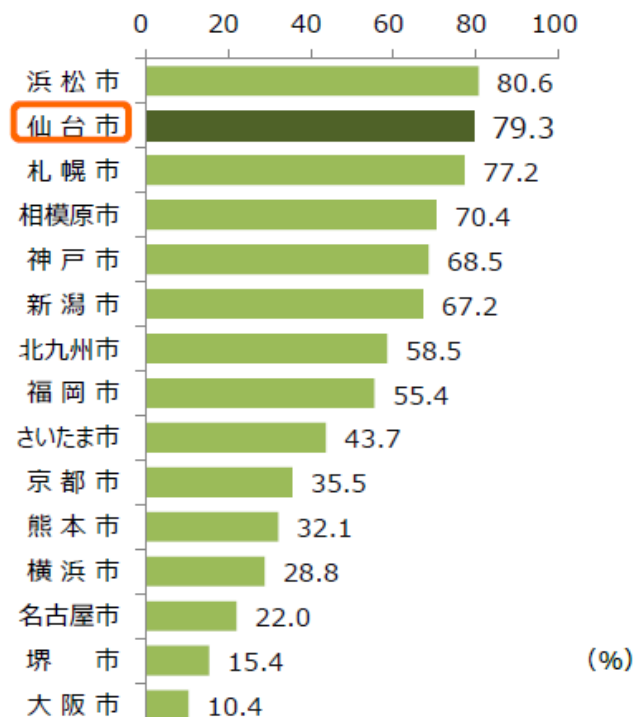
出典: 建設局資料

注: 各年4月1日

H26年度時点の緑被率は79.3%であり、政令市で2番目に高い。

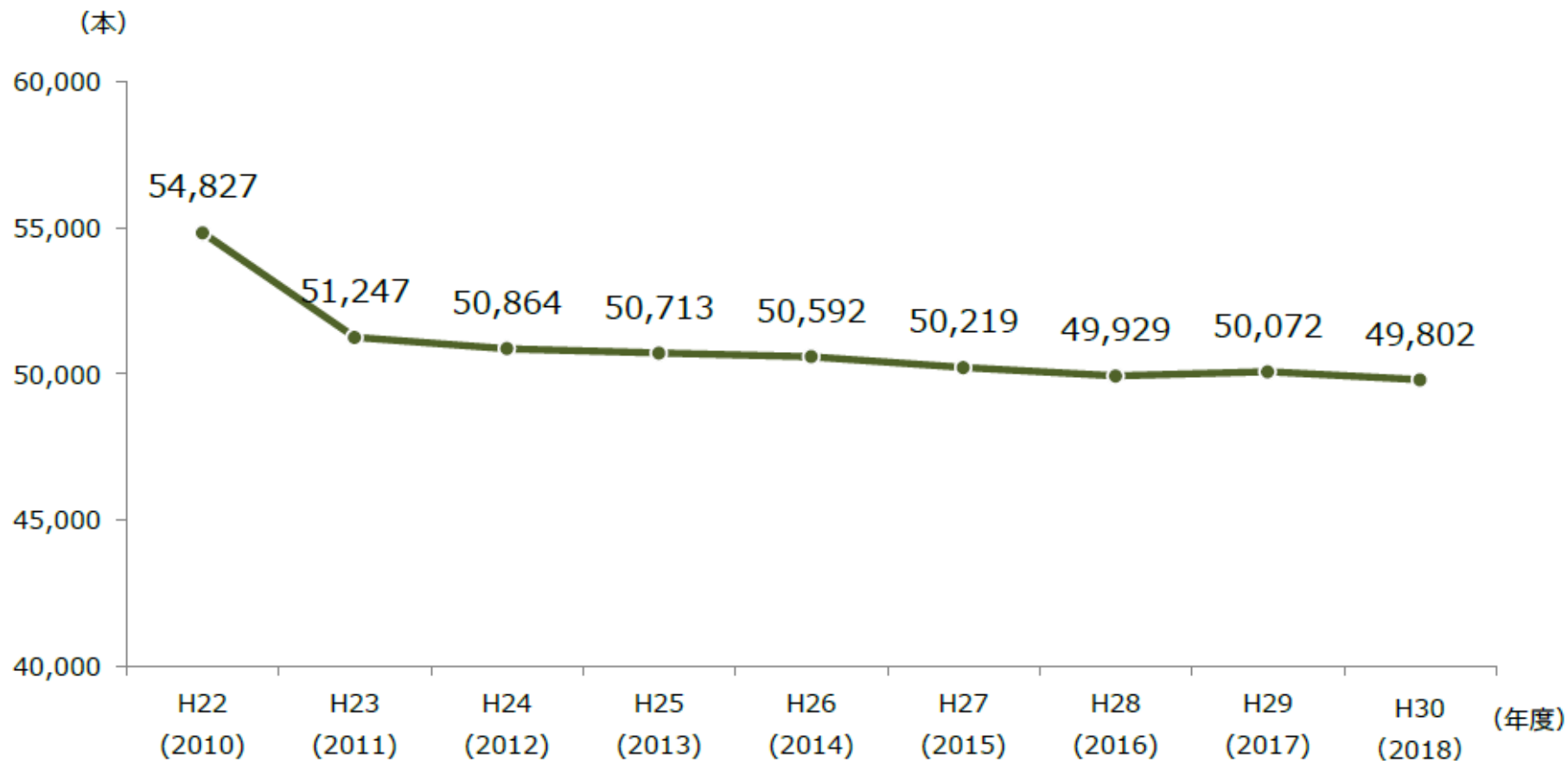


政令市



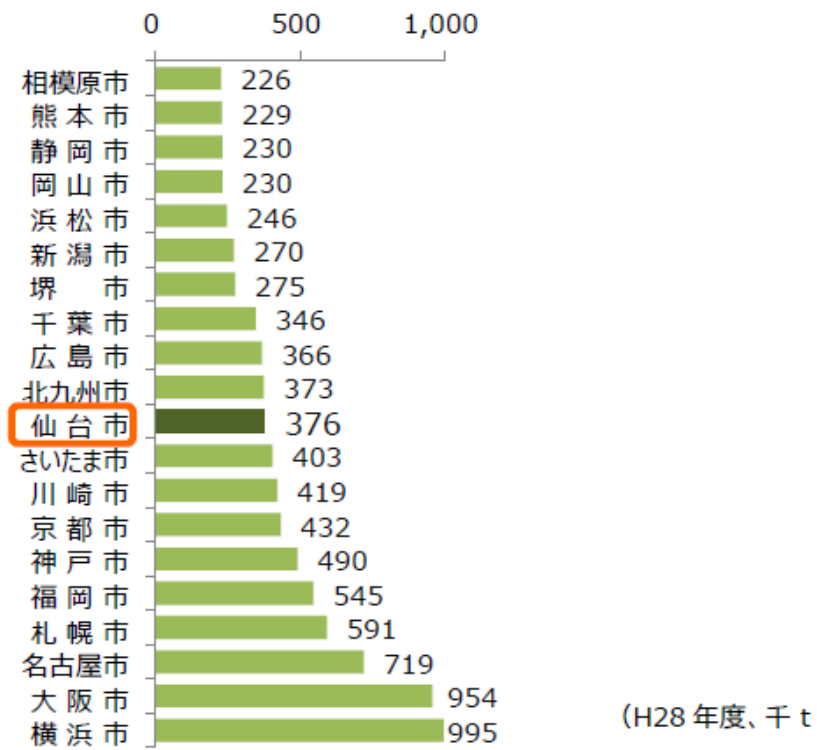
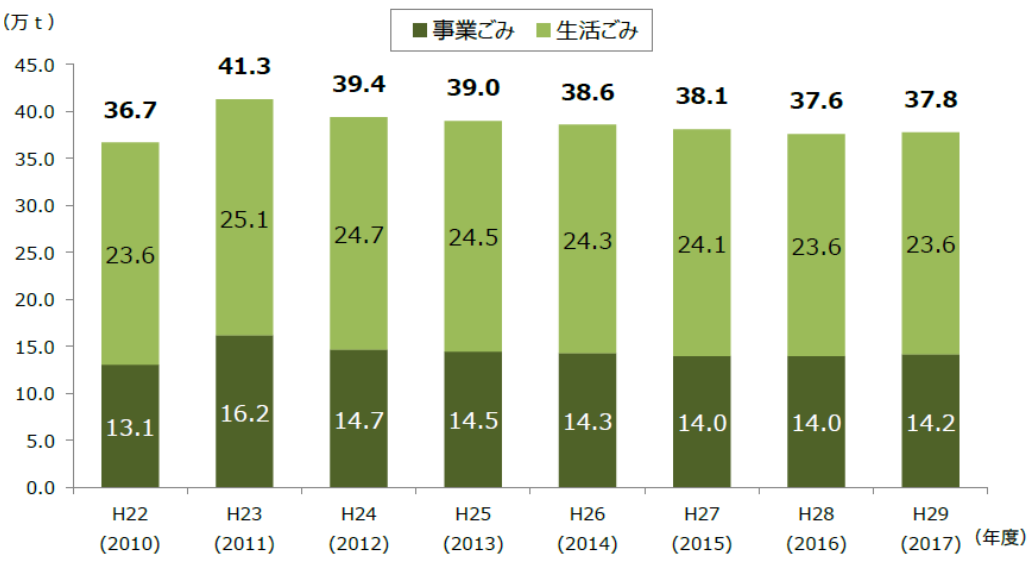
街路樹(高木)植栽状況

H30年度時点で、街路樹(高木)本数は約5万本であり、近年減少傾向にある。



ごみ総量は震災後に急増しており、その後も震災前の実績まで回復していない。
政令市では11番目である。

政令市

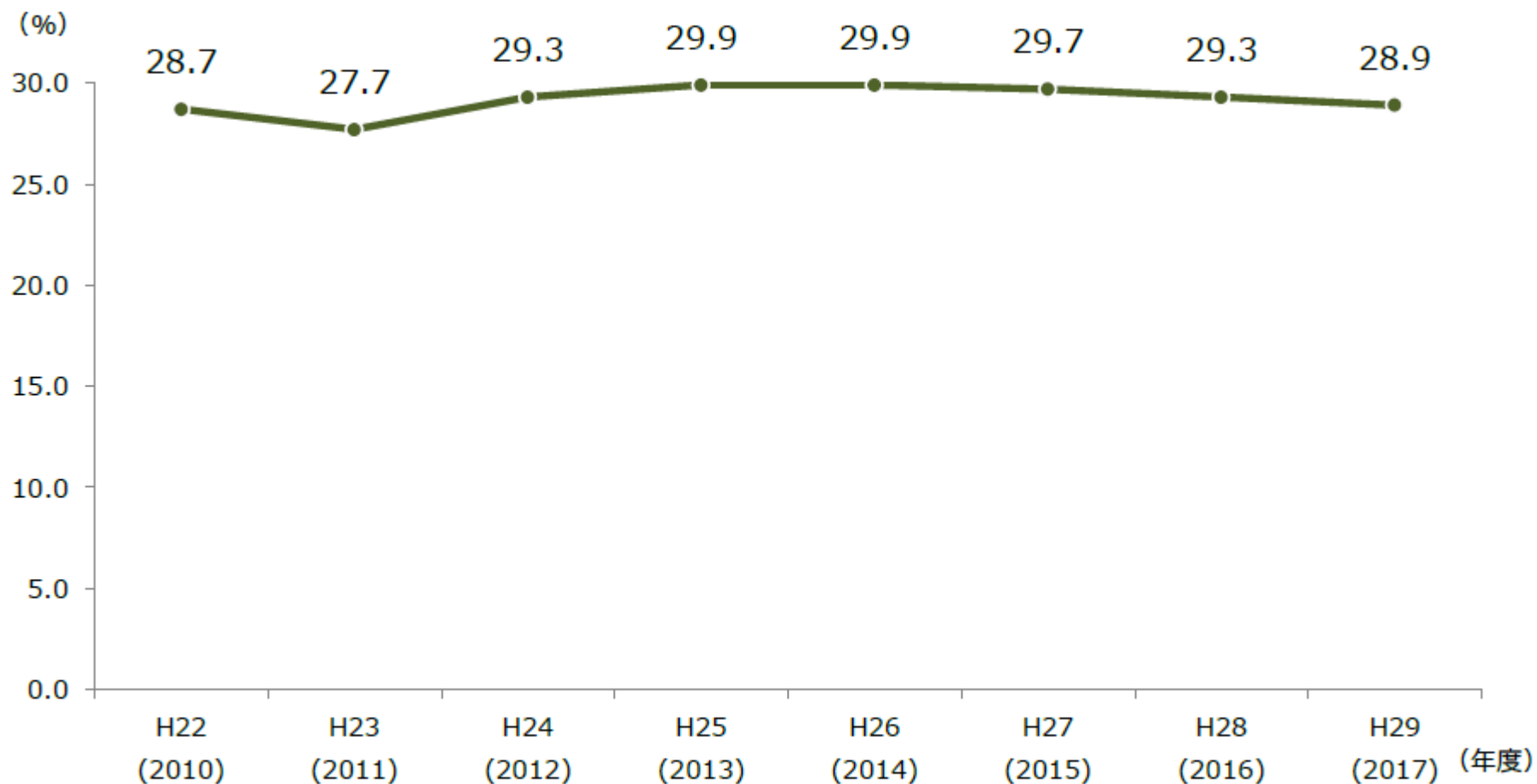


出典:【左】事業概要(環境局)、【右】一般廃棄物処理実態調査(環境省)
注:ごみ総量=生活ごみ・事業ごみの量の合計。

リサイクル率

視点①仙台を磨き伝える

リサイクル率はH23年度に一時的に低下したが、その後は3割弱で推移している。



住宅の耐震化率

視点①仙台を磨き伝える

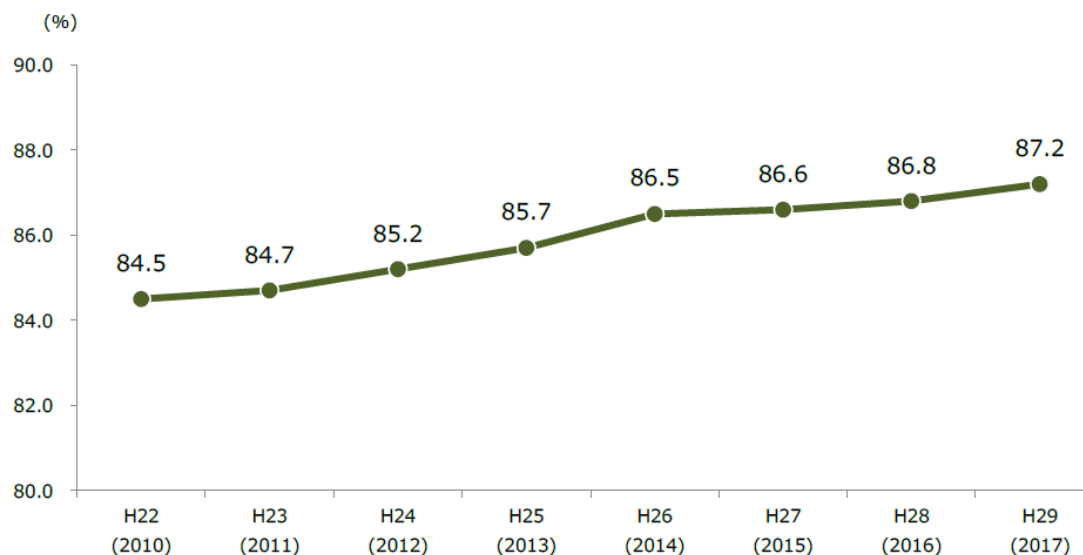
H25年度時点で、住宅の耐震化率は90%であり、徐々に上昇している。



水道管の耐震化率

視点①仙台を磨き伝える

H28年度時点で、水道管の耐震化率は86.8%であり、徐々に上昇している。
政令市では4番目に高い。



政令市



4位
(17政令市中)

(H28年度、%)

出典：【左】水道局資料、【右】水道事業における耐震化の状況(厚生労働省)

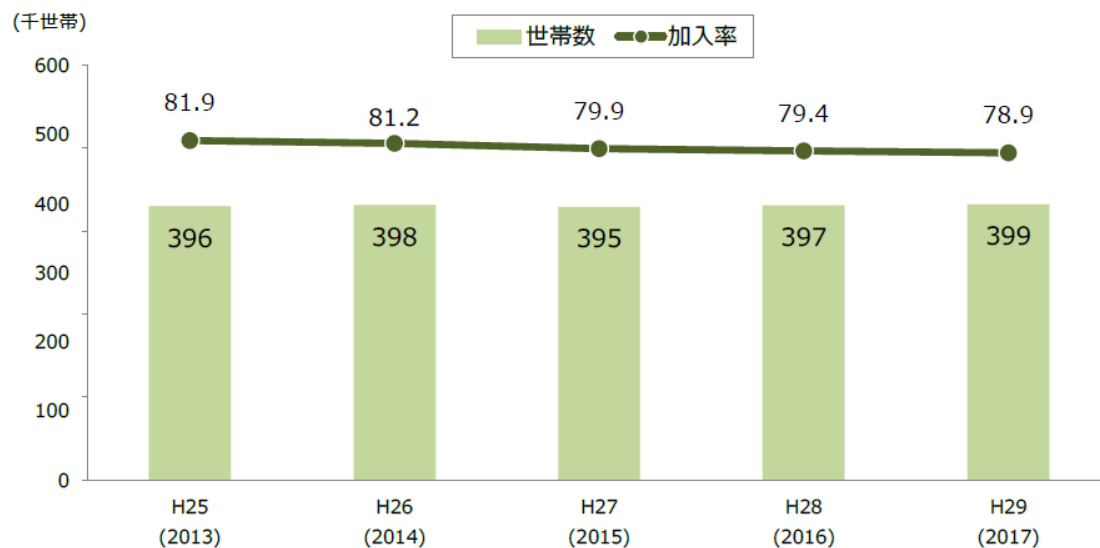
注：【左】水道管の耐震化率＝耐震性を有する水道管路の延長/水道管路の総延長×100

【右】政令市、東北各県のデータは基幹管路の「耐震適合率」＝耐震適合性のある管の延長/基幹管路総延長。神戸市は市街地に限る。

自主防災組織加入世帯数及び加入率

視点①仙台を磨き伝える

自主防災組織加入世帯数は約40万世帯であり、加入率は徐々に低下している。
都道府県を含む政令市では11番目である。



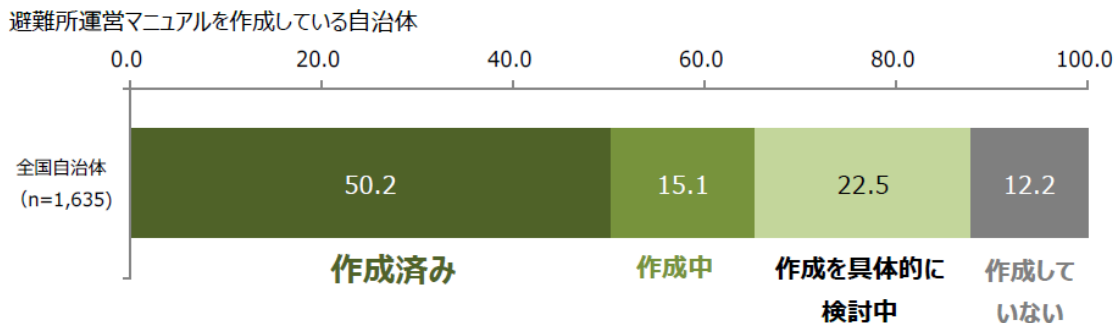
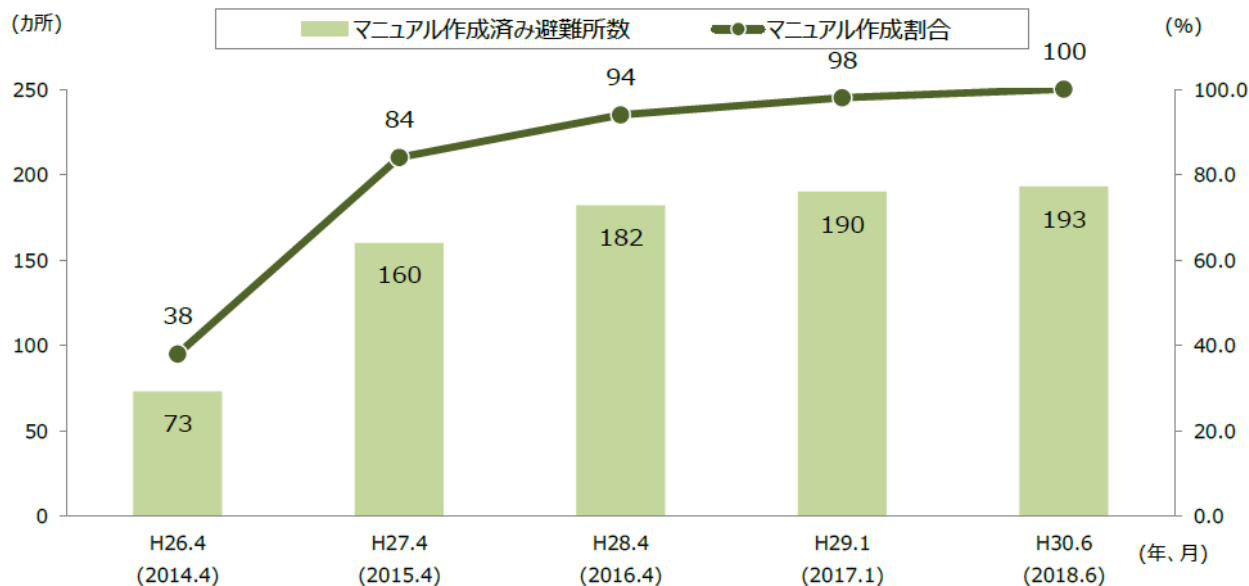
政令市を含む道府県



出典：【左】仙台市消防概況（消防局）、【右】地方防災行政の現況（総務省）

注：【右】自主防災組織カバー率（管内世帯率/自主防災組織がその活動範囲としている地域の世帯数）を表す。

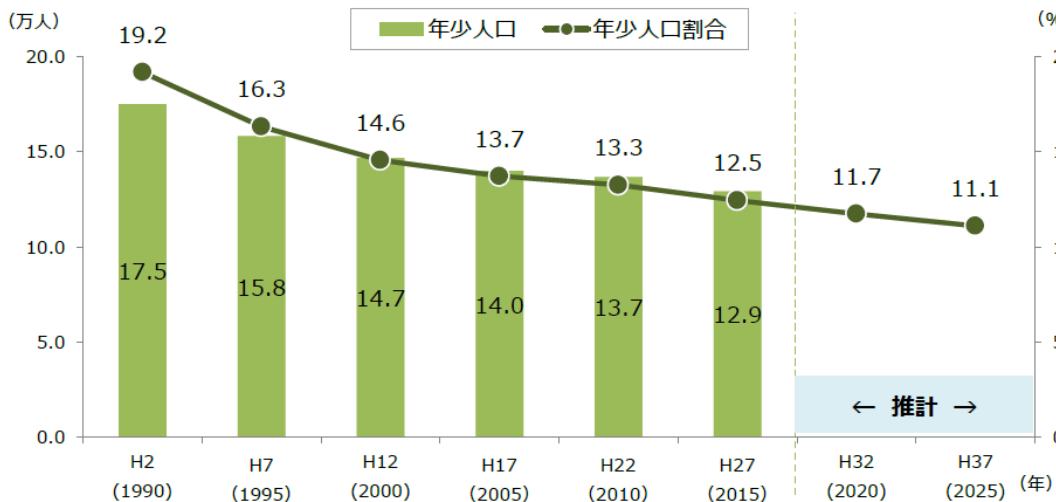
193カ所すべての避難所で、地域版避難所運営マニュアルが作成済みである。



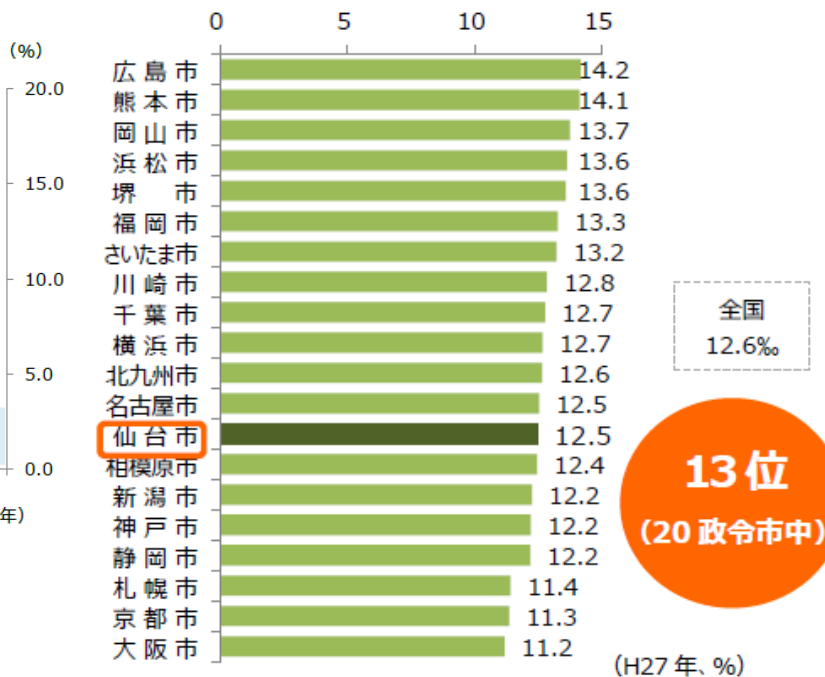
年少人口・割合

視点②仙台でともに生きる

年少人口・割合はともに減少しており、H27年の子どもの人数は25年前と比べて4.6万人減少し、人口比でも6.7%低下している。政令市では13番目である。



政令市



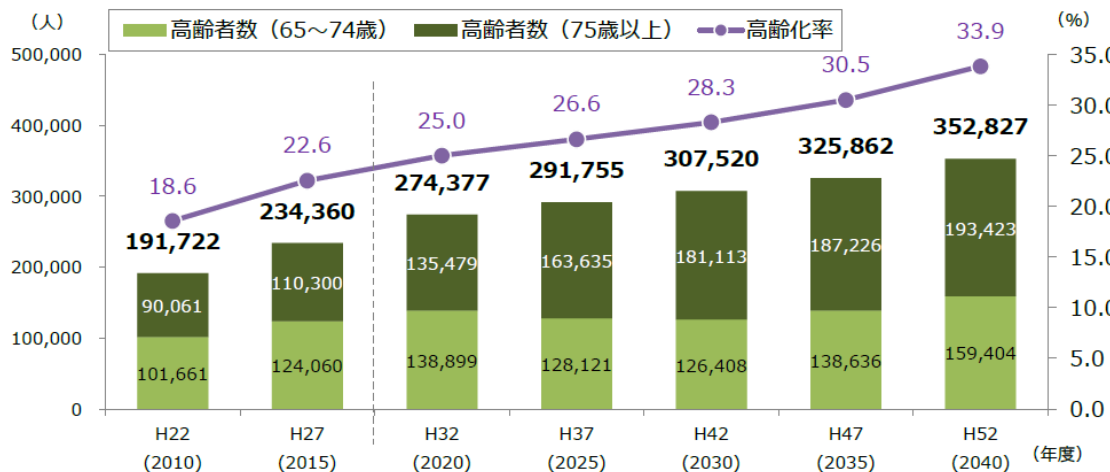
出典:【左】国勢調査結果(総務省統計局)、仙台市将来人口推計(まちづくり政策局)、【右】国勢調査結果(総務省統計局)

注:0~14歳人口。各年10月1日。【左】H32・37値は推計値。

高齢者数・高齢化率

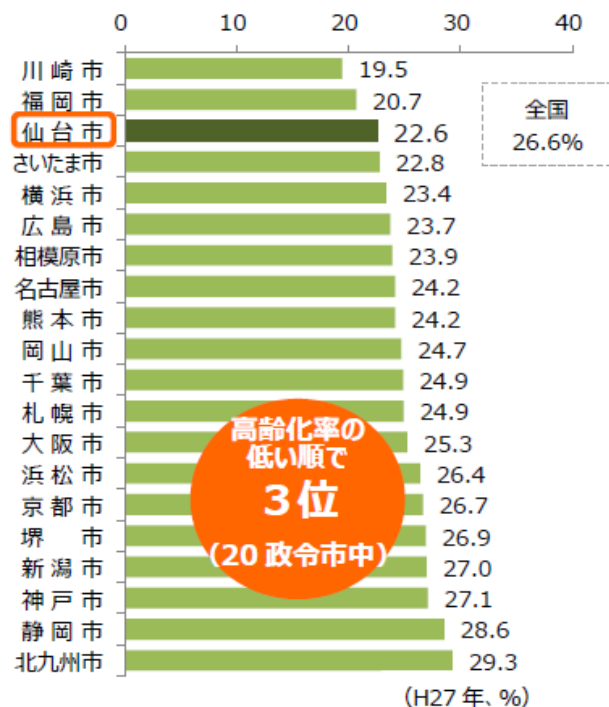
視点②仙台でともに生きる

H27年度の高齢化率は22.6%だが、20年後には30%を超えることが見込まれている。2040年には高齢化率は33.9%となり、高齢者人口は35万人となる見込み。政令市では3番目に低い。



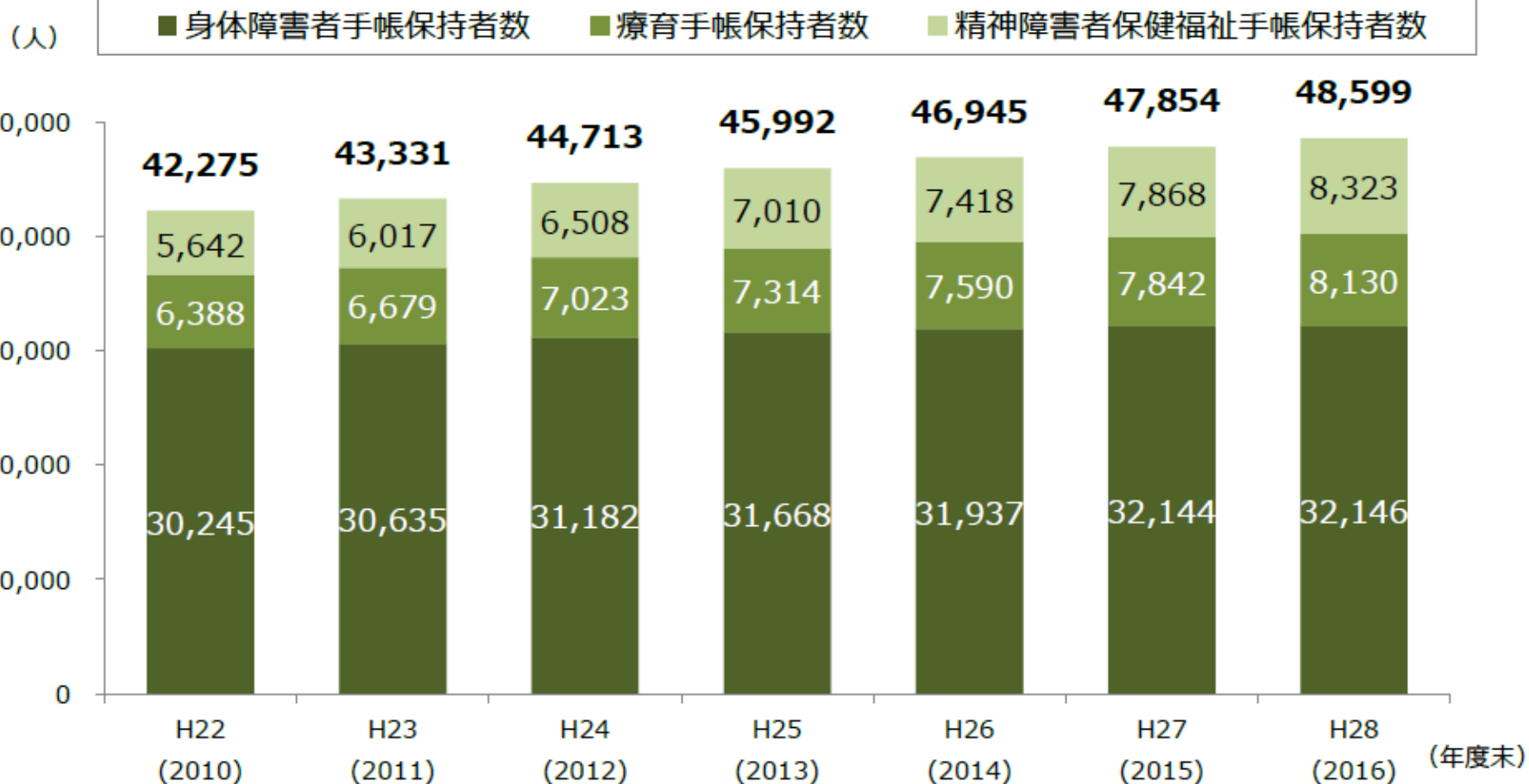
注：H27年度までは実績、H32年以降は推計。人口総数（実績）は年齢不詳を含まない。

政令市



障害者手帳所持者数

障害者手帳所持者数は特に精神障害、知的障害で増加傾向にあり、H28年度時点で48,599人であり、6年間で6,000人増加している。

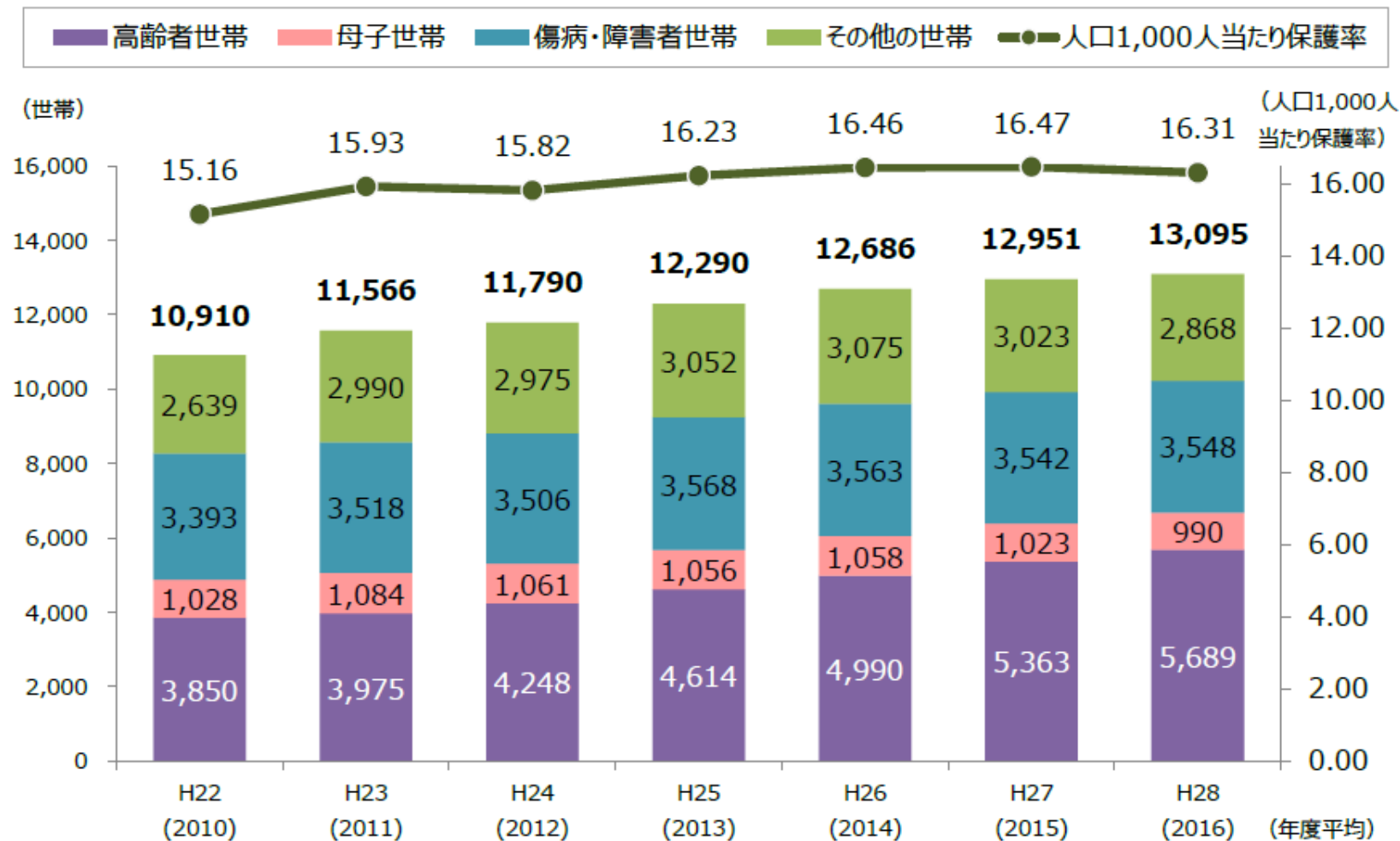


出典：健康福祉局資料

注：身体障害者手帳保持者数＋療育手帳保持者数＋精神障害者保健福祉手帳保持者数の合計。

生活保護世帯数・保護率

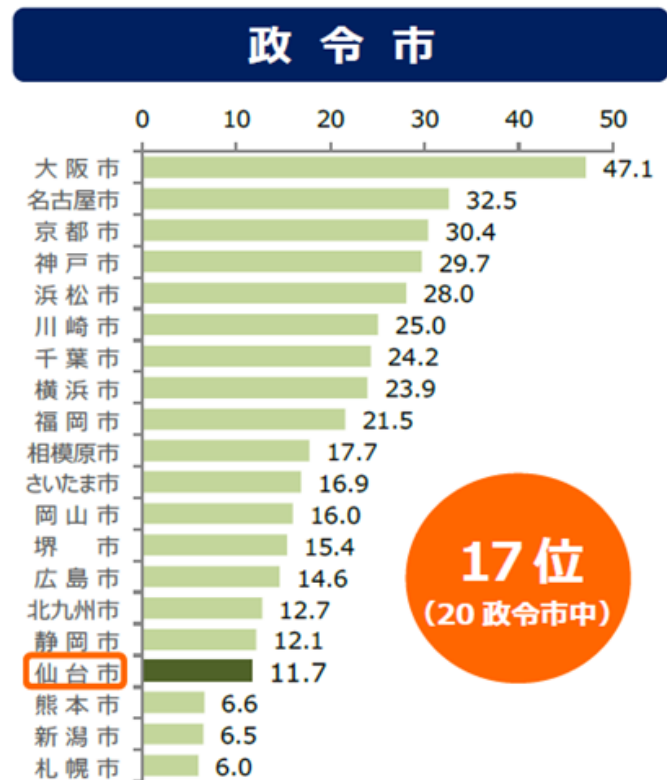
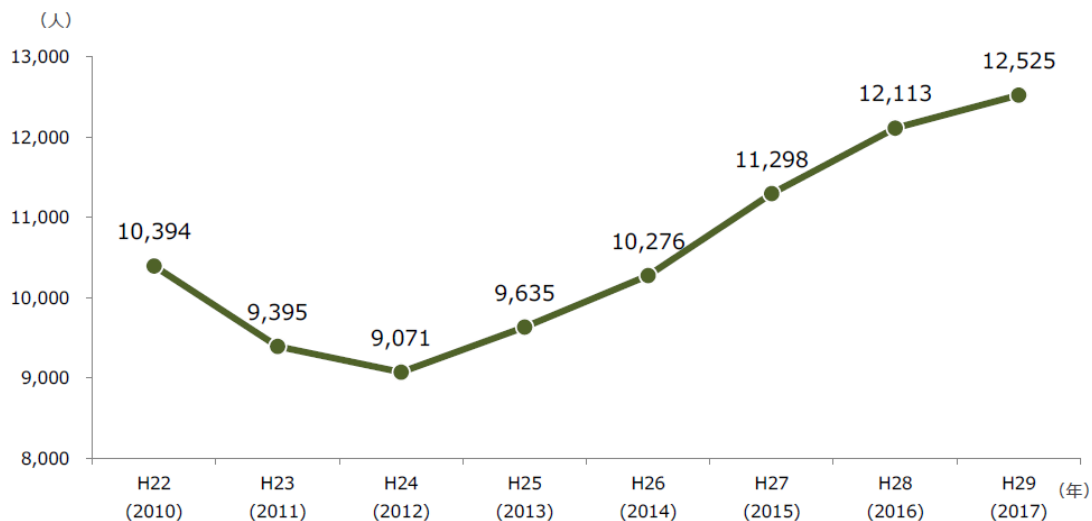
生活保護世帯数は高齢者世帯の増加が顕著であり、保護率はここ数年高止まりしている。



外国人住民人口

視点②仙台でともに生きる

H29年時点で、外国人住民は12,525人であり、増加傾向にある(仙台市の100人に1人は外国人)。政令市では4番目に低い。



17位
(20政令市中)

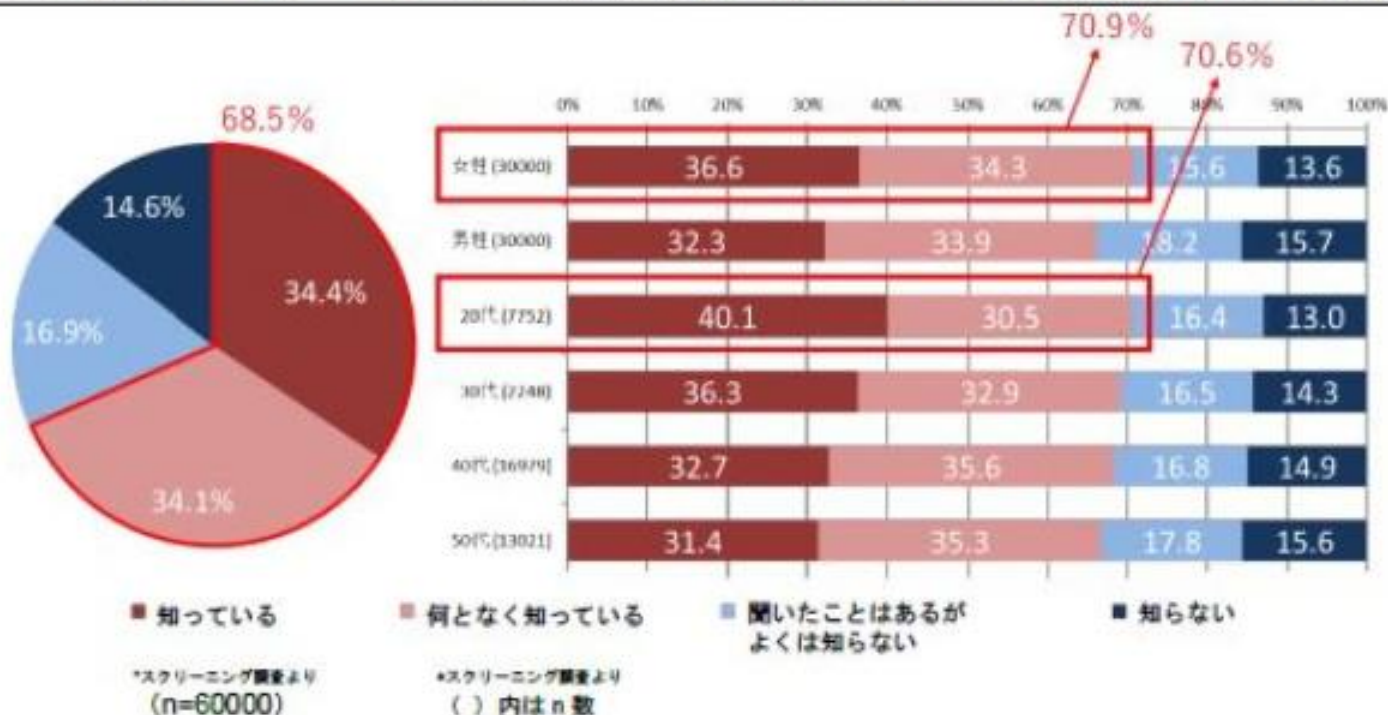
(H28年12月末、住民基本台帳人口千人当たり在留外国人人数)

出典:【左】市民局資料、【右】在留外国人統計(法務省)

注:【左】各年12月末現在の住民基本台帳による外国人人口、H24年7月8日以前は外国人登録に基づく人口

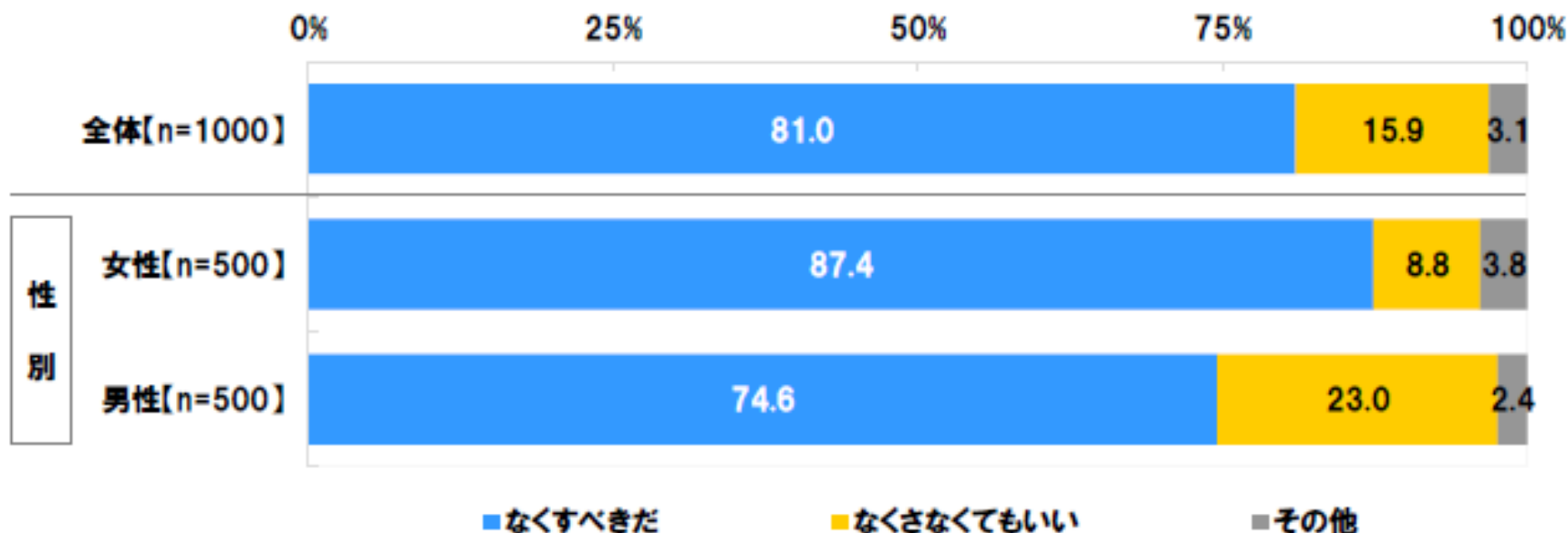
電通ダイバーシティ・ラボが2018年に全国20～59歳の個人60,000名を対象に、LGBTを含む性的少数者に関する広範な調査を行ったところ、LGBT層に該当する人は8.9%、「LGBT」という言葉の浸透率は68.5%。

[グラフ1]
LGBTとはセクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の総称のひとつということを知っていますか。



日本労働組合総連合会が2016年に行った「LGBTに関する職場の意識調査」では、全国の20～59歳の男女1,000名を対象に、日本初の非当事者を中心に調査を行ったところ、LGBT等(性的マイノリティ)当事者は8%、職場における「LGBT」に関する差別を「なくすべき」は8割強。

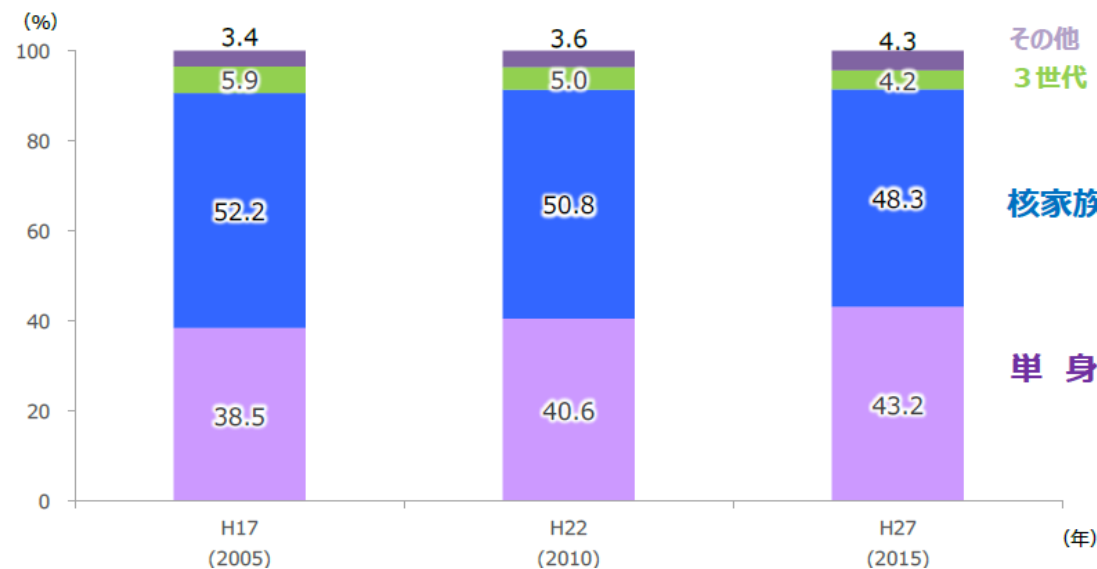
◆職場において、いわゆる「LGBT」に関する差別は、なくすべきだと思うか [単一回答形式]



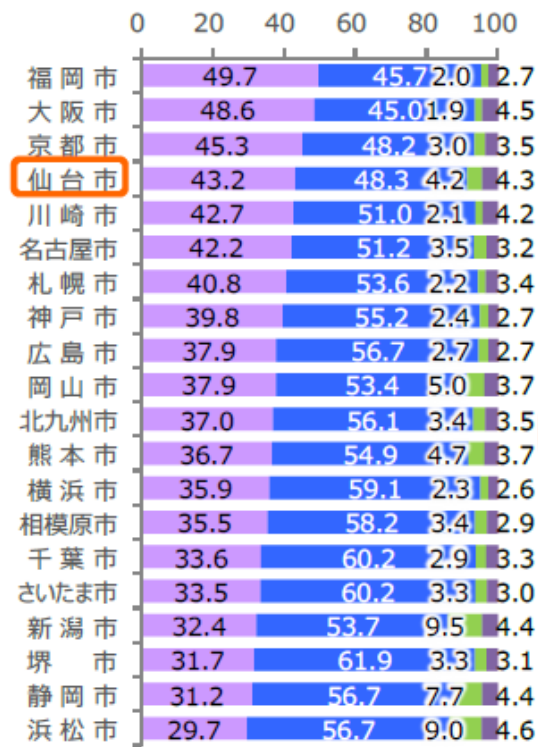
一般世帯家族類型割合

視点③仙台で暮らす

単身世帯と核家族世帯で9割以上を占めており、単身世帯割合は上昇傾向にある。
単身世帯割合は、政令市では4番目に高い。



政令市

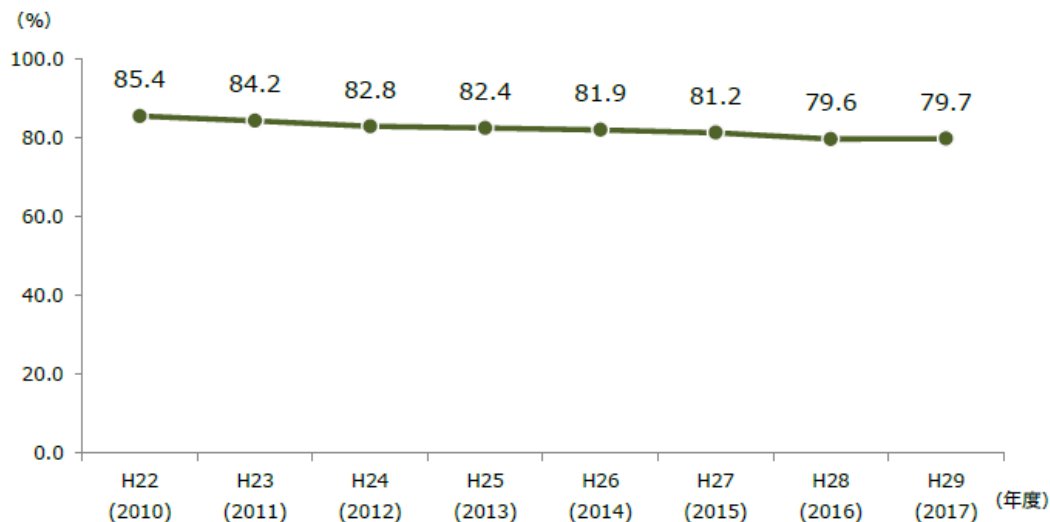


単身世帯
4位
(20政令市中)

(H27年、%)

出典：国勢調査結果(総務省統計局)
注：その他には家族類型「不詳」を含む

町内会加入率は8割であり、年々、低下傾向にある。
政令市では6番目に高い。



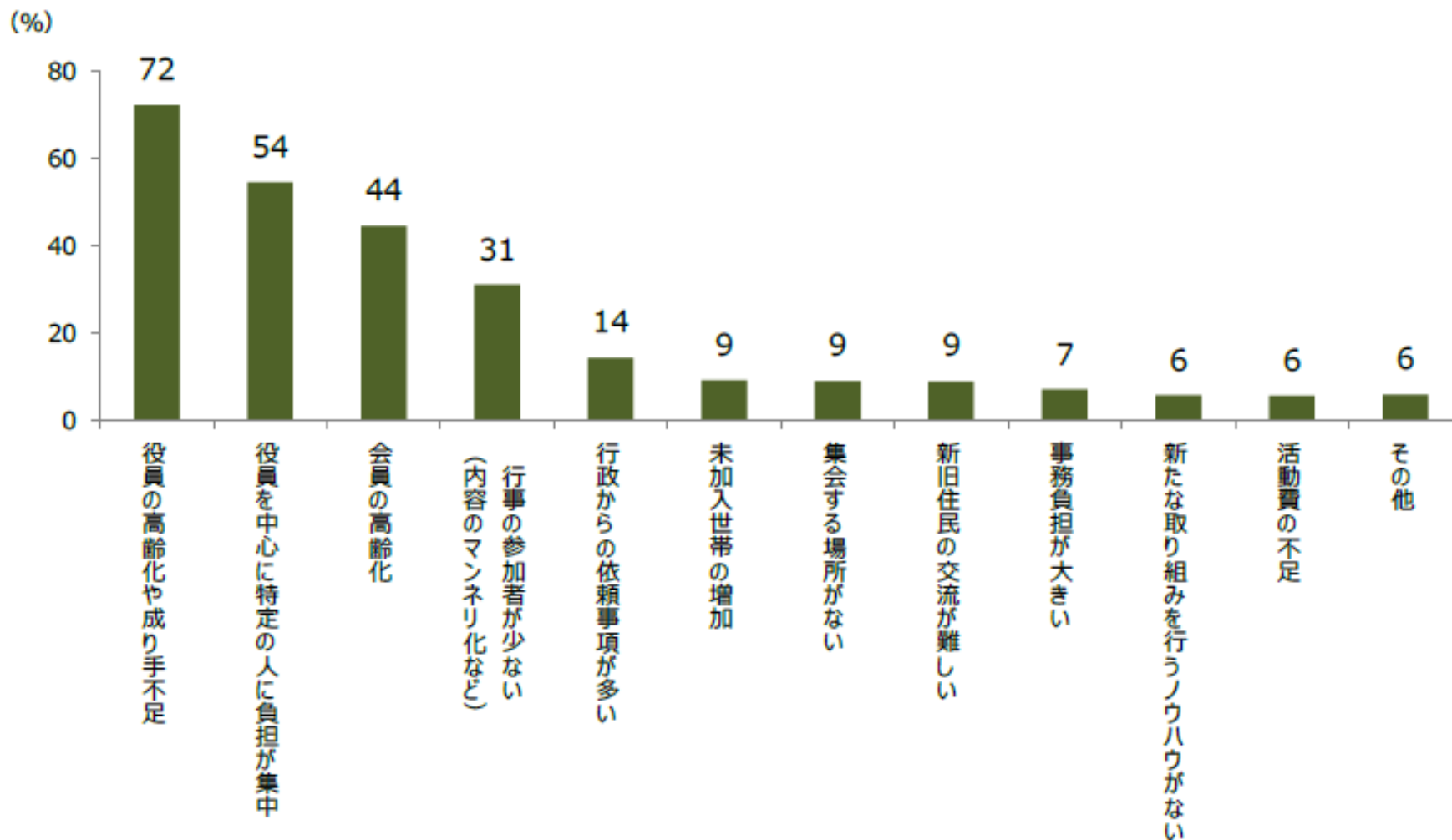
政令市



出典:【左】区政概要(市民局)、【右】H29指定都市地域振興主管者会議資料

注:政令市比較は調査時点が統一されていない(仙台市はH29.6.1現在)。

町内会の運営課題として、「役員の高齢化や成り手不足」を挙げる町内会は7割を超える。

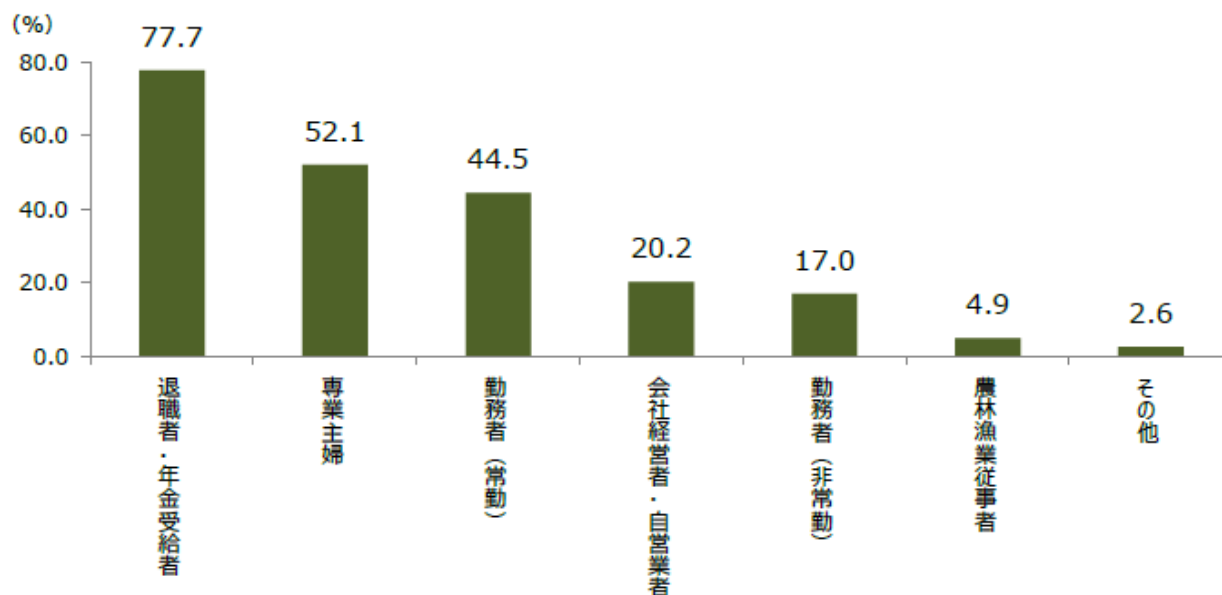


町内会活動の担い手・町内会長の年齢

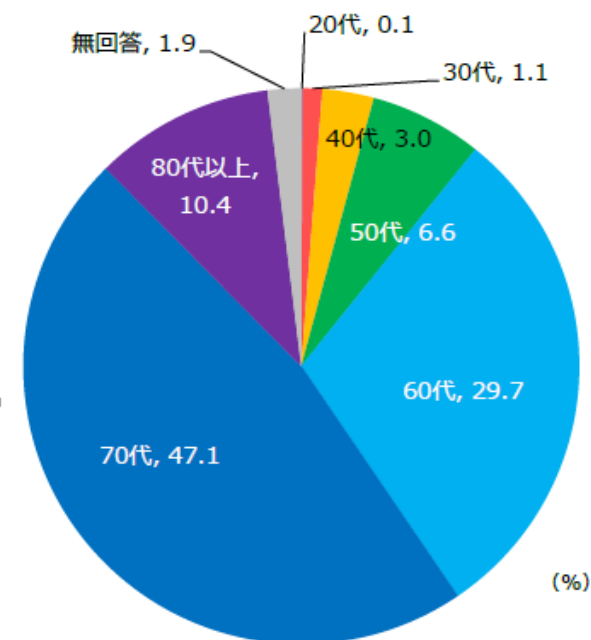
視点③仙台で暮らす

町内会の中心的な担い手は「退職者・年金受給者」「専業主婦」が多く、平日の日中に活動ができる人に依存している。また、町内会長の約9割は60代以上であり、70代が最も多い。

【町内会活動の担い手】

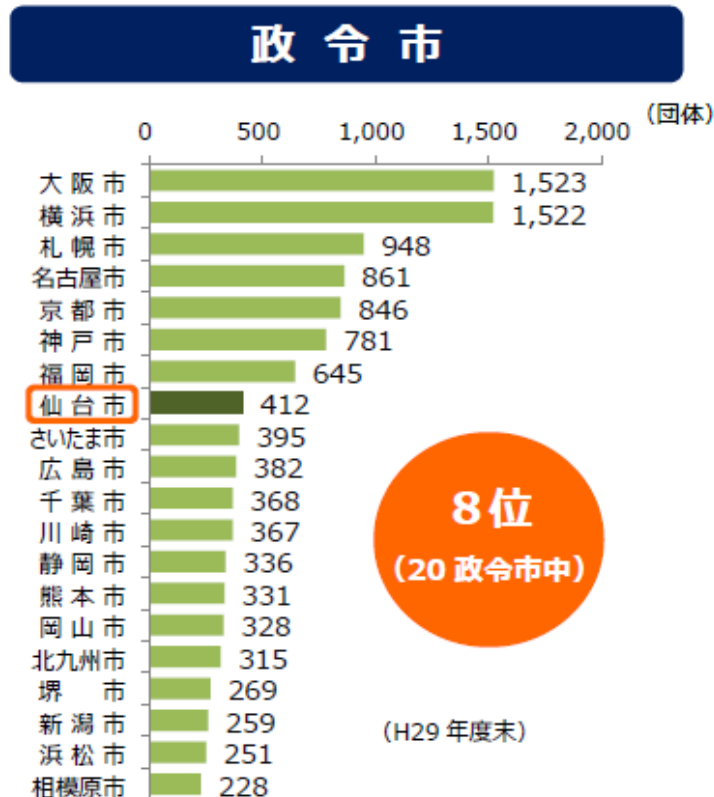
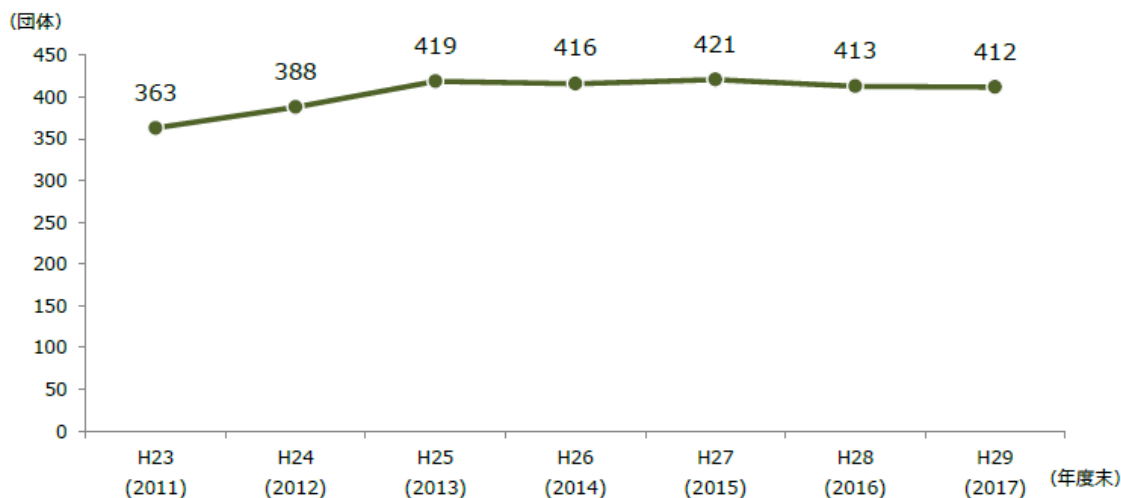


【町内会長の年齢】

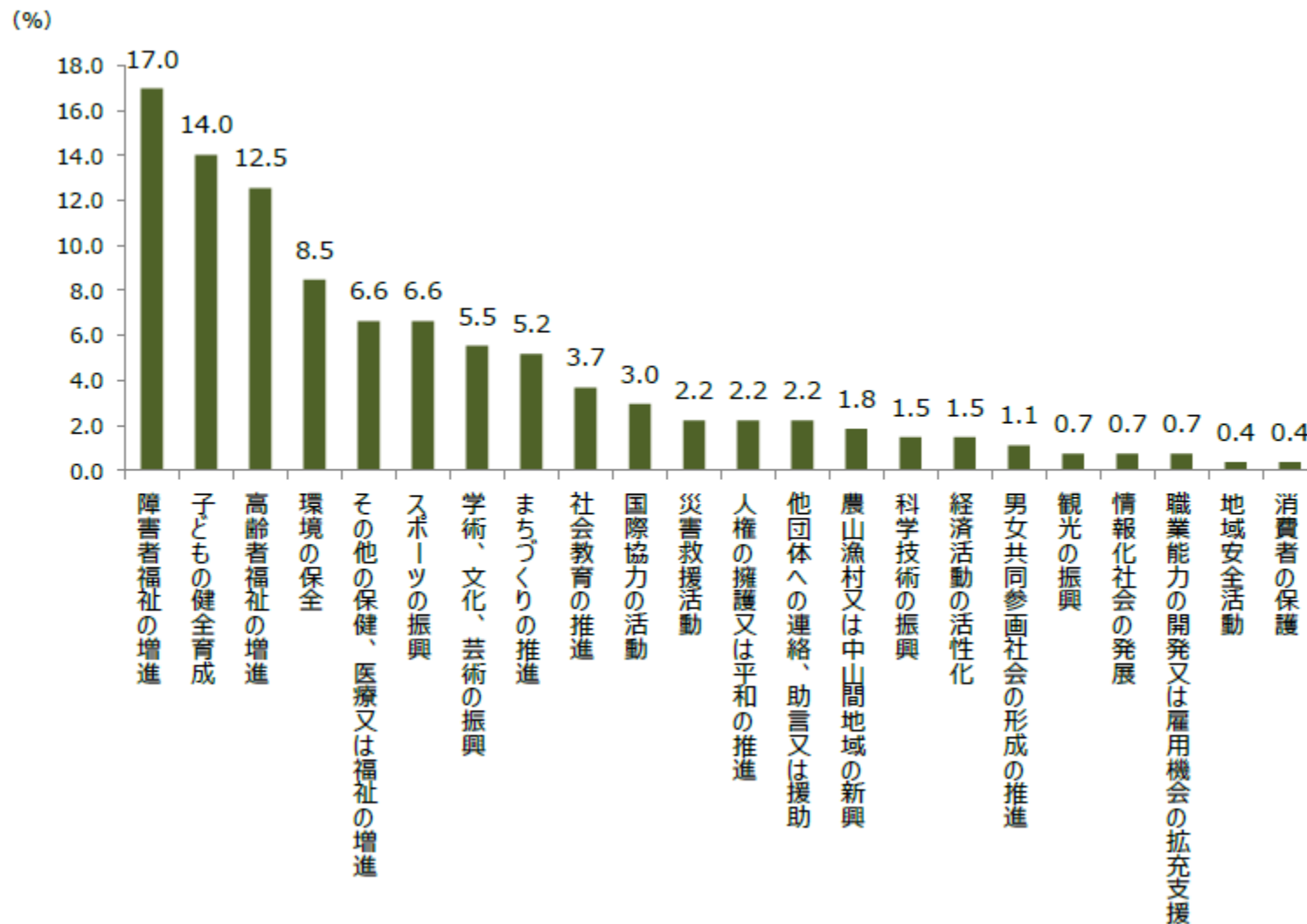


n=1,235

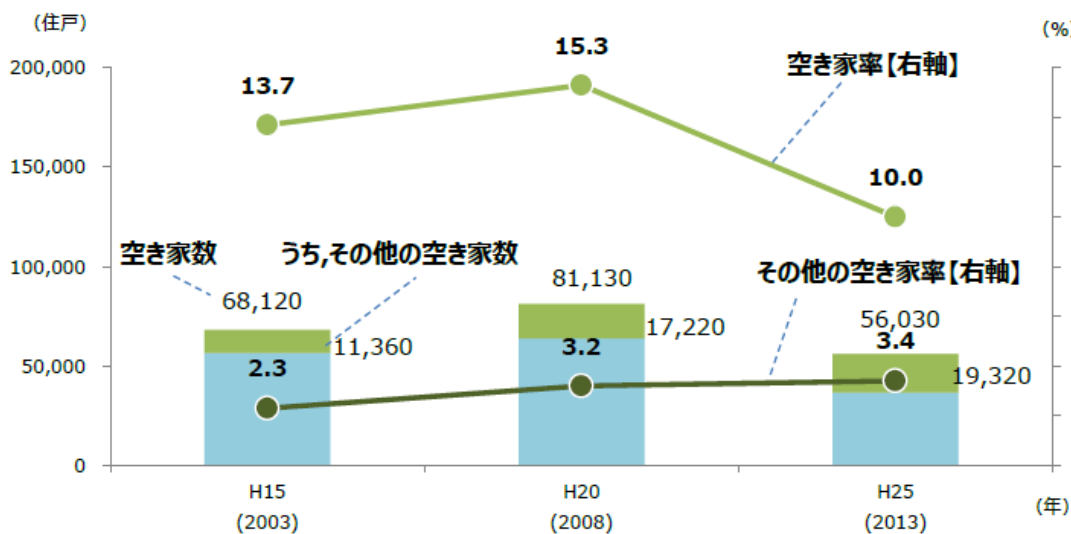
NPO法人数は412団体であり、近年は横ばいである。
政令市では8番目である。



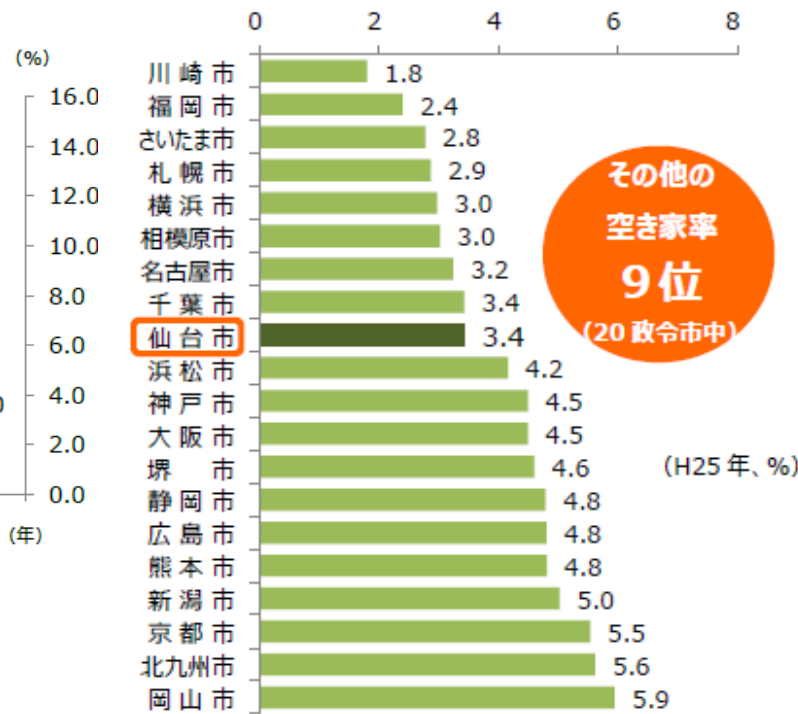
NPOの活動分野は、「障害者福祉」「子どもの健全育成」など幅広い。



震災の影響により、空き家の総数は減少したが、具体的な用途が決まっておらず、管理不全になる恐れが高い「その他の空き家」は一貫して増加傾向にある。政令市では9番目である。



政令市



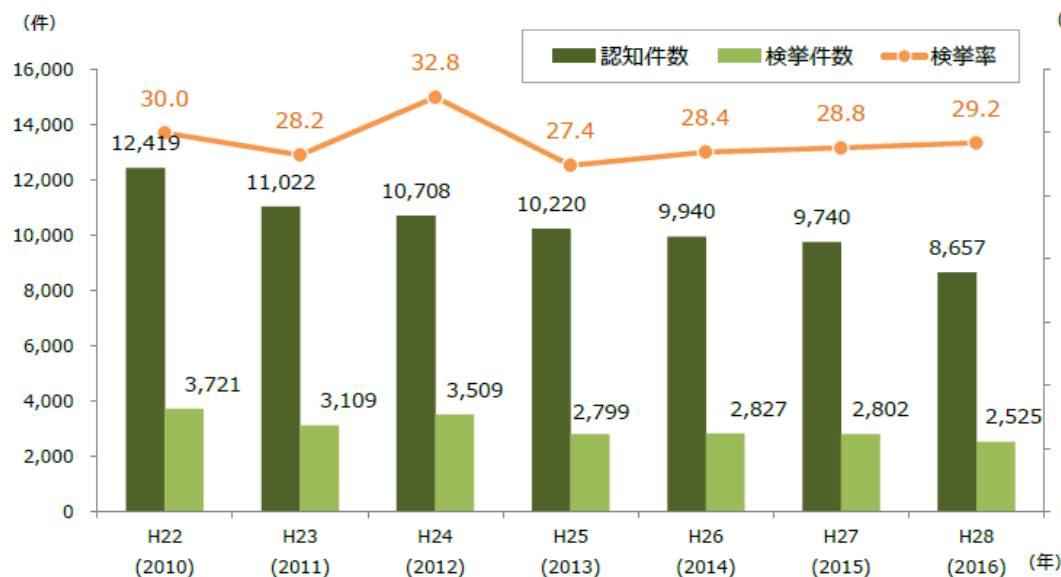
出典: 住宅・土地統計調査(総務省)

注: 空き家率=空き家数/住宅総数。「空き家」とは、人が住んでいない住宅のことで、そのうち「その他の空き家」とは「二次的住宅(別荘など)」「賃貸用の住宅」「売却用の住宅」を除くものを指す。

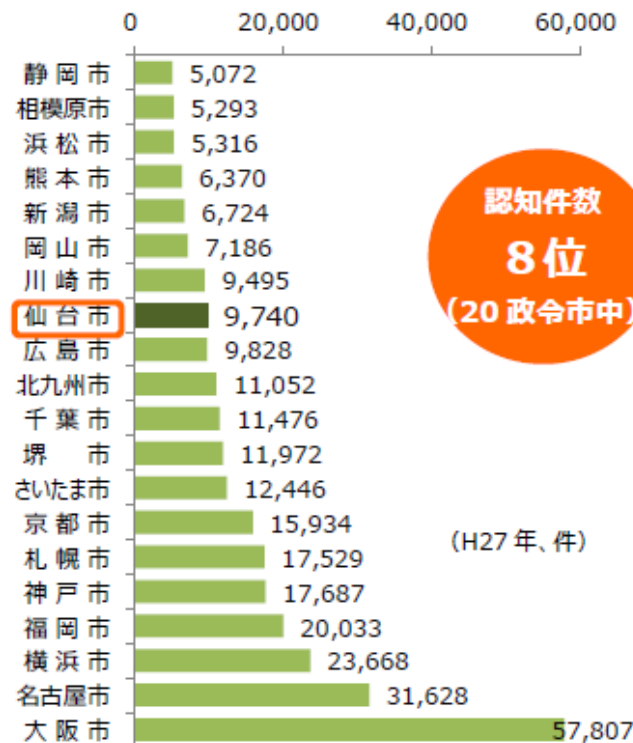
刑法犯認知件数、検挙件数

視点③仙台で暮らす

刑法犯認知件数、検挙件数ともに減少傾向にあるが、検挙率はおよそ3割で横ばい。
 刑法犯の認知件数は、政令市では8番目である。

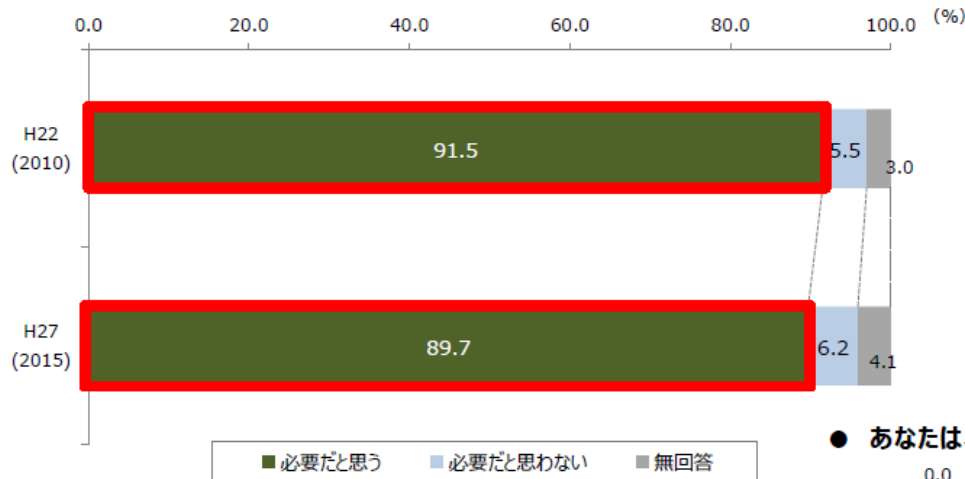


政令市

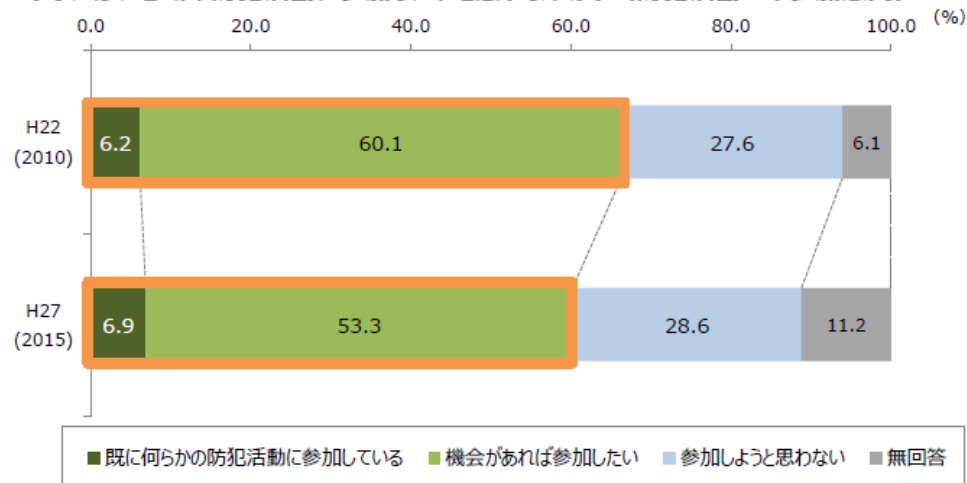


地域の防犯活動の必要性を感じている人は約9割であるが、「自分が参加したい」という意識は低下している。

● あなたは、地域の防犯活動は必要だと思いますか（防犯活動の必要性）



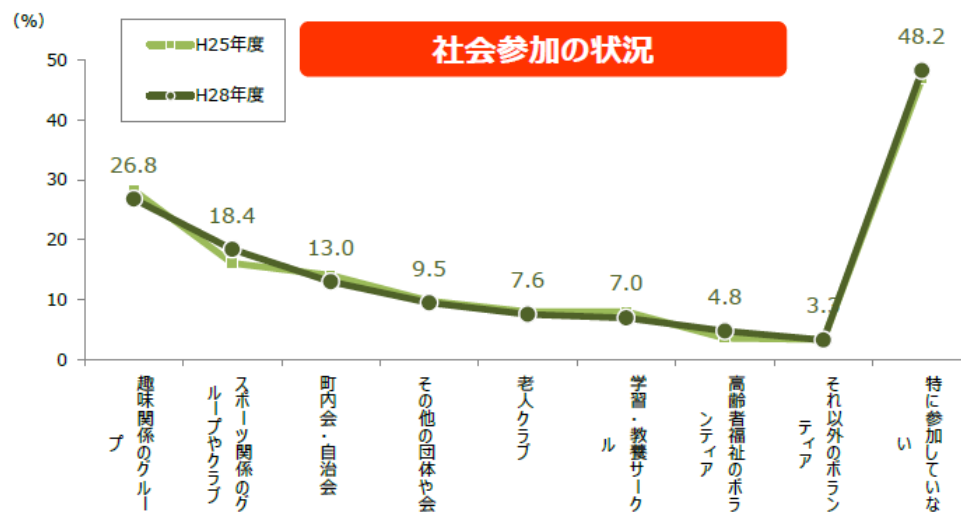
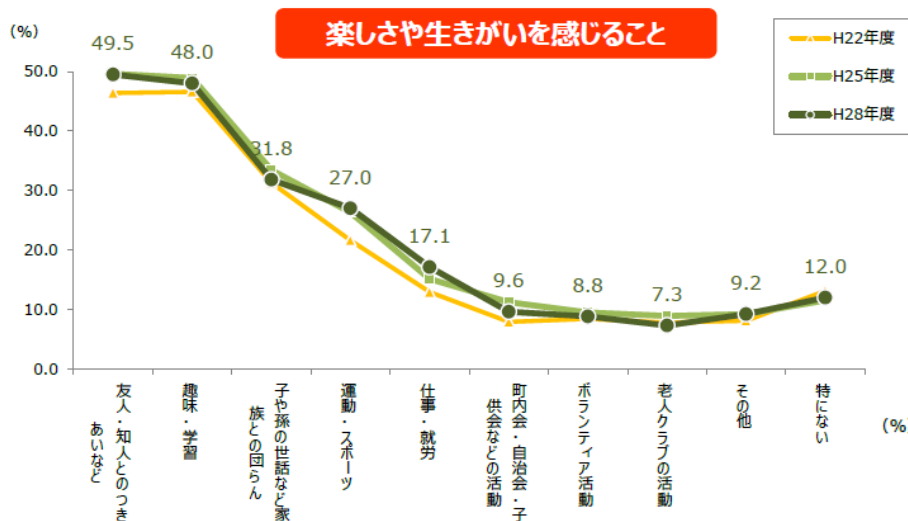
● あなたは、地域の防犯活動に参加したいと思いますか。（防犯活動への参加意向）



楽しさや生きがい、社会参加の状況

視点③仙台で暮らす

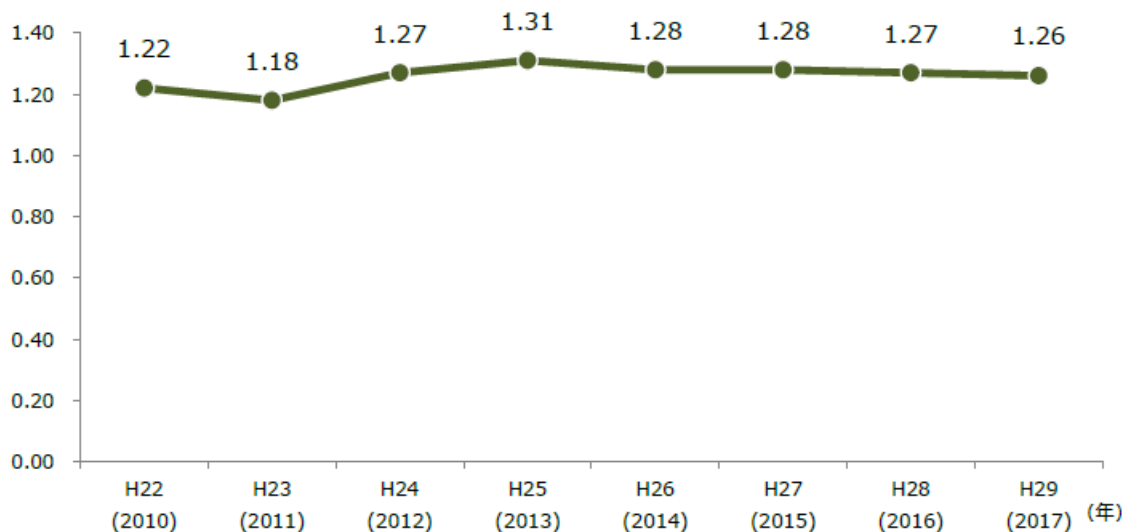
高齢者の楽しみは、主に「友人・知人とのつきあい」、「趣味・学習」であるが、高齢者の約半数は、趣味などのグループやボランティア活動に参加していない。



合計特殊出生率

視点④仙台で育つ

近年の合計特殊出生率は1.3弱で推移しており、全国の1.45と比べて低い。
政令市では4番目に低い。



政令市



出典：【左】保健統計年報（健康福祉局）※合計特殊出生率＝（母の5歳階級別出生数×5）／5歳階級別女性人口（15～49歳までの合計）

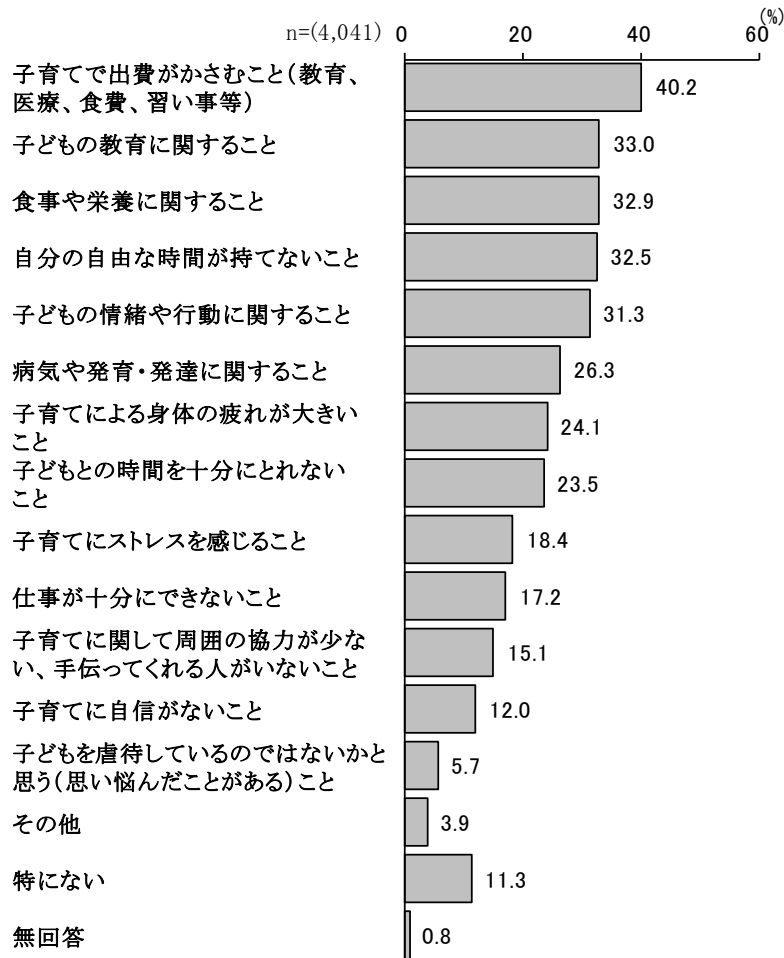
【右】H27年人口動態調査（厚生労働省）※合計特殊出生率＝（母の年齢別出生数）／年齢別女性人口（15～49歳までの合計）

子育てをする上での悩みや負担に思うこと

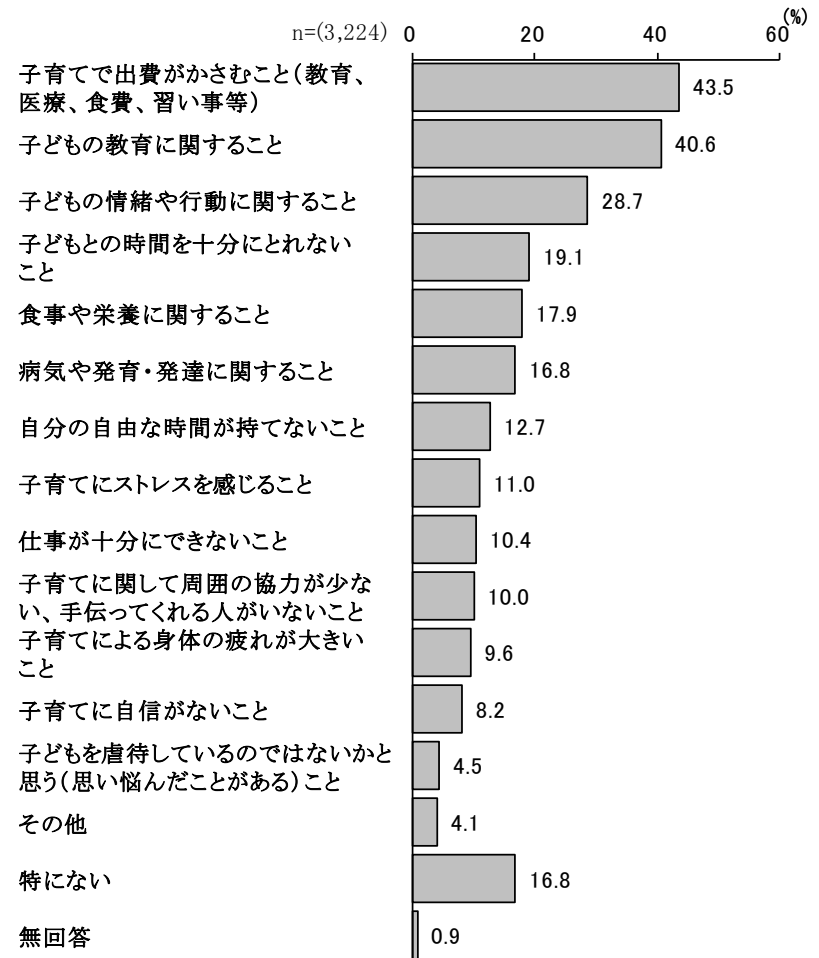
視点④ 仙台で育つ

就学前児童、小学生ともに、経済的な負担や子どもの教育・行動に関する悩みが多い。

【就学前児童】



【小学生】

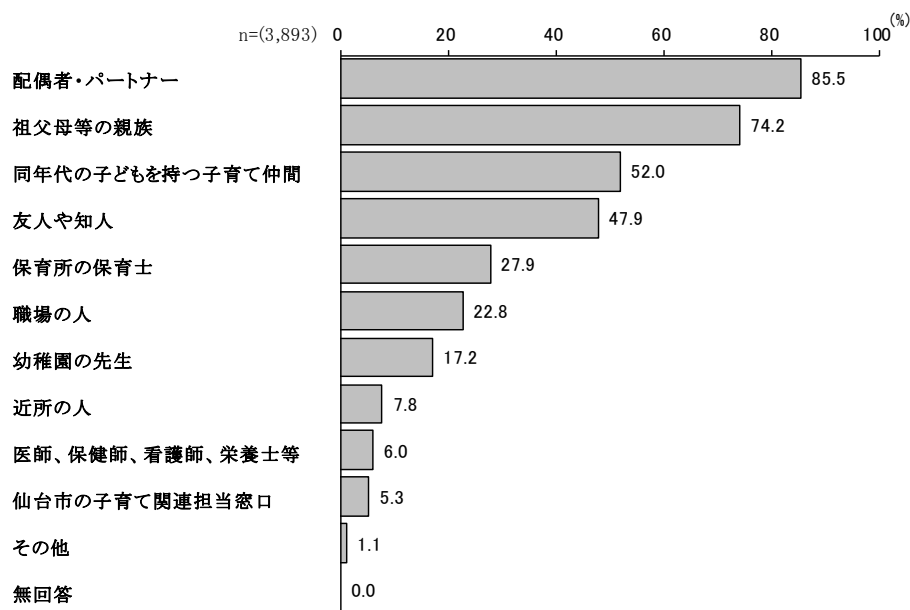


子育てに関して気軽に相談できる人

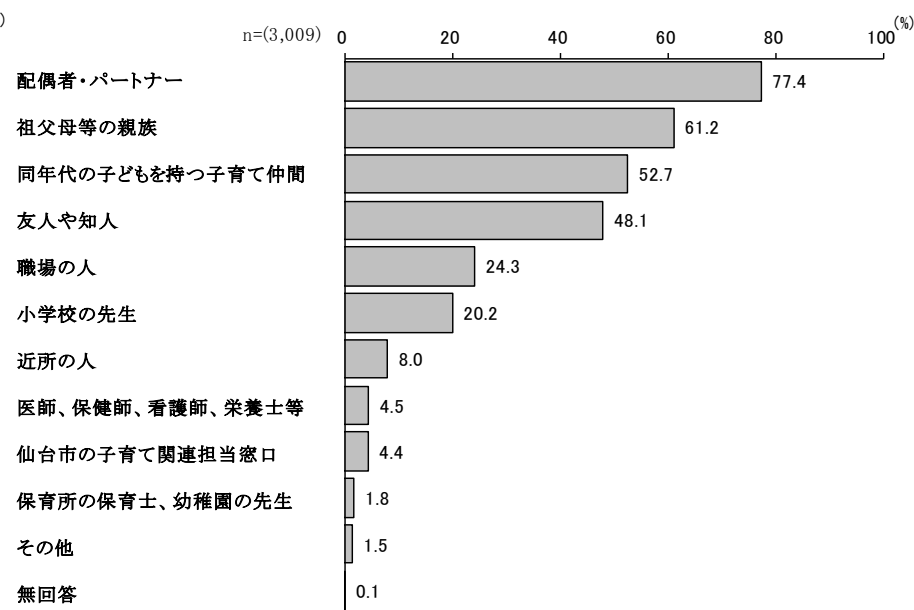
視点④ 仙台で育つ

子育てに関する相談について、就学前児童、小学生ともに、家族や友人などの身近な人が上位となっている。一方で、仙台市の子育て関連担当窓口は1割以下である。

【就学前児童】



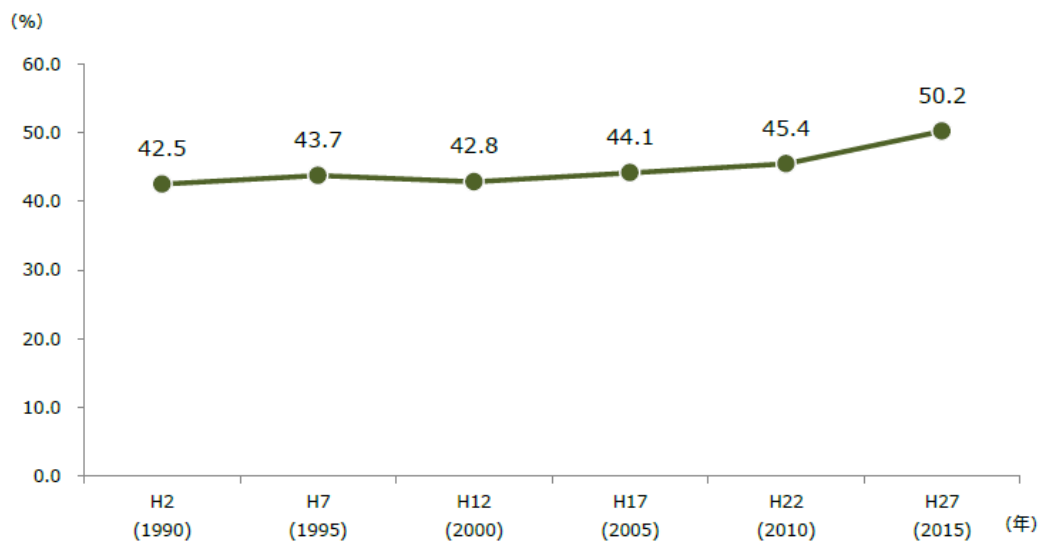
【小学生】



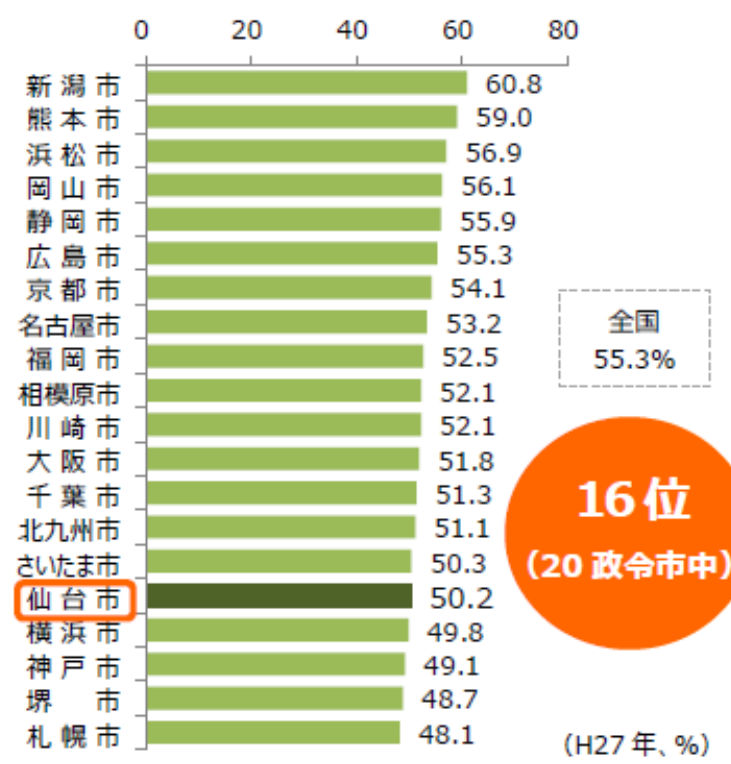
子供のいる夫婦の共働き率

視点④仙台で育つ

子供のいる夫婦の共働き率は緩やかに増加傾向であり、H27年に5割を超えた。
政令市では16位である。



政令市

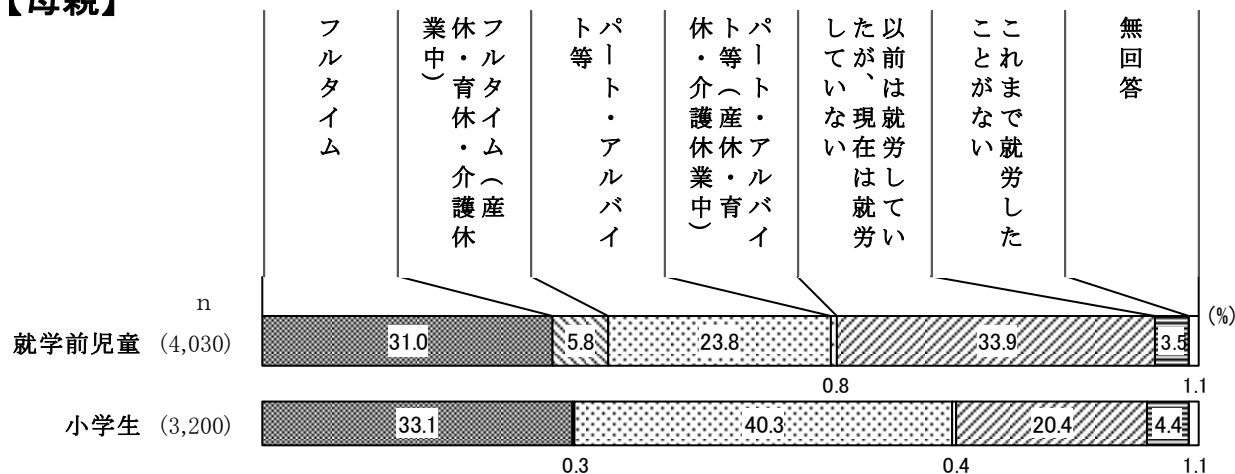


出典: 国勢調査結果(総務省統計局)
注: 各年10月1日。「子ども」は20歳以上も含む。

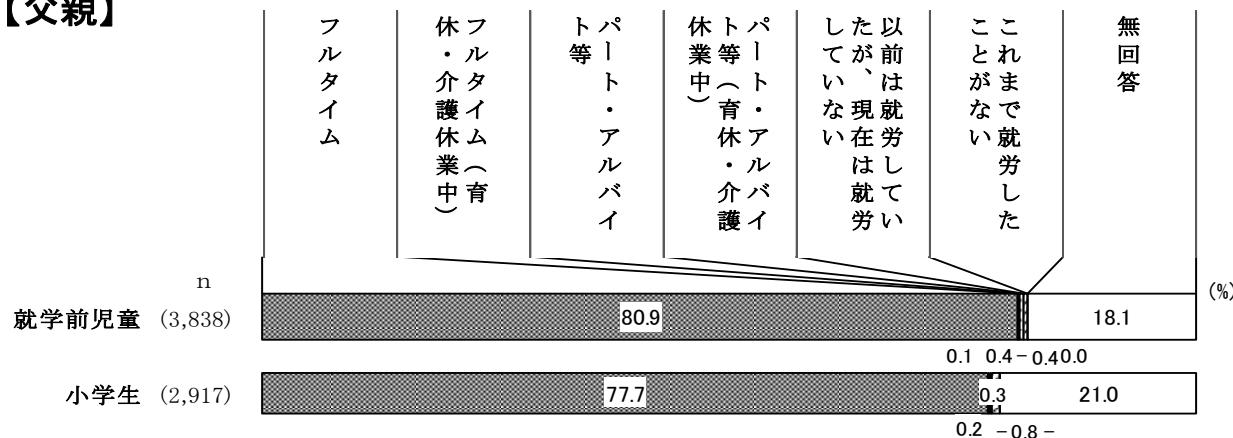
保護者の就労状況

母親の就労状況については、就学前児童では「以前は就労していたが、現在は就労していない」(33.9%)、小学生では「パート・アルバイト等」(40.3%)が最も高い。

【母親】

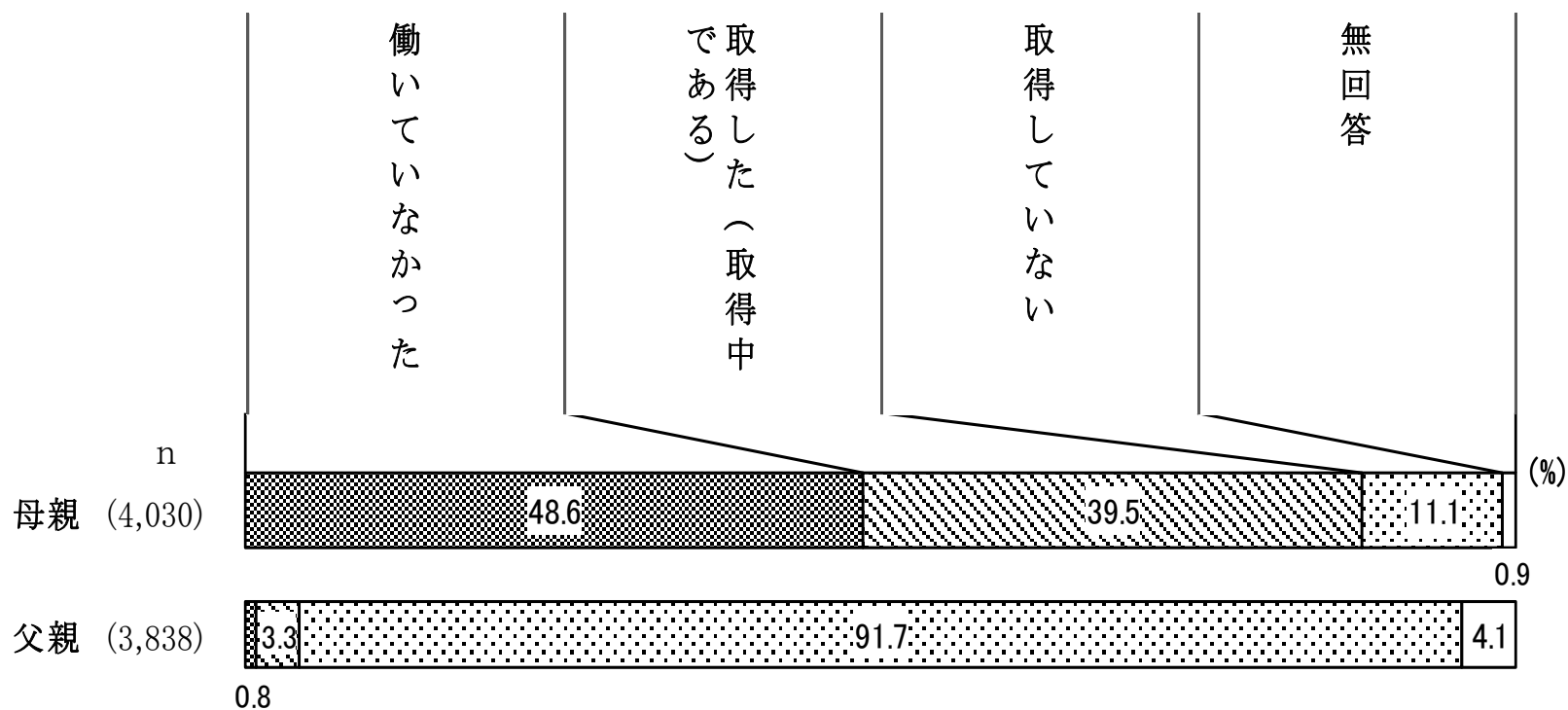


【父親】



父親の育児休業の取得状況については、「取得していない」が91.7%と大多数を占めている。

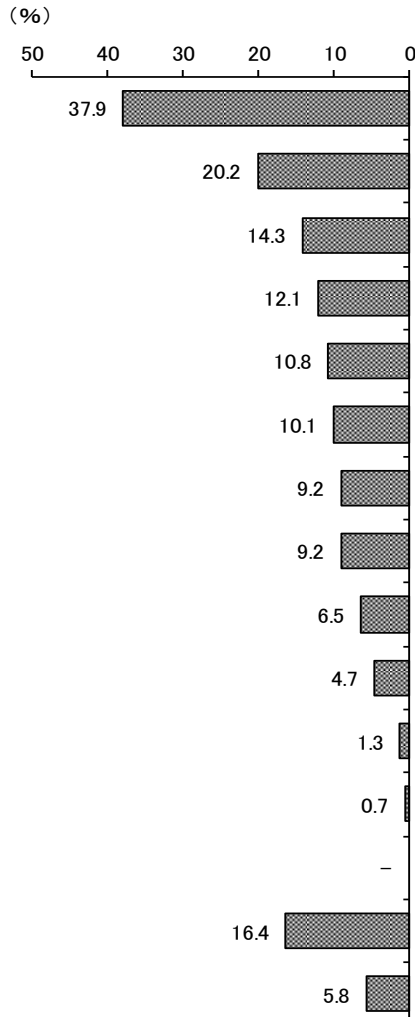
【就学前児童】



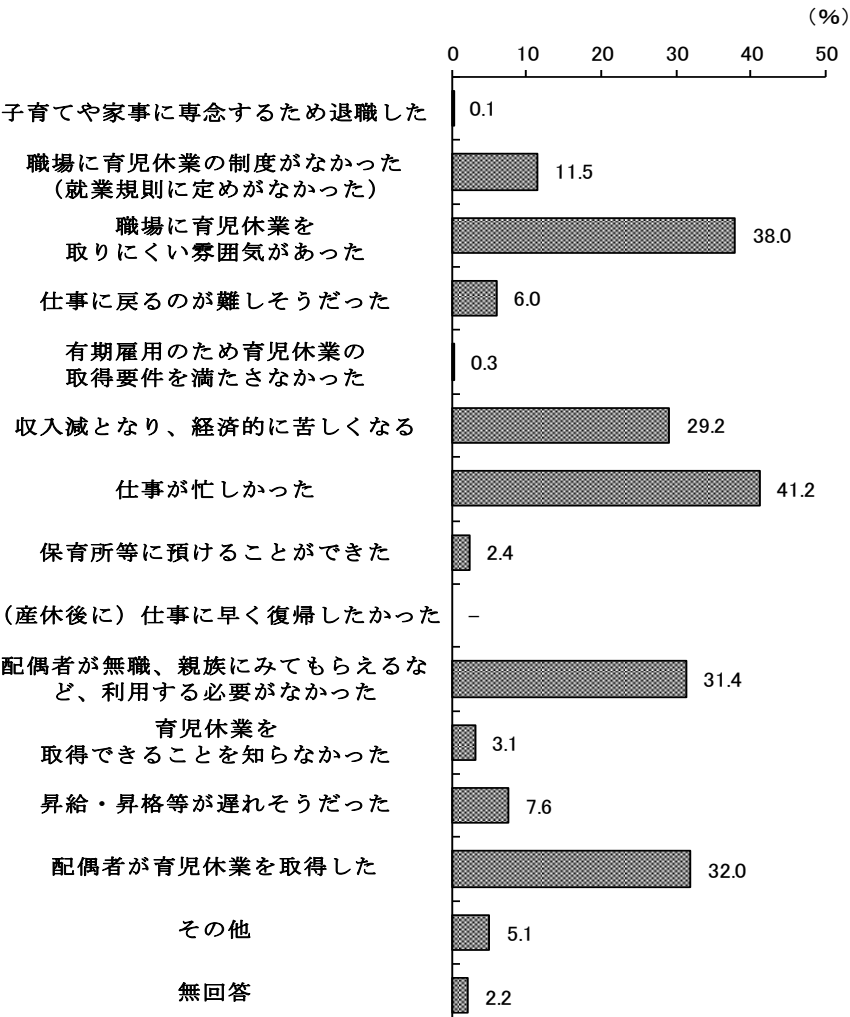
育児休業を取得していない理由

母親は、「子育てや家事に専念するため退職した」が最も高く、父親は「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が高い割合を占めている。

【母親】



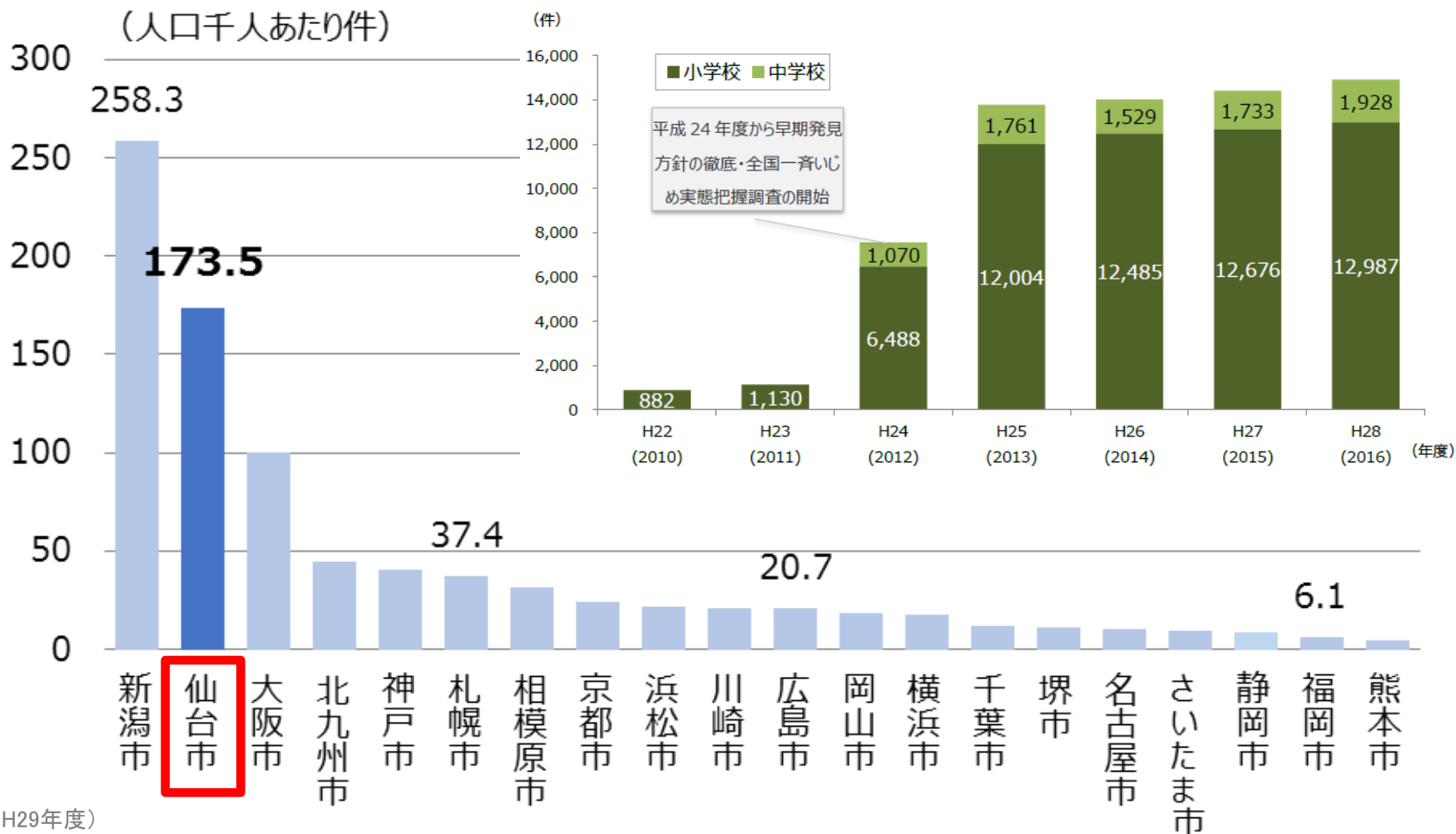
【父親】



いじめ認知件数

視点④仙台で育つ

いじめ認知件数は近年横ばいで推移している。政令市では2番目に高い。



(H29年度)

出典:【仙台市】仙台市教育振興基本計画(教育局)、【政令市】H29 年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果(文部科学省) 注:国公私立の小・中・高等・特別支援学校を対象にアンケート調査をした結果

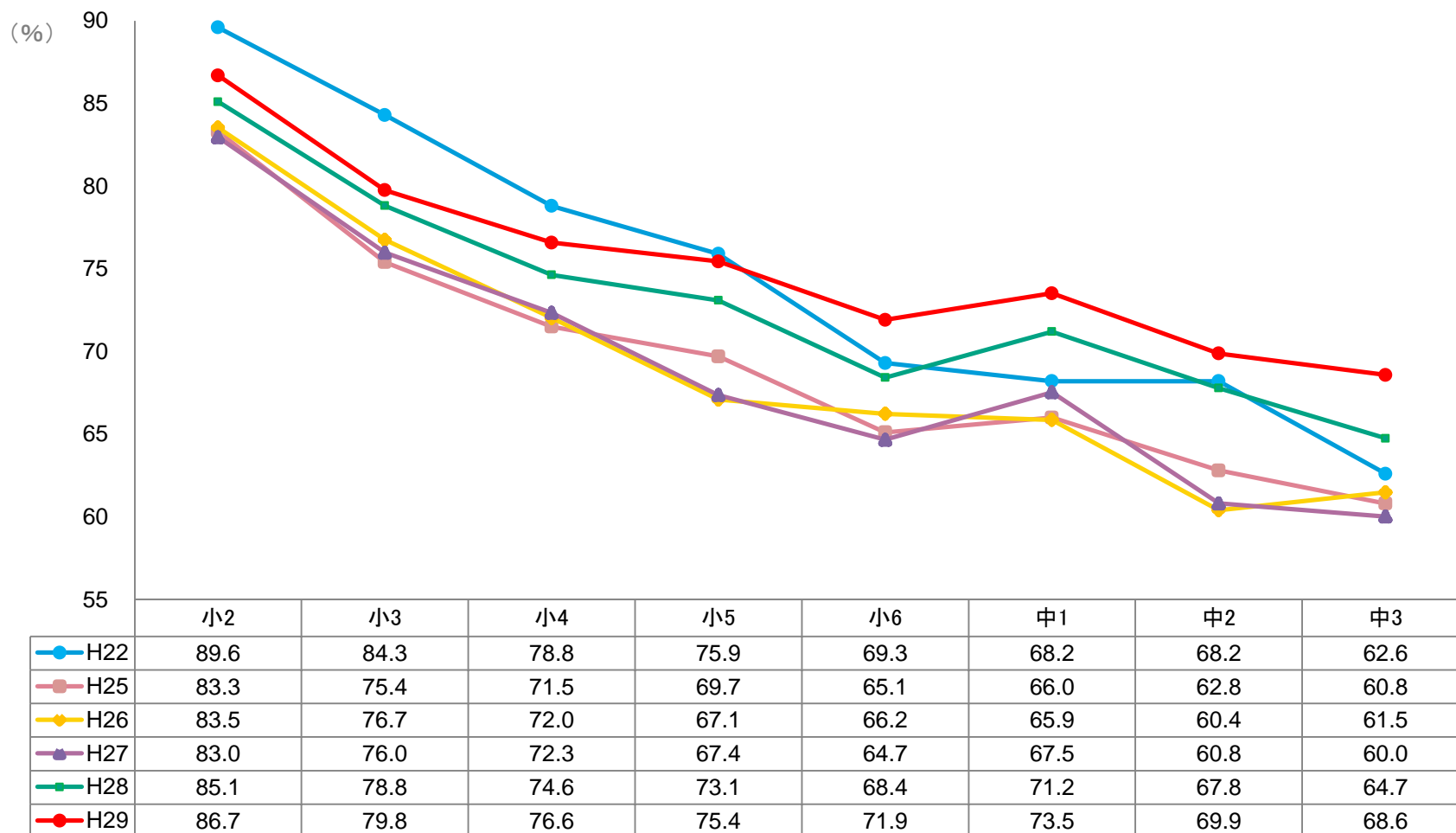
不登校児童生徒数

不登校児童生徒数は年々増加している。政令市では3番目に高い。



「自分には良いところがあると思う」割合

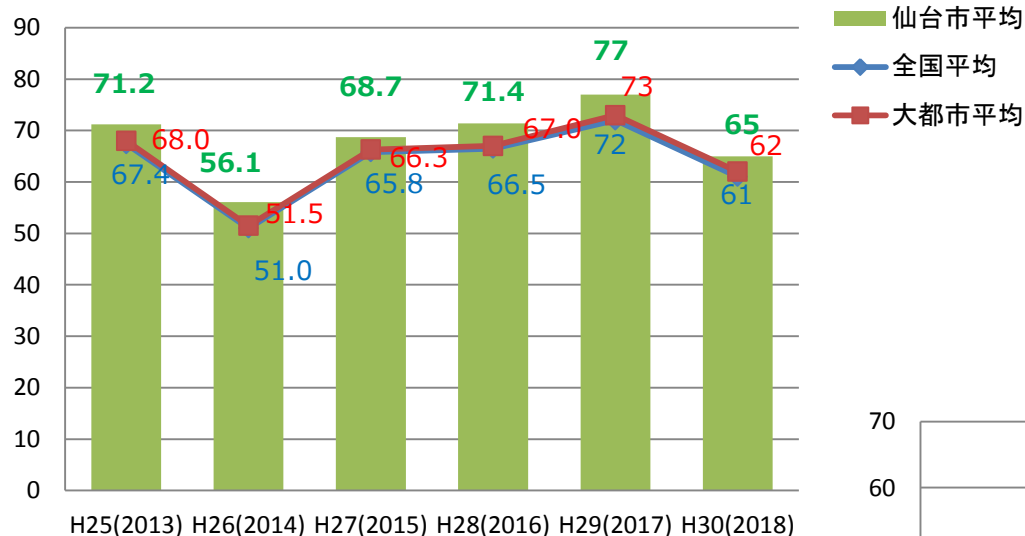
H25年度より、年間指導計画に「たくましく生きる力育成プログラム」を位置づけており、自己肯定感についての質問に対し、肯定的に回答する児童生徒の割合は増加傾向にある。



公立の中学生の学力(正答率)は、国語B、数学Bともに全国及び大都市平均を上回っている。

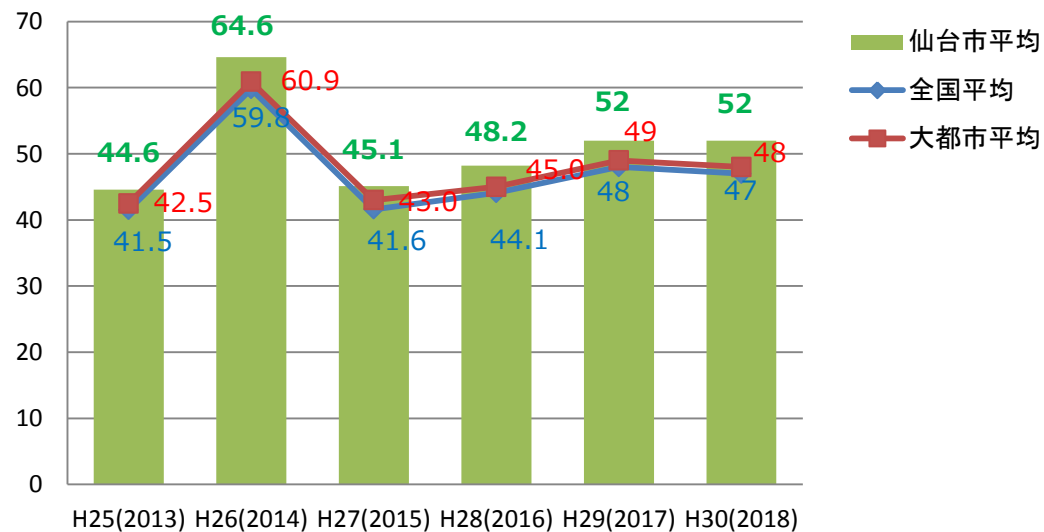
中学校 平均正答率

【国語B:主として「活用」に関する問題】

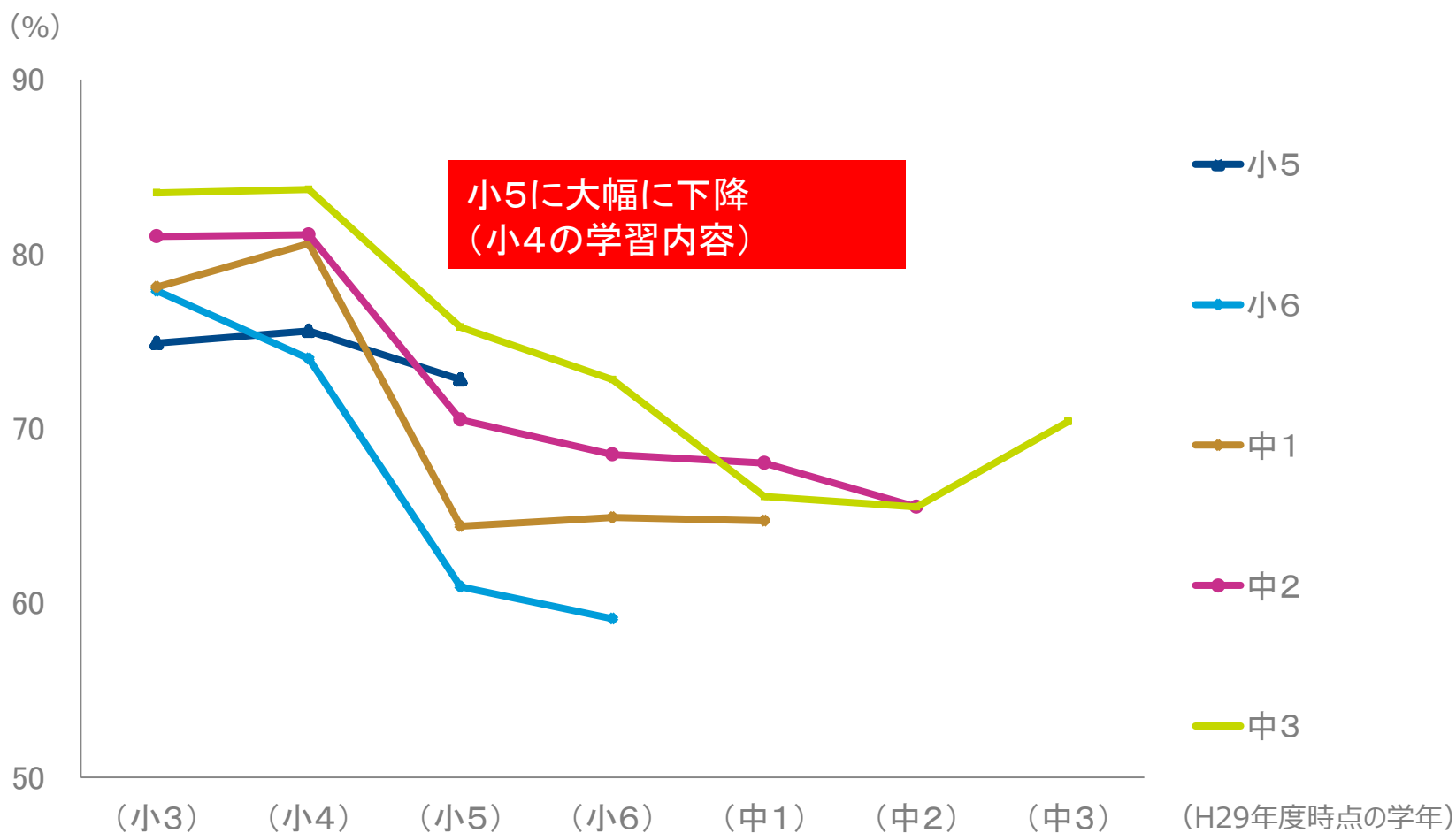


中学校 平均正答率

【数学B:主として「活用」に関する問題】



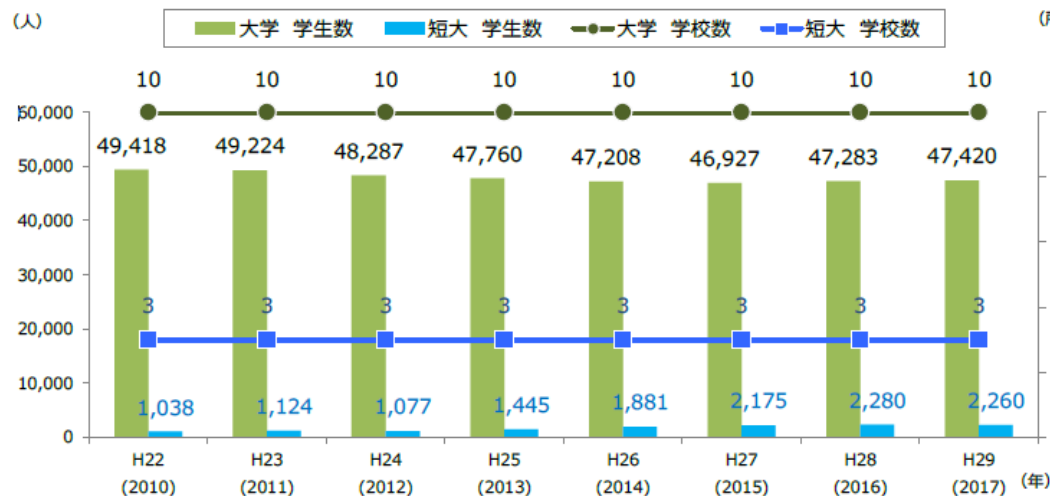
どの集団も小学5年生時に低下し、それ以降の上昇はほとんど見られない。



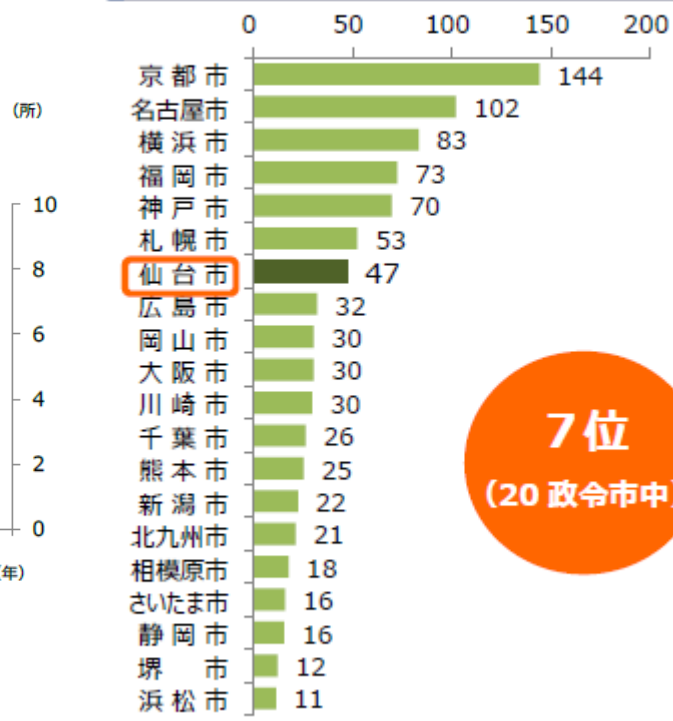
大学・短大の学校数・学生数

視点⑤仙台で学ぶ・活かす

大学生数は47,420人(7年前と比較すると約2千人減少している)であり、政令市では7番目である。



政令市



7位
(20 政令市中)

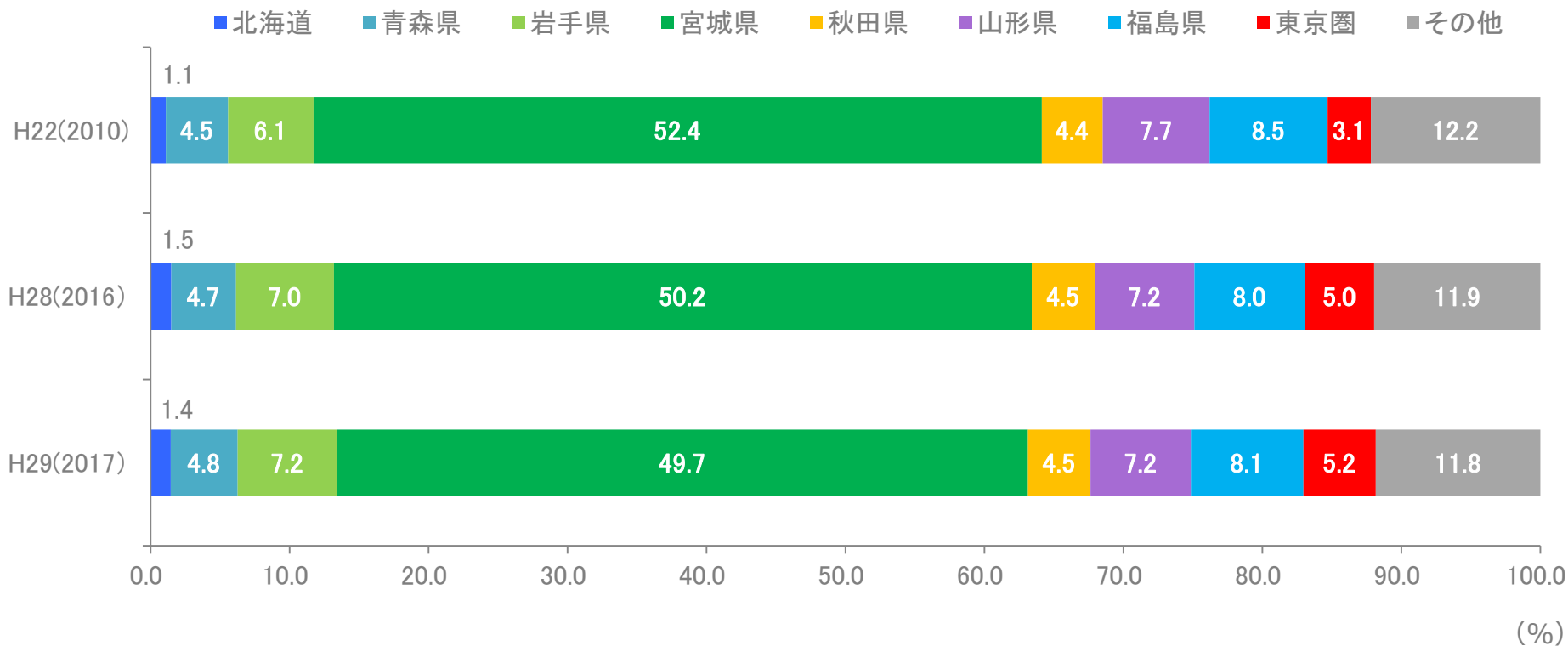
(H29年、千人)

出典:学校基本調査(文部科学省)
注:各年5月1日現在

出身高校の所在地別大学入学者(県)

視点⑤仙台で学ぶ・活かす

県内大学生の約半数は宮城県出身であり、約8割が東北出身者である。



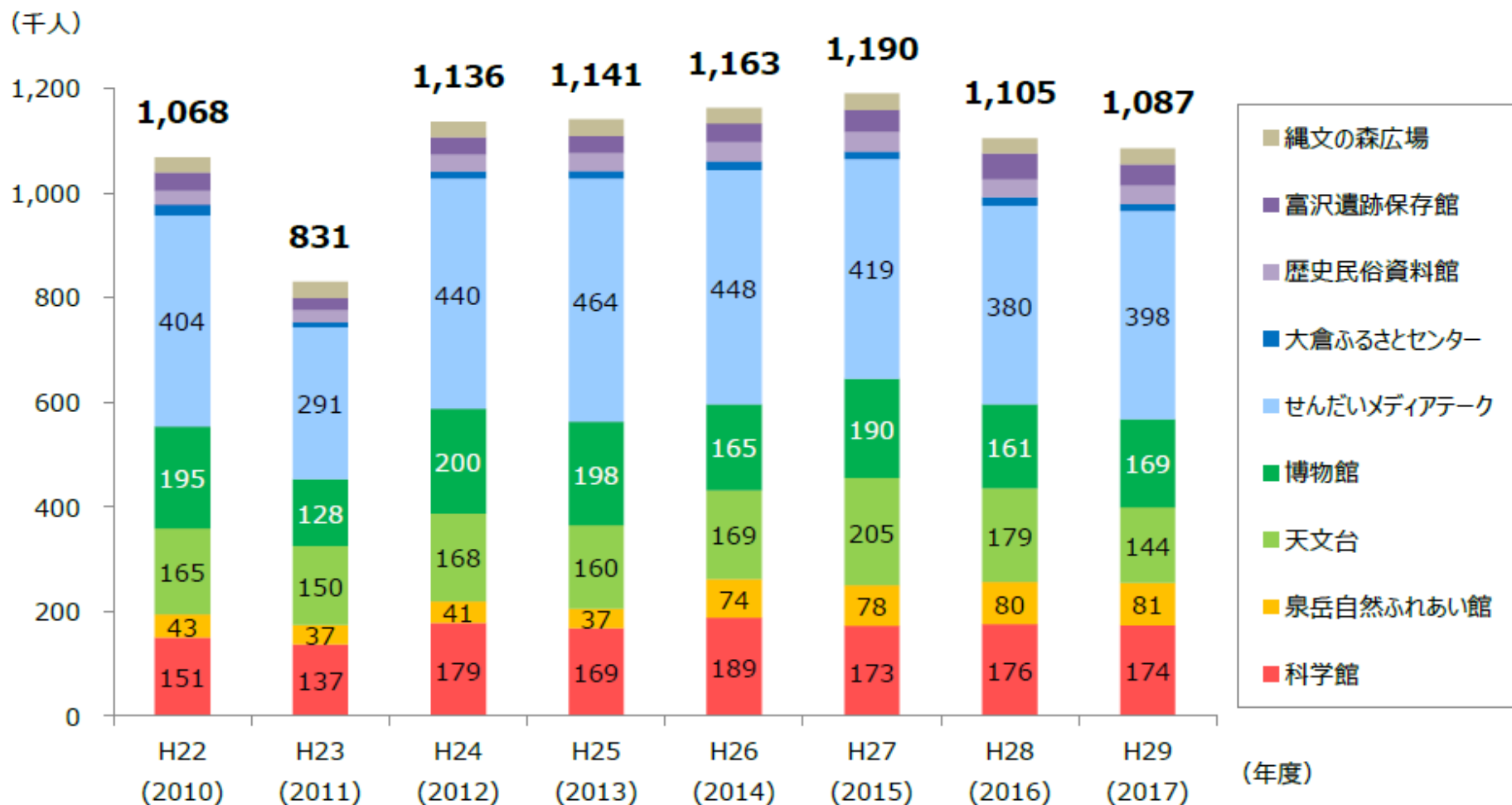
出典:学校基本調査(文部科学省)

注:各年5月1日現在

社会教育施設の利用者数

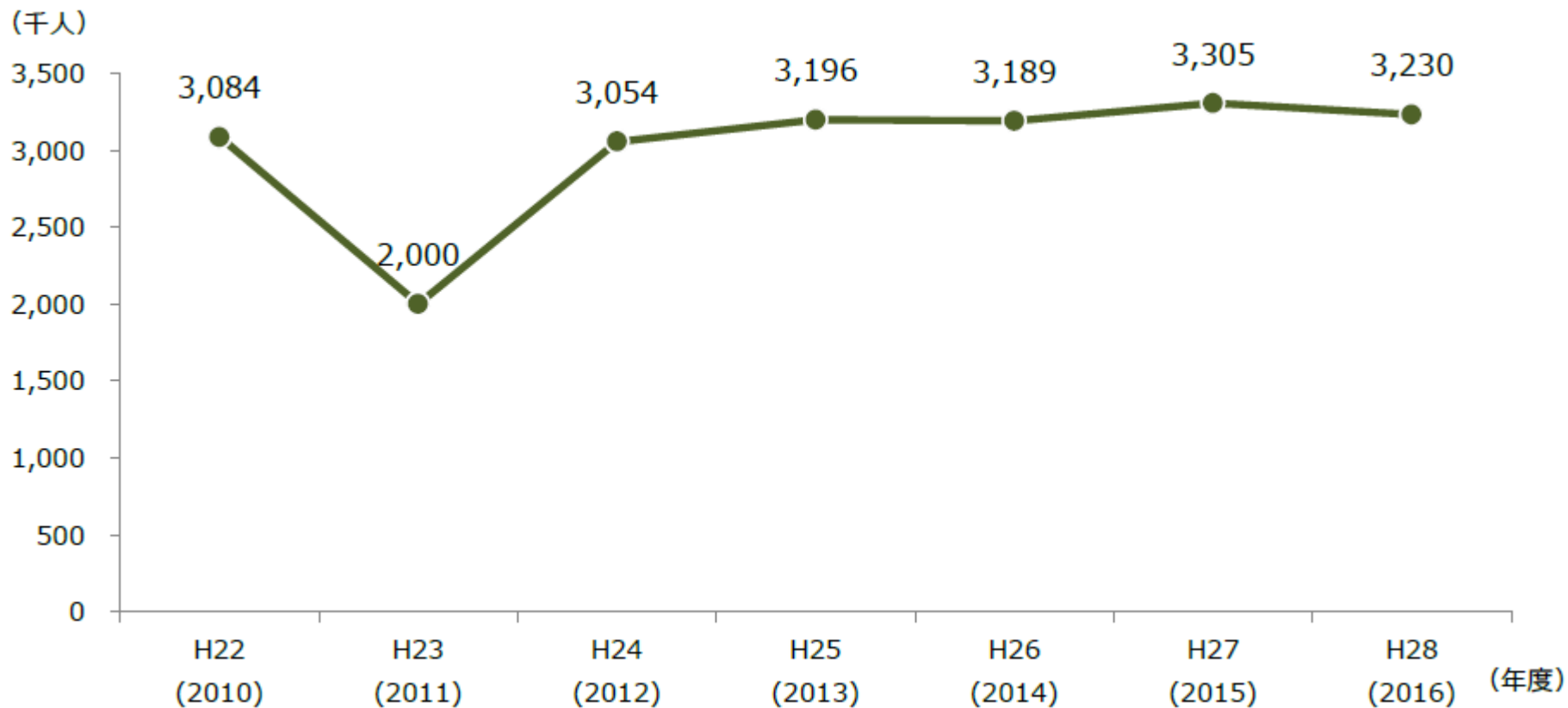
視点⑤仙台で学ぶ・活かす

社会教育施設の利用者数は合計で約109万人であり、近年は横ばいである。
特にメディアテーク、天文台、科学館の利用者が多い。



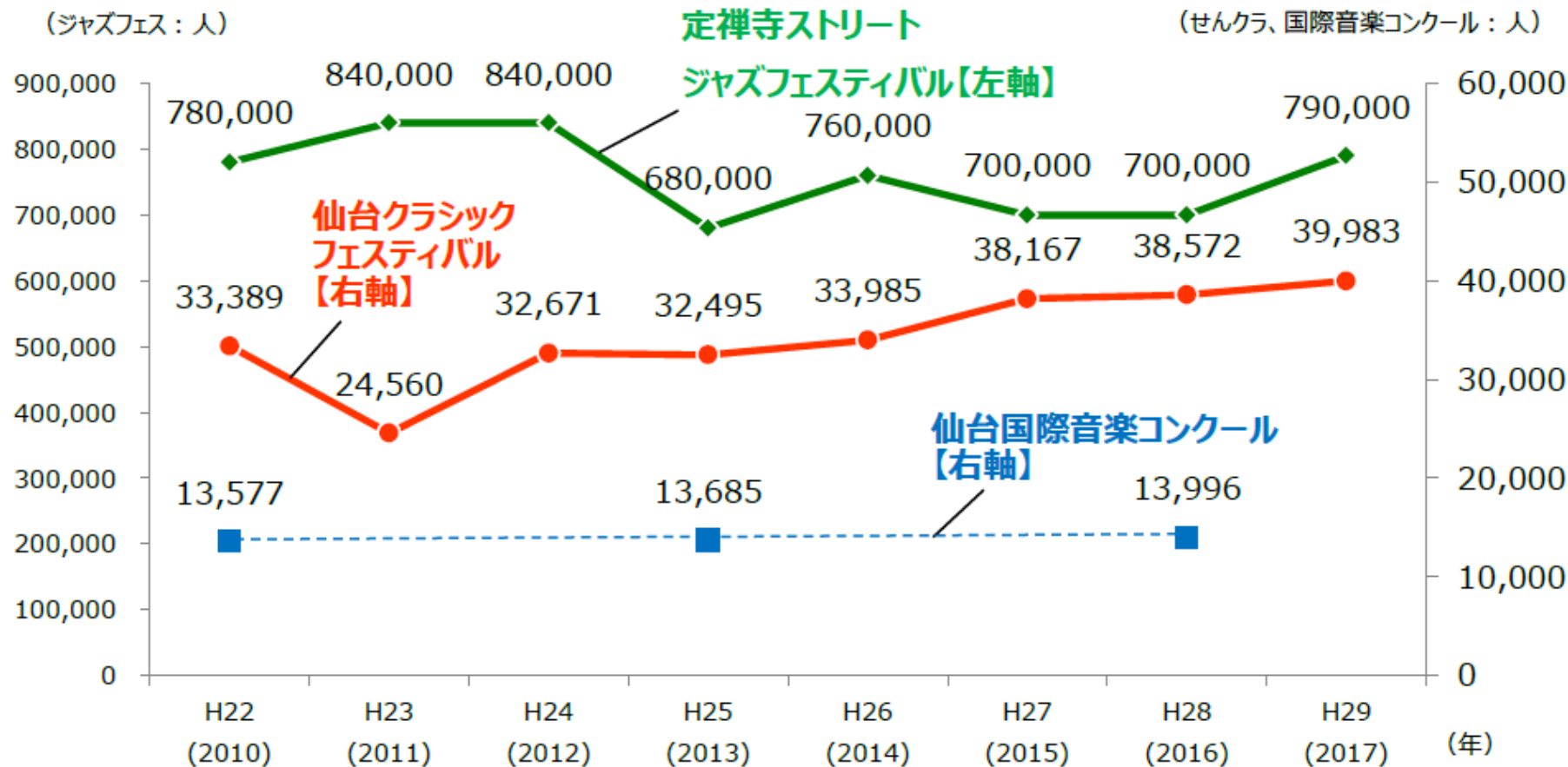
市民センターの利用者数

市民センターの利用者数は、近年約320万人で推移しており、震災前の水準を上回っている。



音楽イベントの来場者・参加者数

H29年の「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」の観客数は79万人。
また、仙台クラシックフェスティバルの観客数は増加傾向にある。



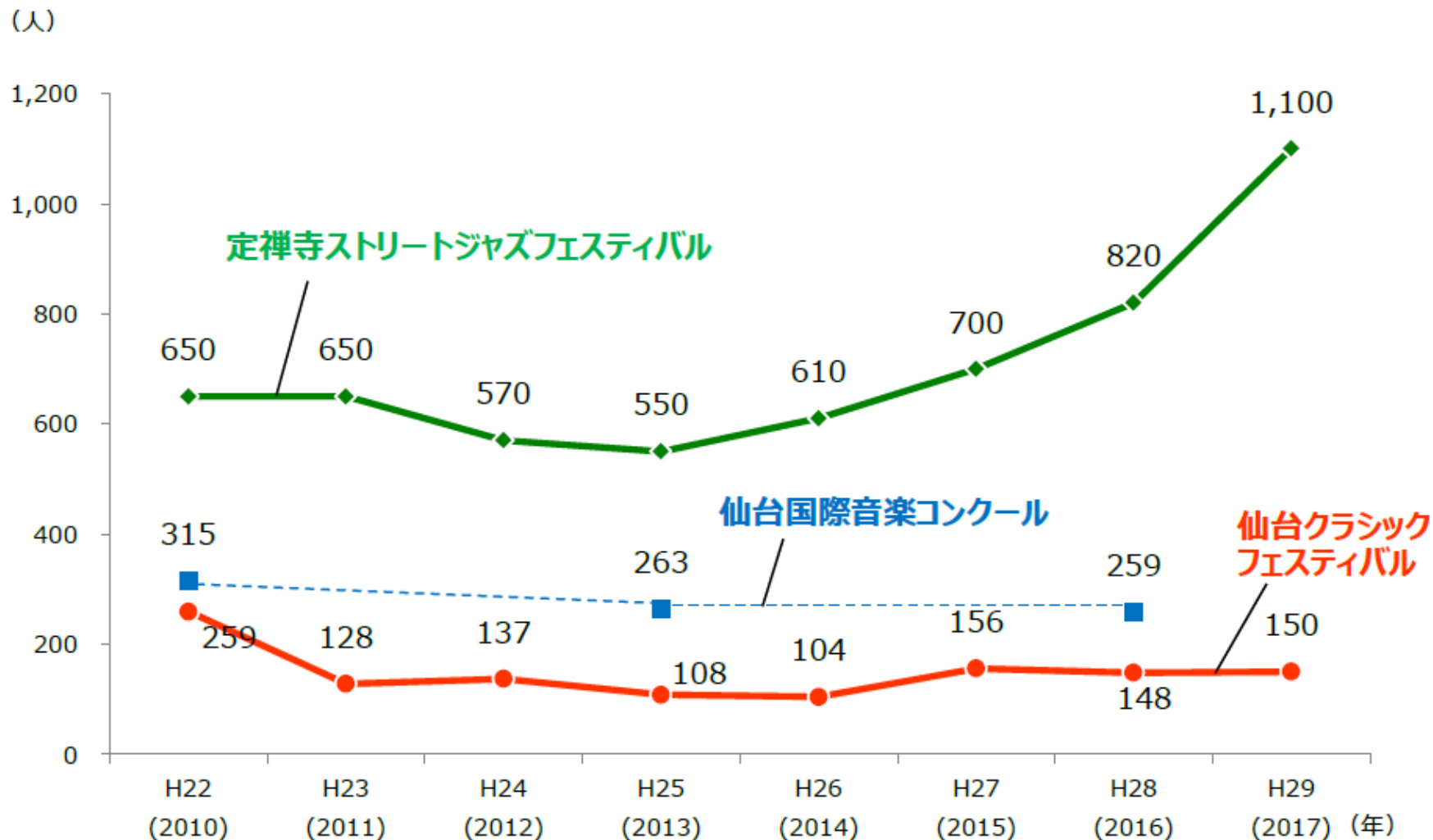
出典:文化観光局資料

注:定禅寺ストリートジャズフェスティバル=観客数。仙台クラシックフェスティバル=来場者数+出演者数の合計。仙台国際音楽コンクール=入場者+申込者(出演者含む)の合計。

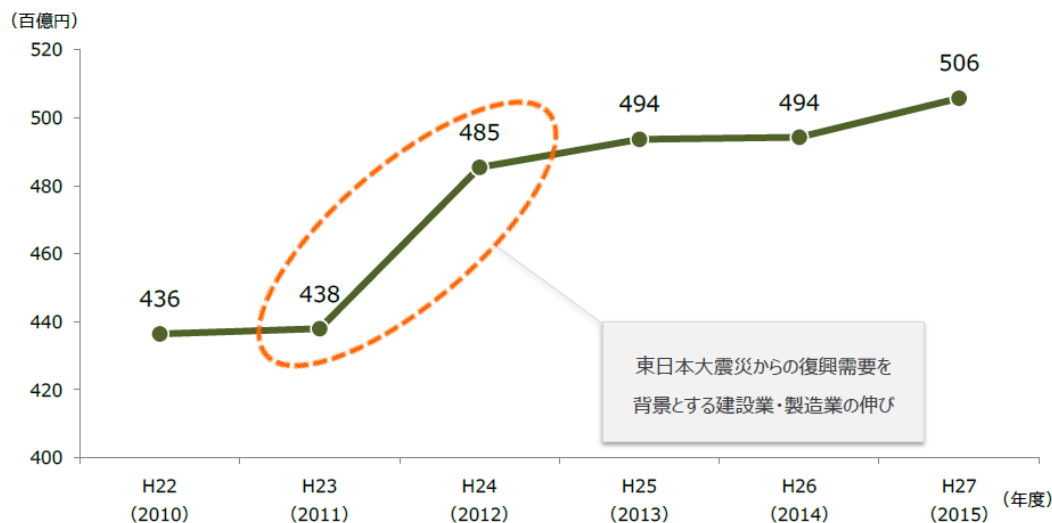
音楽イベントのボランティア数

視点⑤仙台で学ぶ・活かす

「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」のボランティア数は増加傾向。



H27年度の仙台市の市内総生産(名目)は約5兆円であり、復興需要を背景として、H24年度から増加傾向にある。政令市では10番目である。



政令市

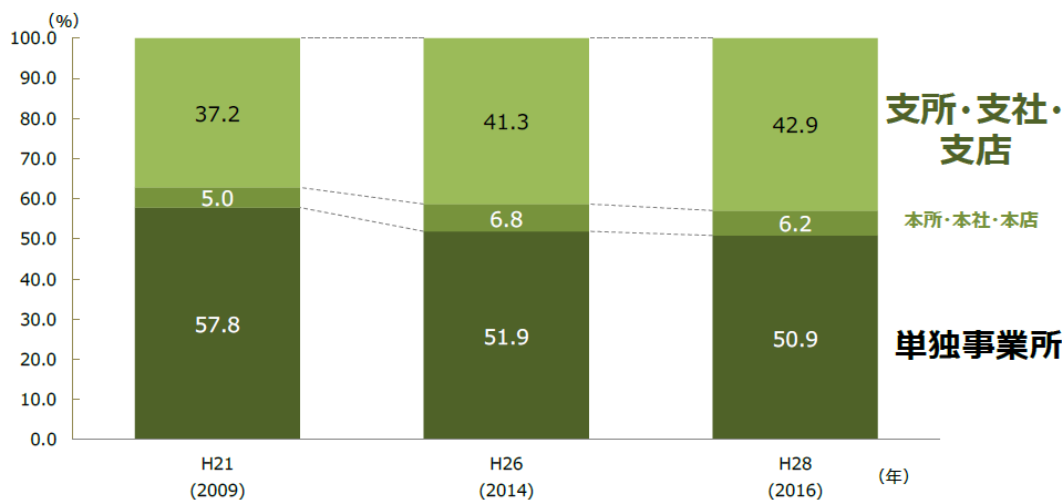


出典:【左】H27年度仙台市の市民経済計算(市民局)、【右】H26年度県民経済計算(内閣府)

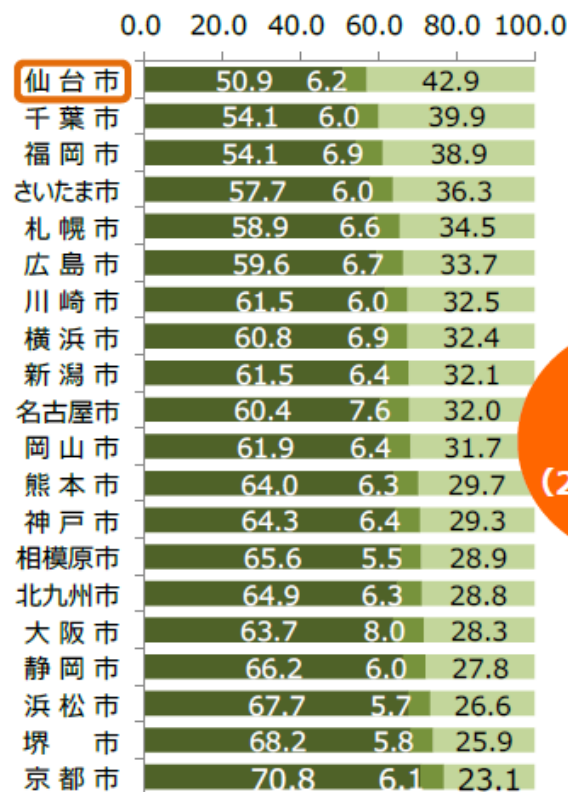
注:【左】県民経済計算標準方式「H23年基準」に準拠、【右】同「H17年基準」に準拠

単独・本所・支所別民営事業所

民営事業所のうち「支所・支社・支店」の割合は政令市では最も高く、「単独事業所」の割合は最も低い。



政令市



支所の割合
1位
(20政令市中)

(H28年、%)

出典:経済センサス-基礎調査結果(総務省統計局)、経済センサス-活動調査結果(総務省・経済産業省)

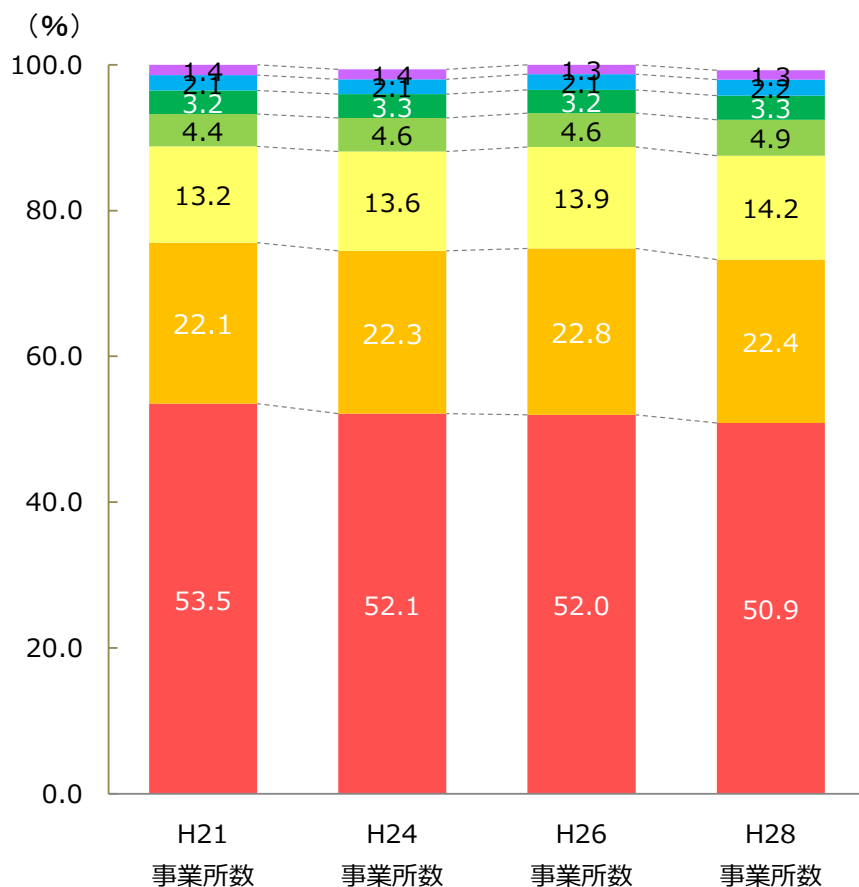
注:A~R全産業(S公務を除く)。H24年は「外国の会社、法人でない団体」を含んでいないため、除外している。

従業者規模別民営事業所数及び従業者数

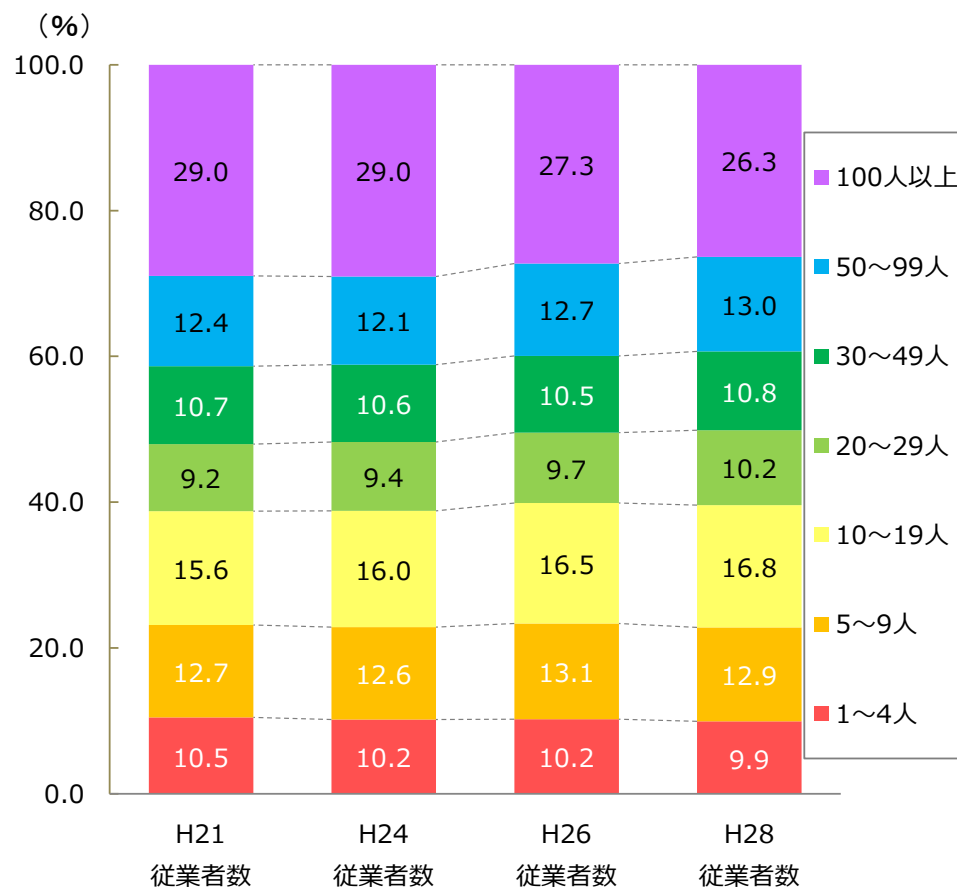
視点⑥仙台で働く

「1～4人」の事業所が5割を超えている。また、「100人未満」の事業所の従業者数はおよそ75%を占めている。

【事業所数】



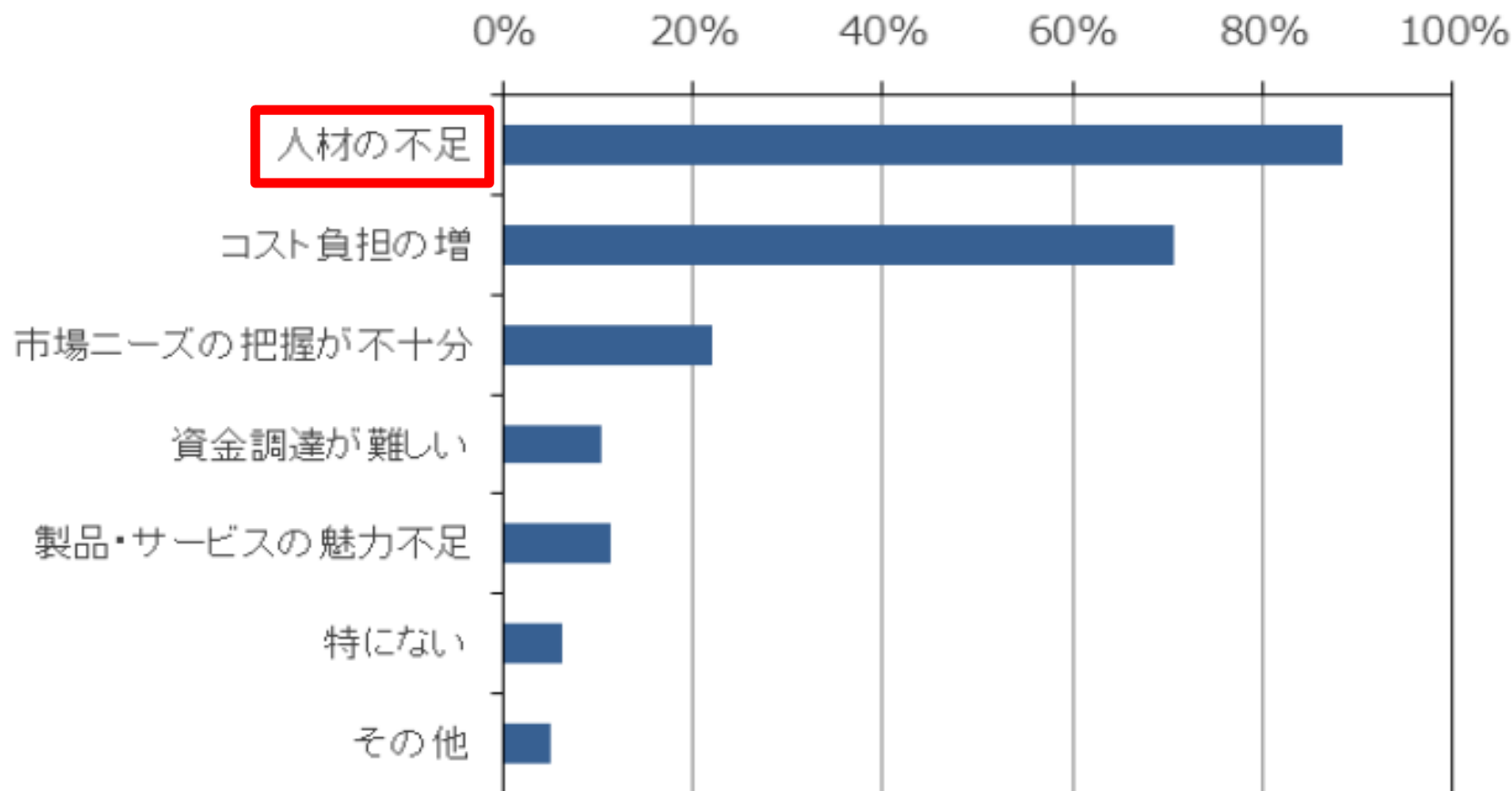
【従業者数】



出典:経済センサス-基礎調査結果(総務省統計局)、経済センサス-活動調査結果(総務省・経済産業省)

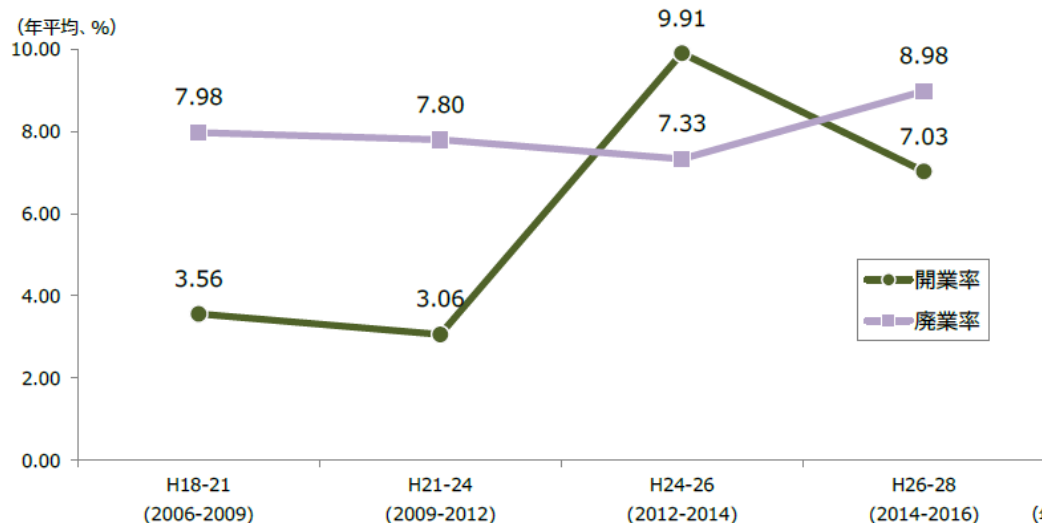
注:A～R全産業(S公務を除く)。「派遣従業者のみ」事業所は除く。

中規模事業所に対する実態調査では、約9割が「人材の不足」を事業展開の阻害要因として挙げている。

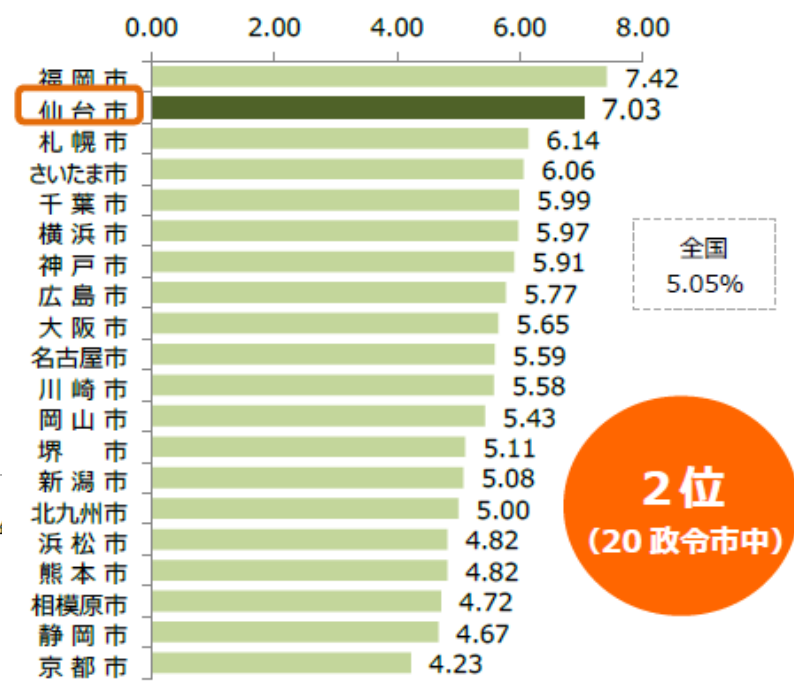


新規開業率・廃業率

新規開業率は震災を契機に上昇し、H26年～28年においても依然高くなっている。
 新規開業率は政令市では2番目に高い。



政令市 新規開業率

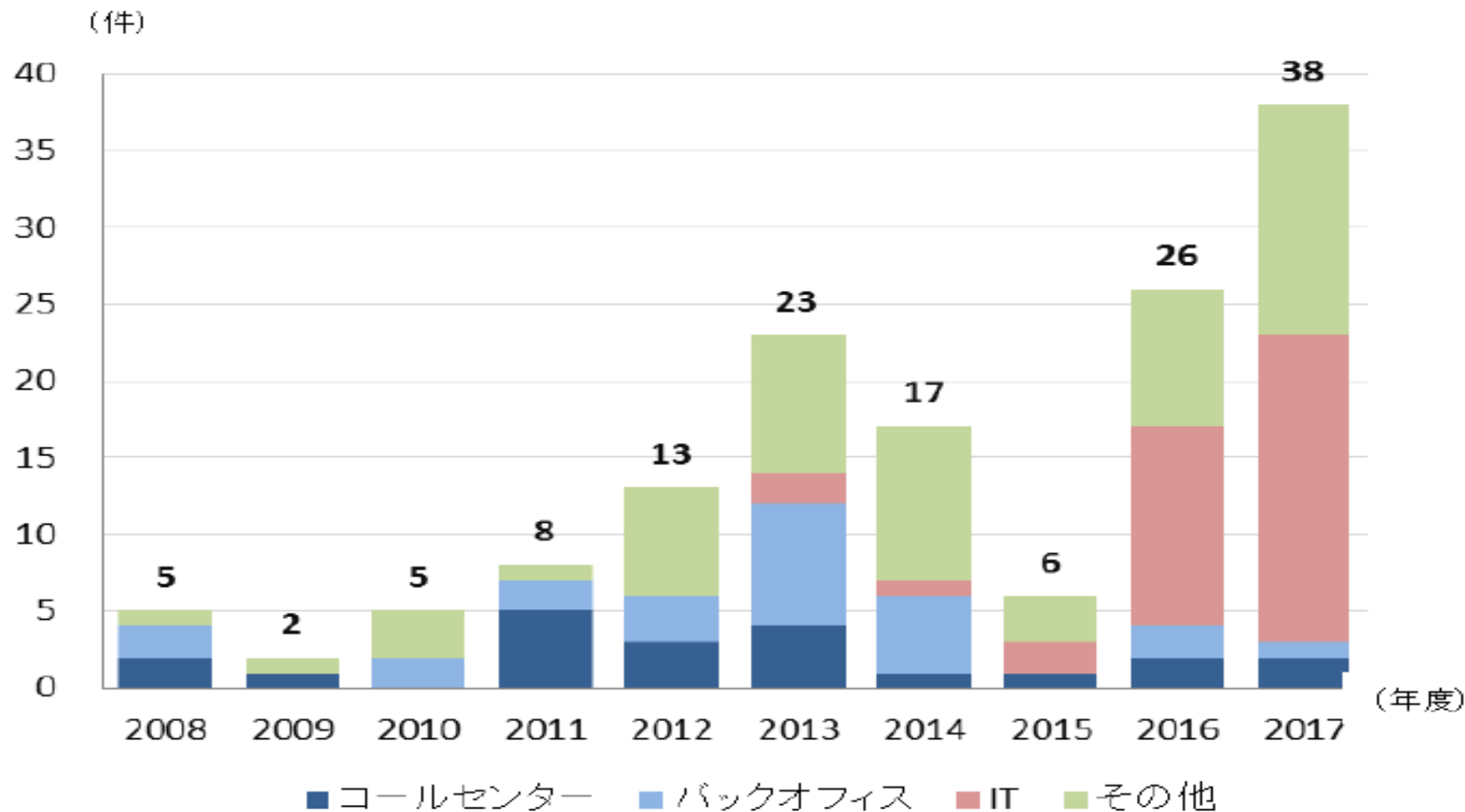


(H26-28年、%)

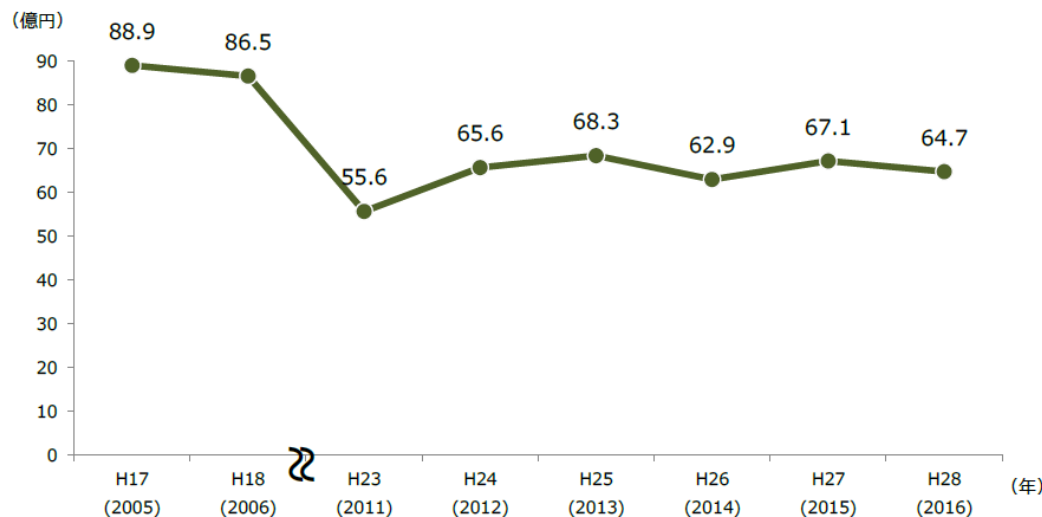
出典:H18年事業所・企業統計調査(総務省統計局)、経済センサス-基礎調査結果(総務省統計局)、経済センサス-活動調査結果(総務省・経済産業省)
 注:新規開業率とは、ある特定の機関において、「①新規に開設された事業所を年平均にならした数」の「②期首において既に存在していた事業所」に対する割合。廃業率も同様。

企業誘致件数の推移

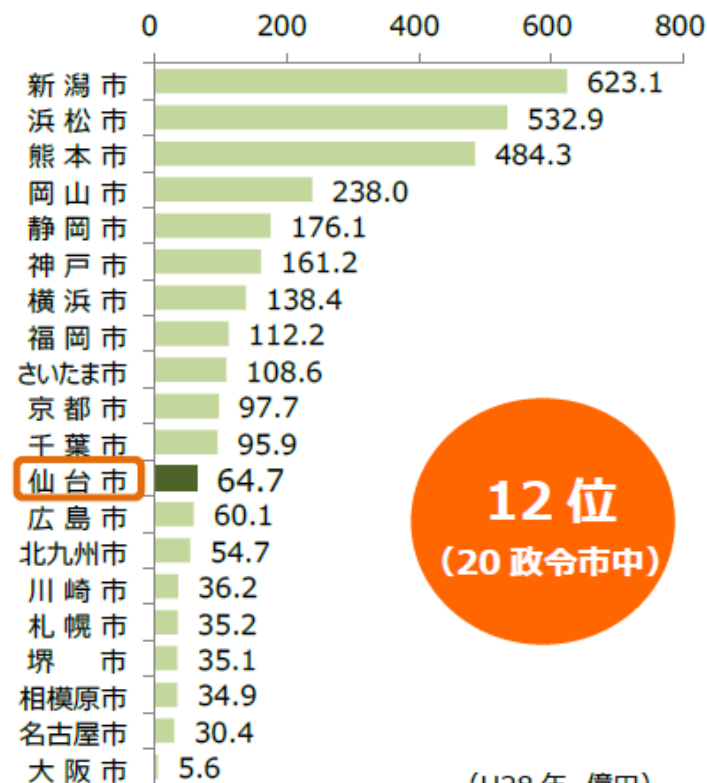
特にICT関連企業の進出が進み、H29年度(2017年度)には過去最高の誘致件数となった。



H28年時点で農業産出額は64.7億円であり、震災後に減少した。政令市では12番目である。



政令市



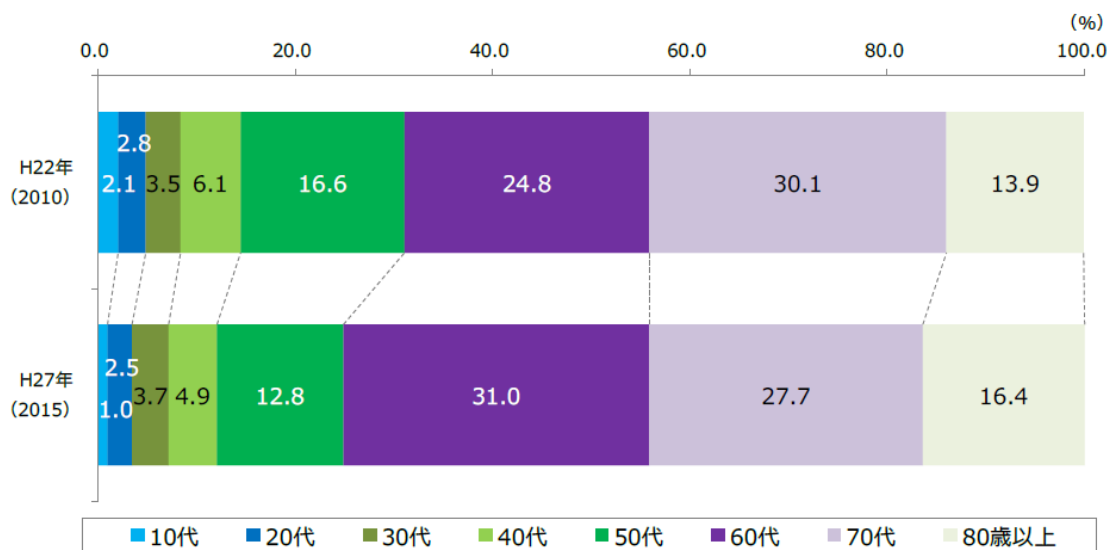
12位
(20政令市中)

(H28年、億円)

農業就業人口

視点⑥仙台で働く

農業就業人口は60代以上が約75%を占めており、高齢化が進んでいる。
政令市では10番目である。



政令市



農業就業人口
10位
(20政令市中)

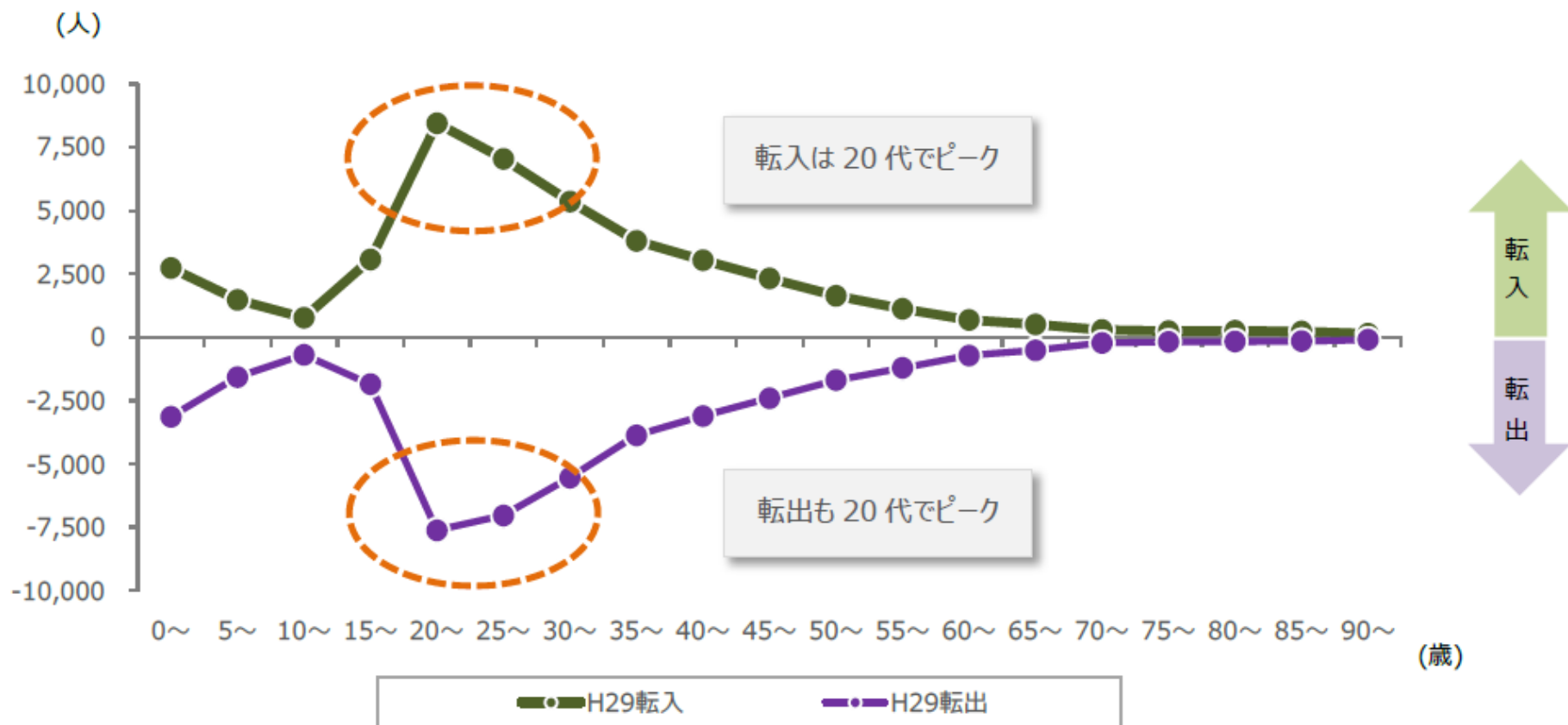
(H27年、人)

出典:農林業センサス(農林水産省)

注:政令市の比較では、農業就業人口を示す(自営業として主に従事した世帯員数)

年齢階級別転入・転出状況

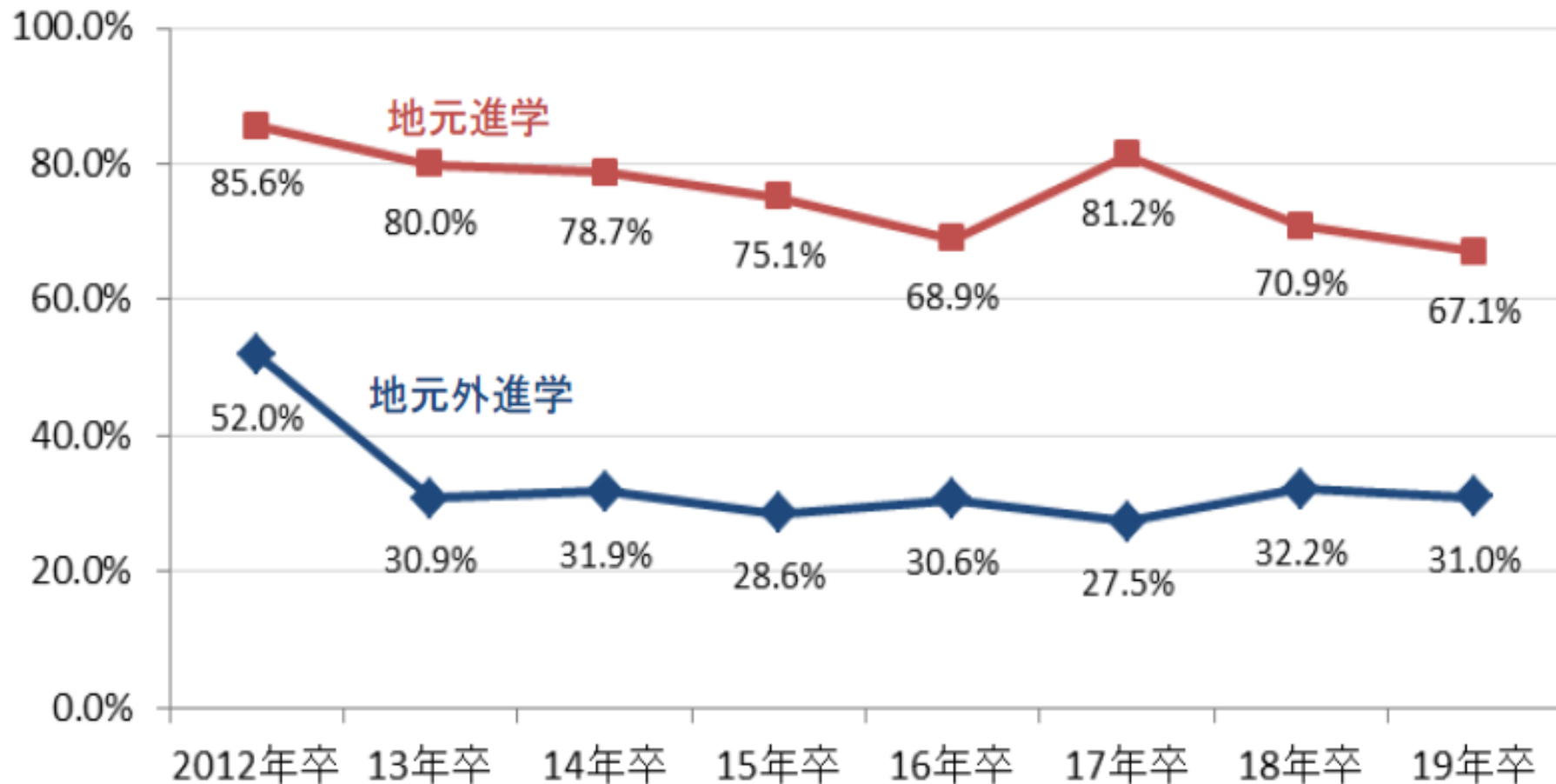
転入・転出のピークはともに20代となっている。



東北地方の地元就職希望割合の推移

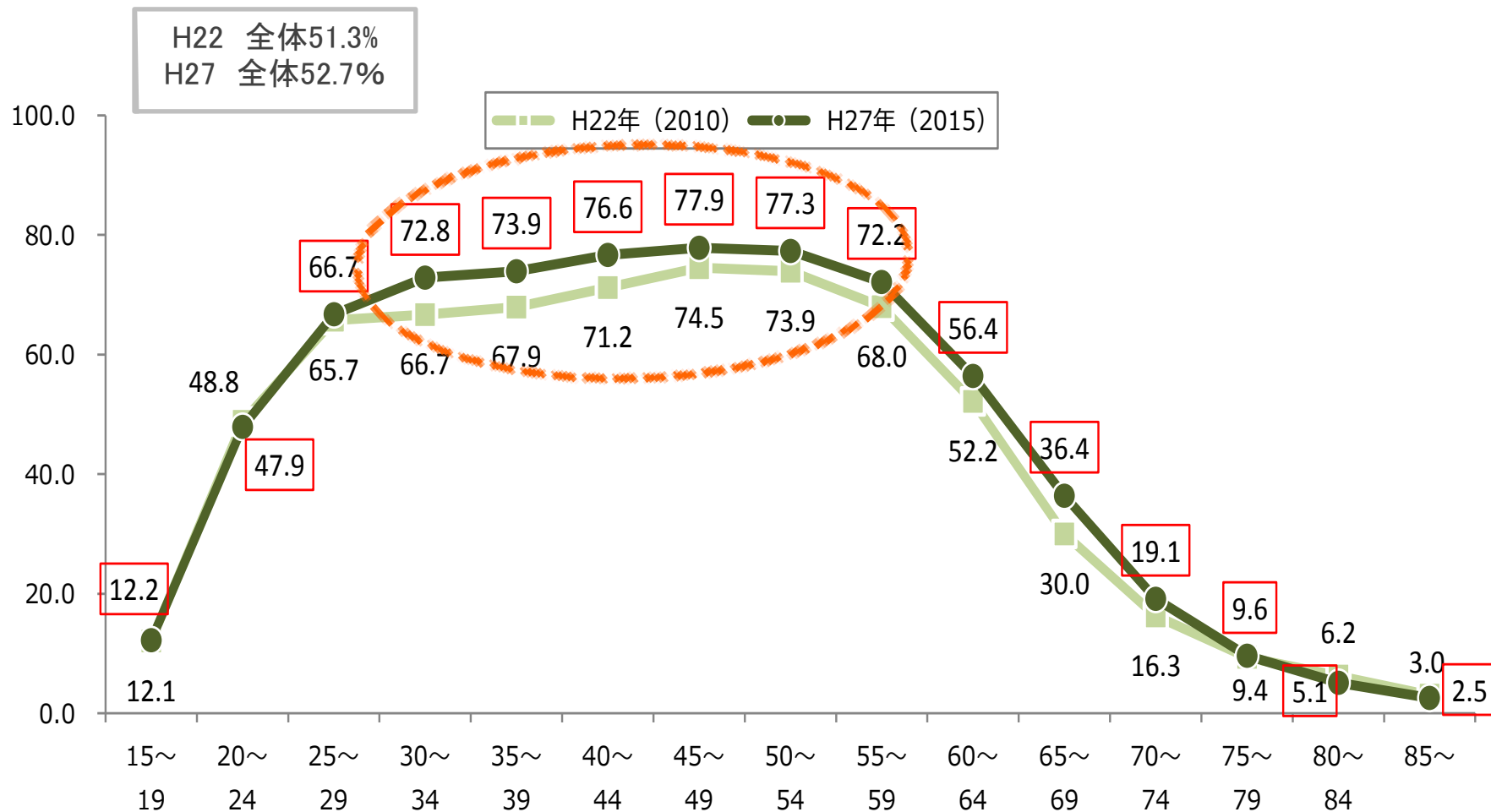
視点⑥仙台で働く

東北6県の高校を卒業した大学生について、地元(東北域内)への就職希望割合をみると、地元進学(進学)の学生が67.1%であるのに対し、地元外進学(進学)の学生は31.0%と大幅に低くなっている。



年齢階級別就業率

就業率のピークは30～59歳で70%台であり、全体的に就業率が上昇している。

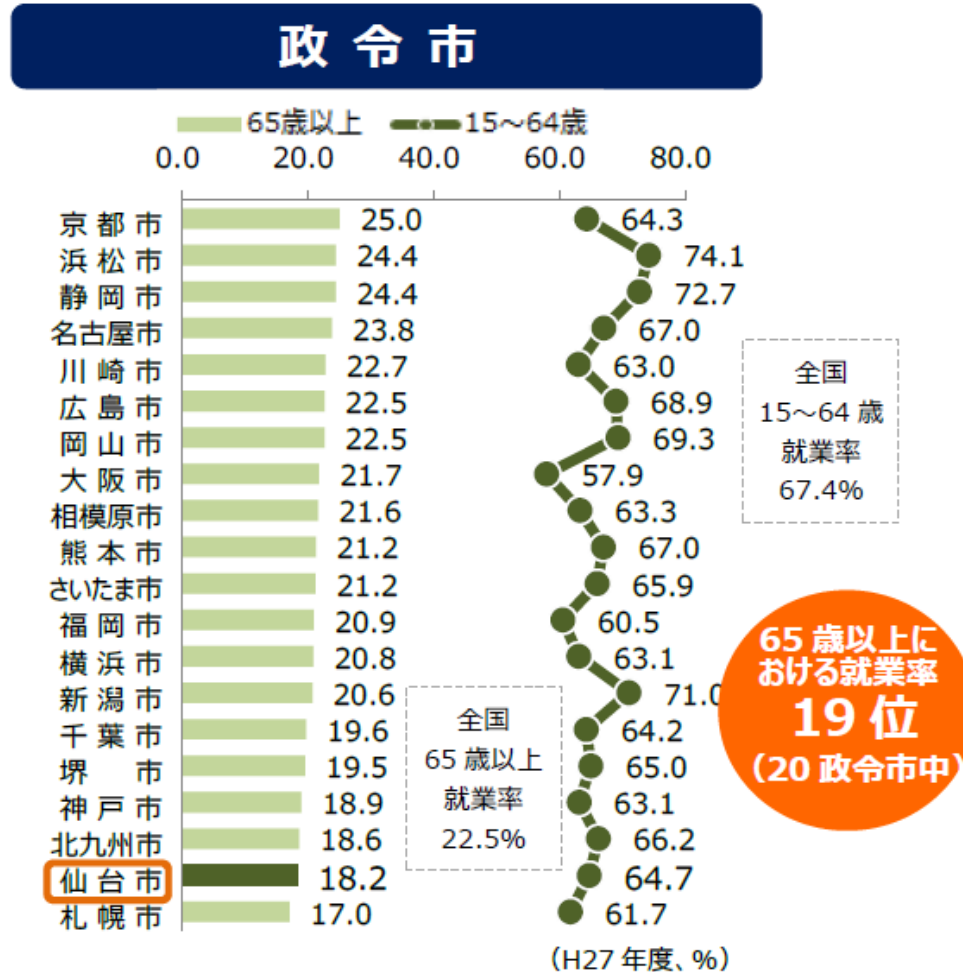


出典:H27年国勢調査結果(総務省統計局)

注:年齢別就業率は、(15歳以上)年齢別の総人口に占める就業者の割合。年齢別就業率(%)=年齢別就業者/年齢別総人口×100

年齢階級別就業率(政令市比較)

15～64歳の実業率は政令市では中位であるが、65歳以上の就業率は19番目である。



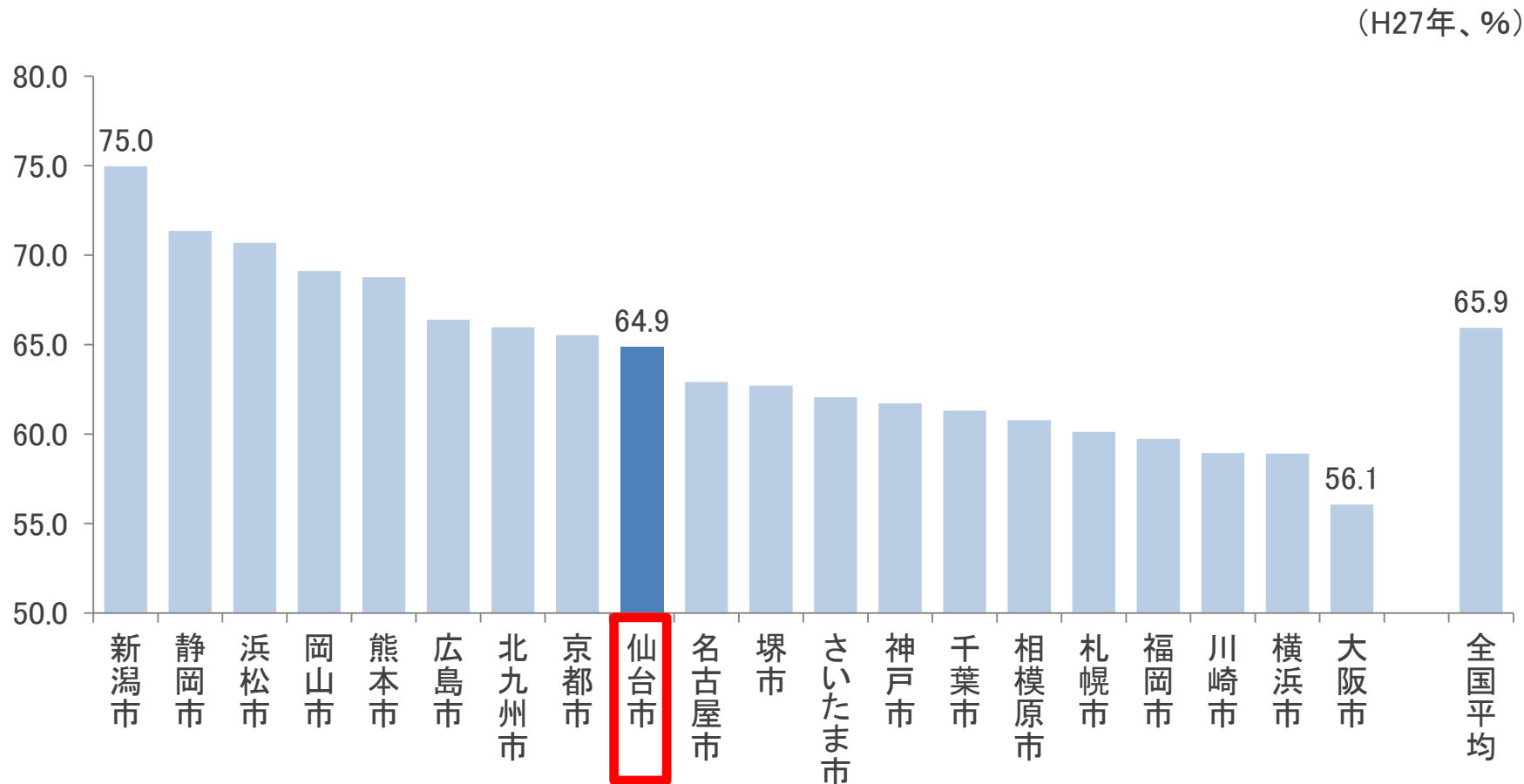
出典:H27年国勢調査結果(総務省統計局)

注:年齢別就業率は、(15歳以上)年齢別の総人口に占める就業者の割合。年齢別就業率(%)=年齢別就業者/年齢別総人口×100

女性(25～44歳)の就業率

視点⑥仙台で働く

女性(25～44歳)の就業率は政令市では9番目だが、全国平均を下回っている。

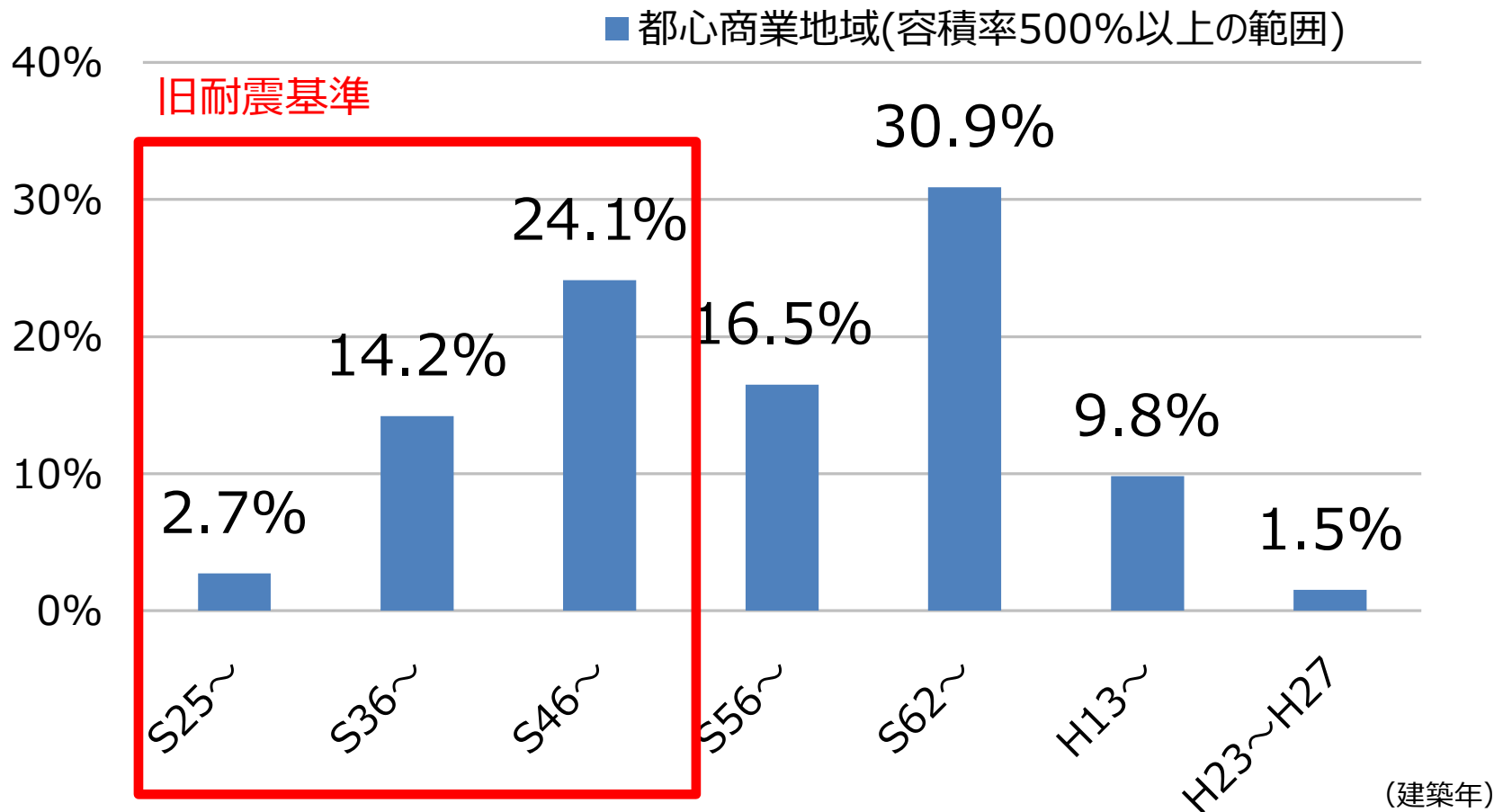


出典:H27年国勢調査結果(総務省統計局)

注:女性(25～44歳)の就業率(%)=女性(25～44歳)の就業者/女性(25～44歳)の総人口×100

旧耐震基準の建築物の割合

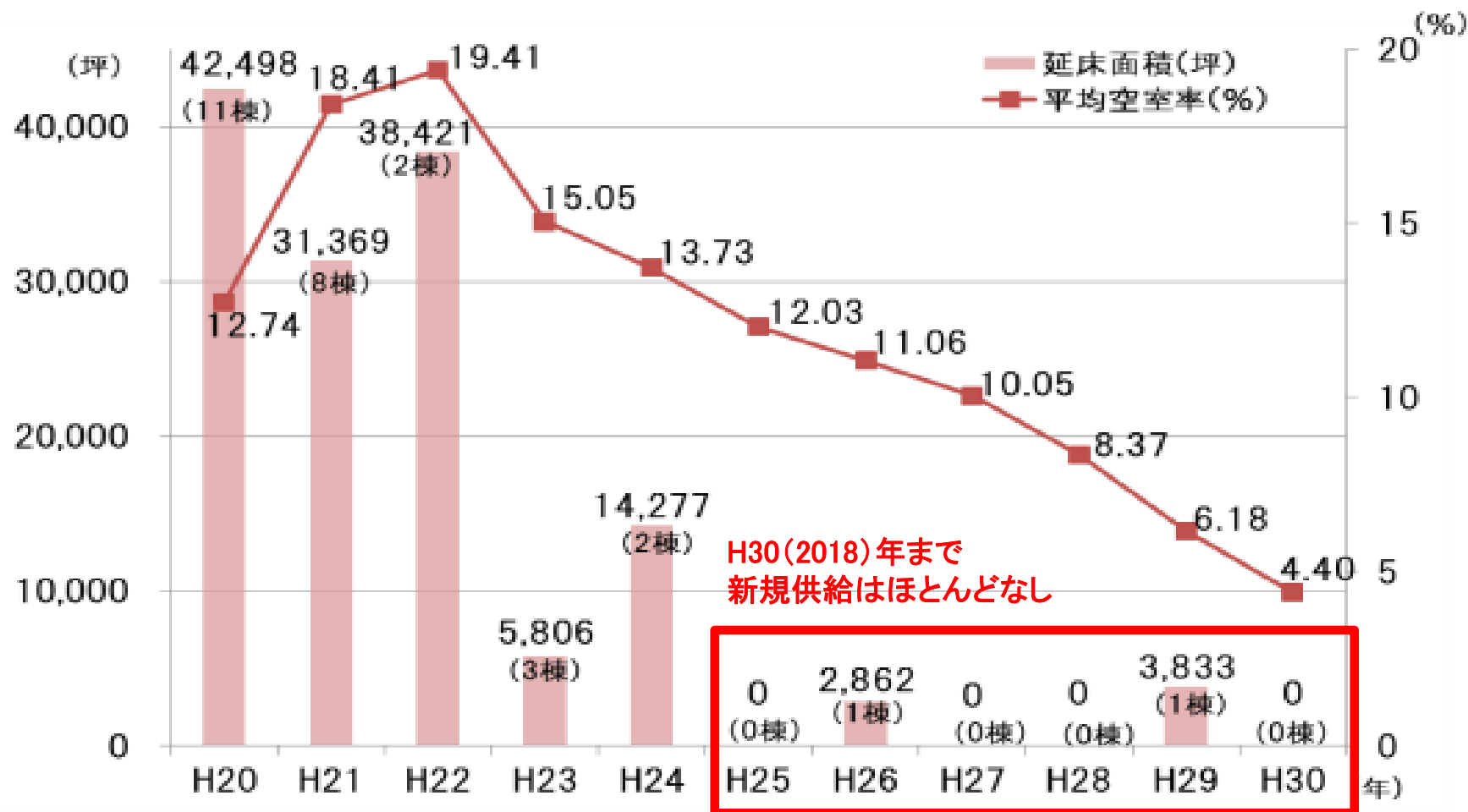
都心のオフィスビルのうち、旧耐震基準（S56年より前）の建物は41%であり、更新が進んでいない。



新築ビルの供給量と空室率の推移

視点⑦ 躍動する仙台を創る

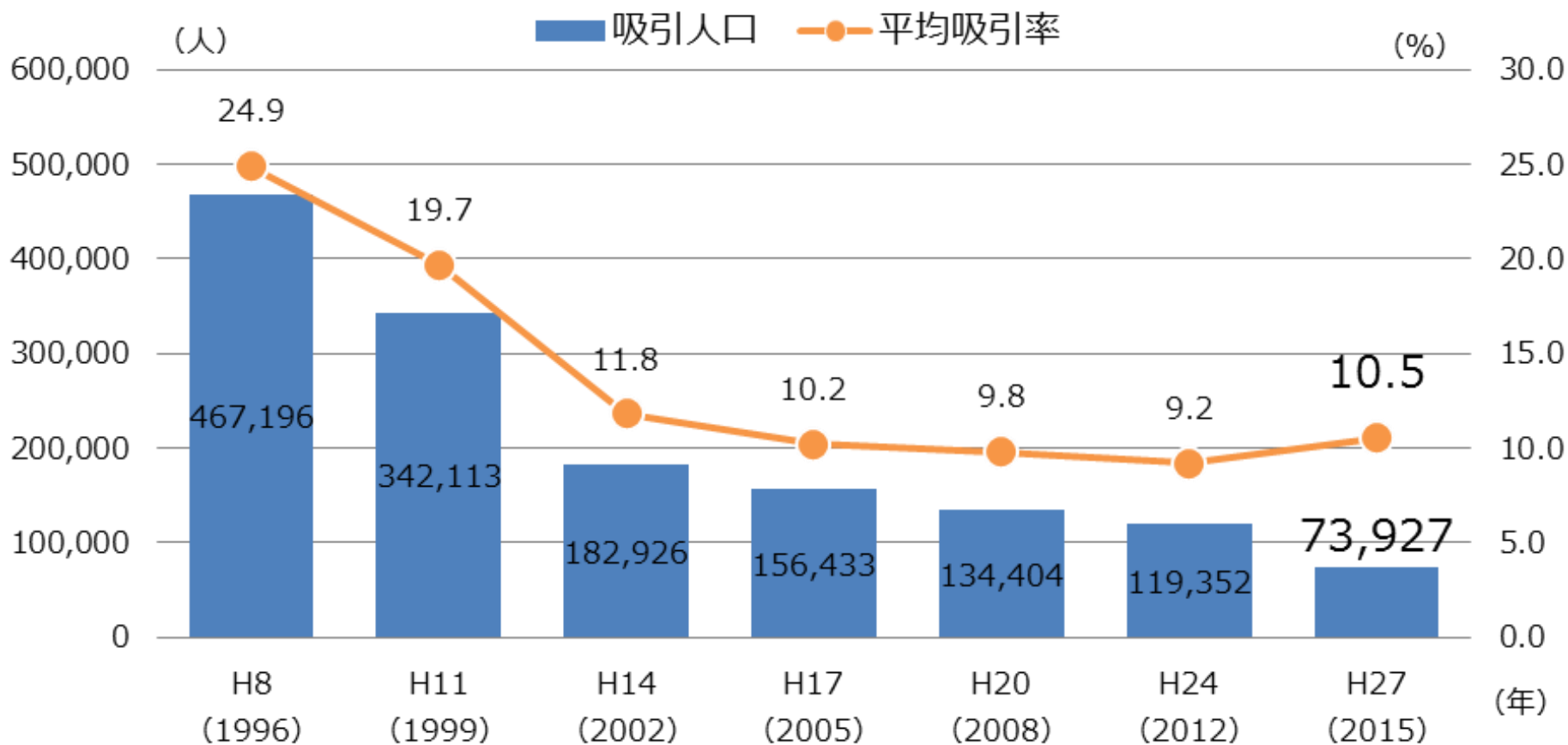
H30(2018)年まで新築オフィスビルの新規供給はほとんどなく、オフィスビルの平均空室率は年々改善(低下)が進んでいる。



中心部商圈の吸引人口

視点⑦躍動する仙台を創る

中心部(仙台駅前～一番町周辺)の商圈は縮小傾向にあり、吸引人口は一貫して減少している。H27年は、H8年の約15%にまで縮小している。

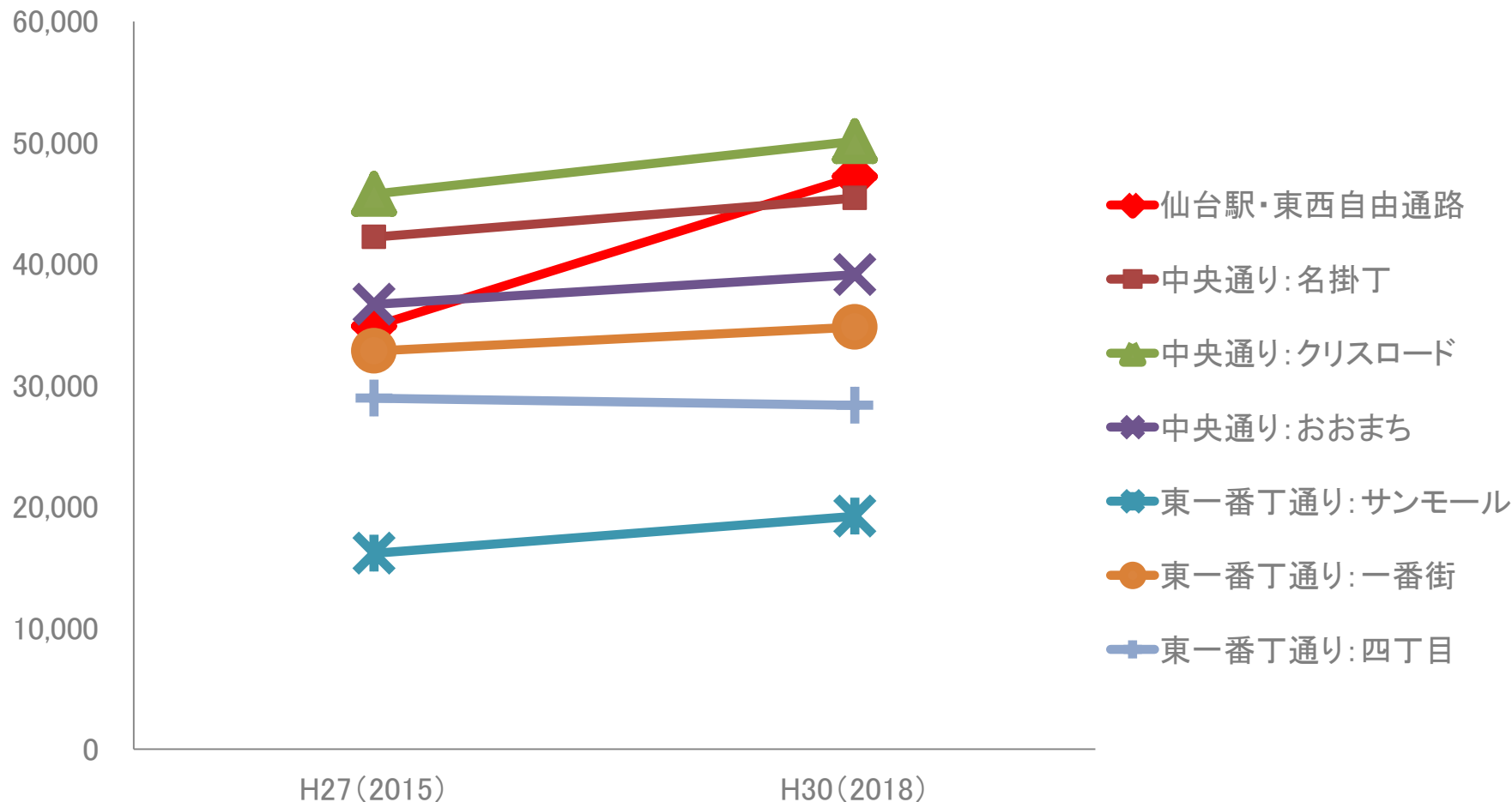


出典:宮城県の商圈(宮城県)

注:吸引人口=商圈人口に買回品の購買先支持率を乗じて得た数値。平均吸引率=吸引人口を商圈人口で除して得た数値。

中心部歩行者通行量(休日)

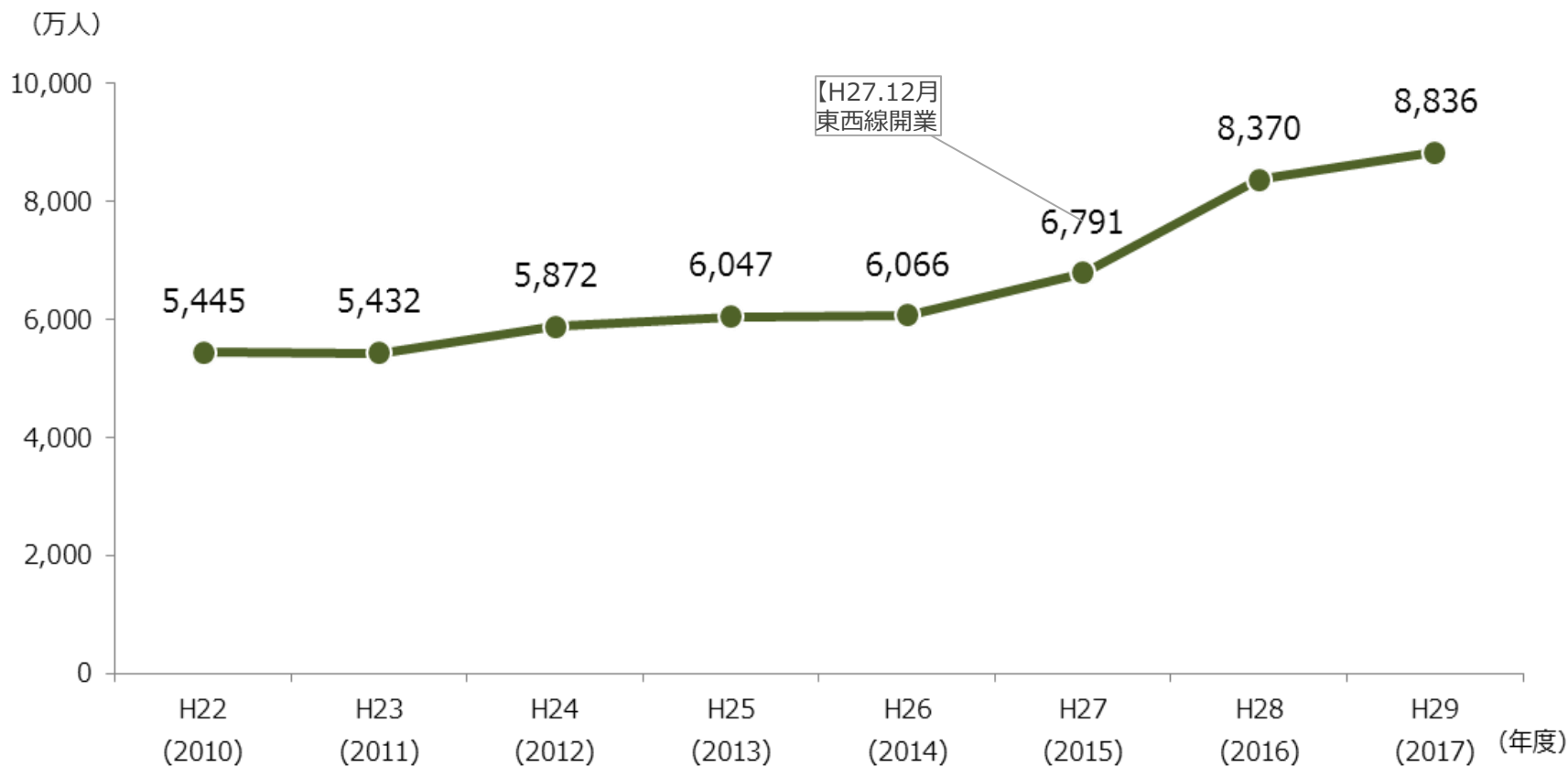
「仙台駅・東西自由通路」は増加傾向であり、都心の中でも仙台駅周辺へ人の流れが集中している。



地下鉄乗車人員数

視点⑦躍動する仙台を創る

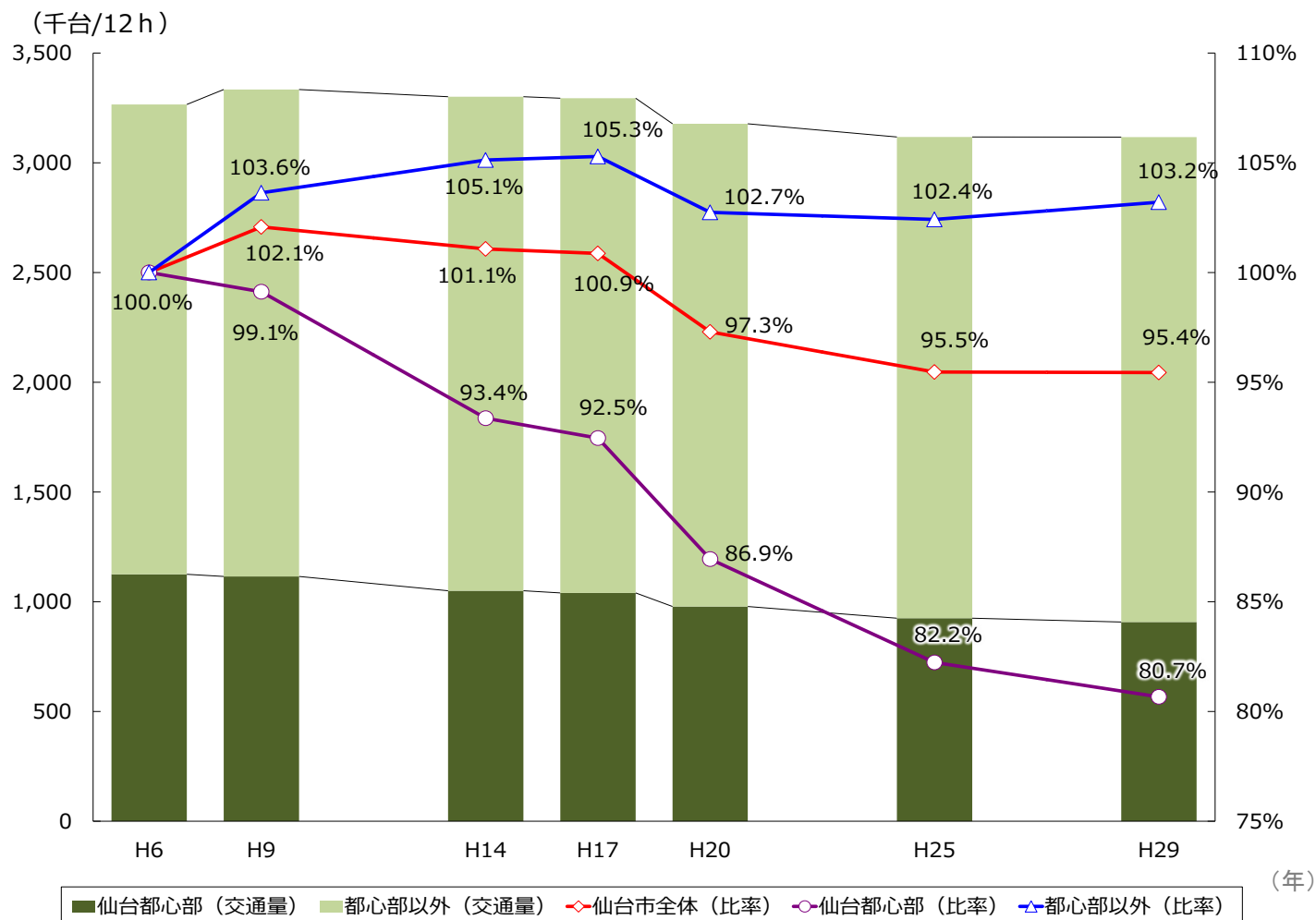
東西線開業を機に地下鉄乗車人員数は増加している。H29年度の地下鉄乗車人員数は、地下鉄東西線開業前と比べて、延べ2,800万人増加している。



市内の主要交差点自動車交通量

視点⑦躍動する仙台を創る

市全体の主要交差点における自動車交通量は、H9年をピークに減少傾向。都心部は一貫して減少しており、H29年はH6年と比べて約20%減少している。



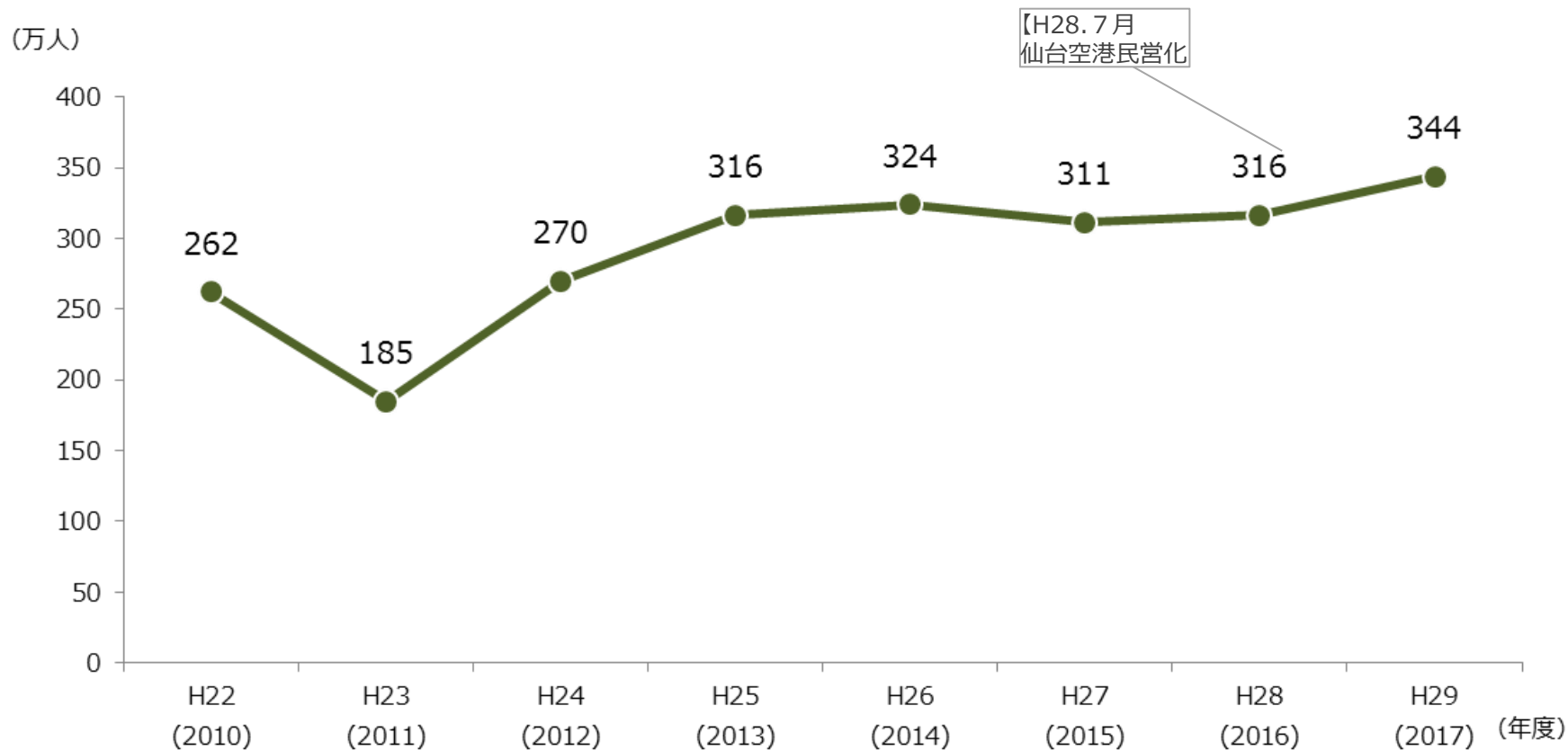
出典:都市整備局資料

注:交差点交通量調査。仙台市内の84交差点(都心部24+都心部以外60)を対象。7~19時の12時間交通量。

仙台空港乗降客数

視点⑦躍動する仙台を創る

H29年度の仙台空港乗降客数は300万人を超え、過去最高を記録している。

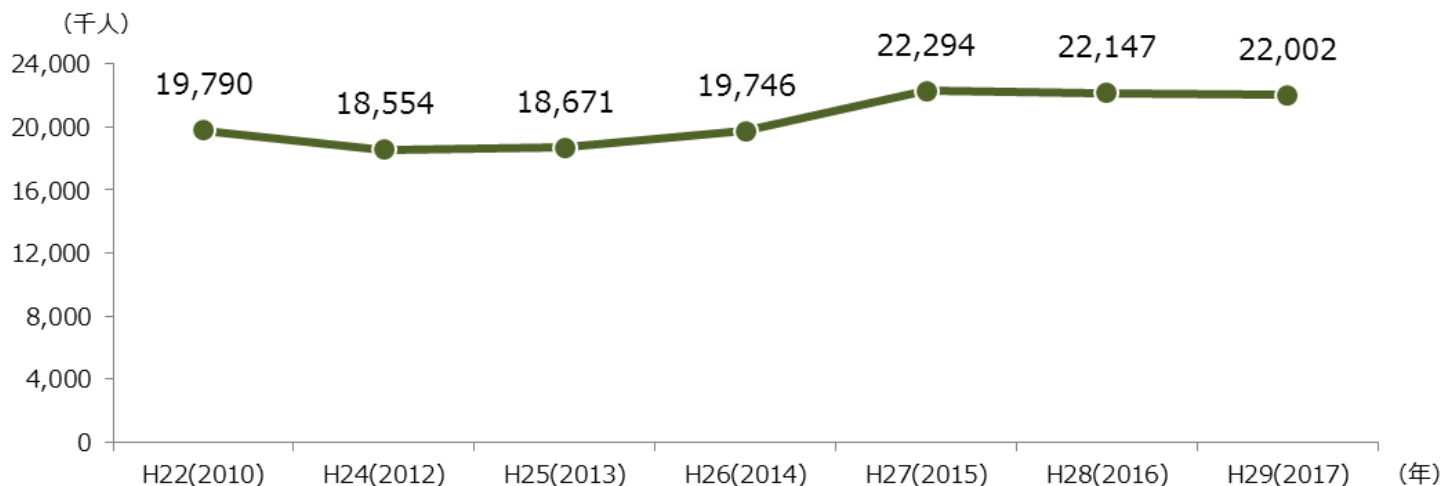


観光客入込数

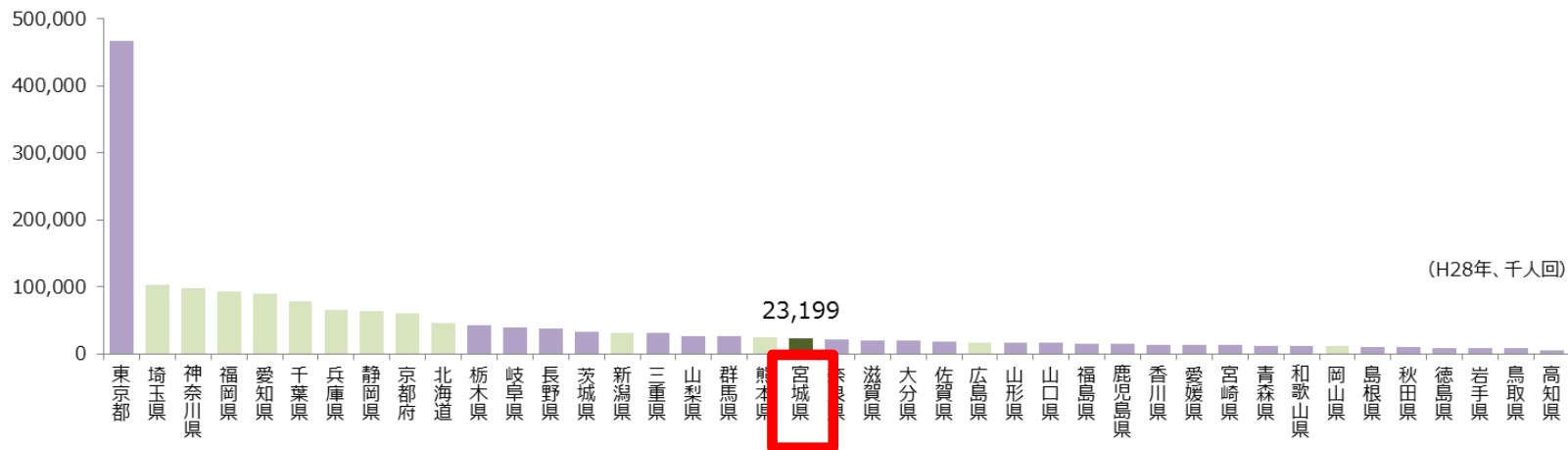
視点⑦ 躍動する仙台を創る

H29年の観光客入込数は2,200万人であり、近年は横ばいで推移している。
政令市を含む道府県では3番目に低い。

【仙台市】



【都道府県】



出典:【上】仙台市観光統計基礎データ(文化観光局)、【下】共通基準による観光入込客統計(観光庁)

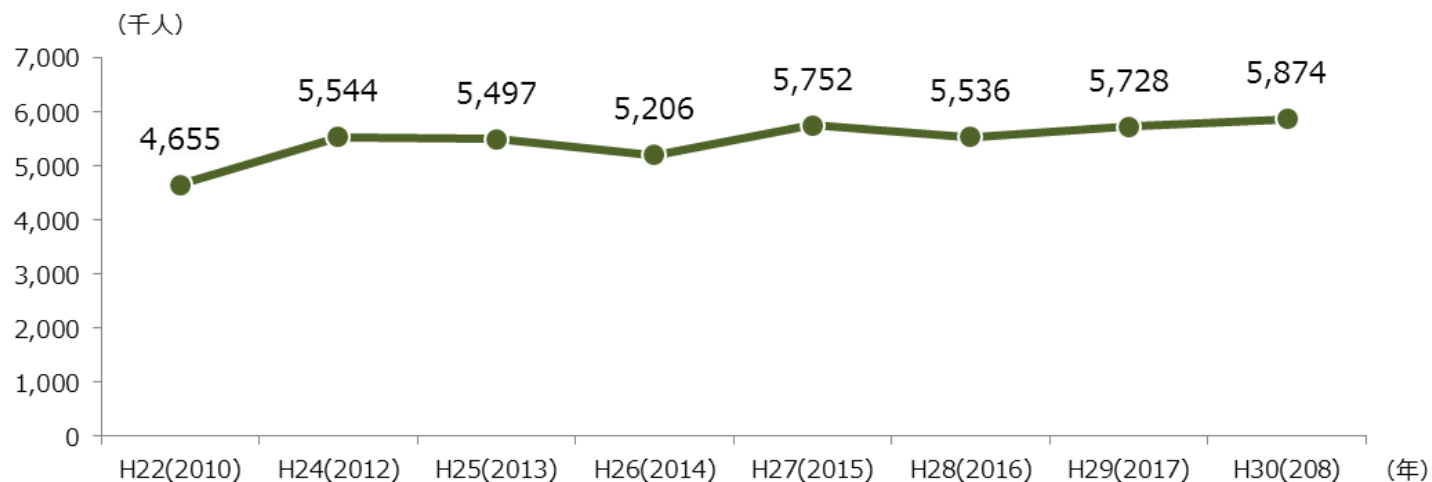
【下】富山県、石川県、福井県、大阪府、長崎県、沖縄県はデータなし。

宿泊者数

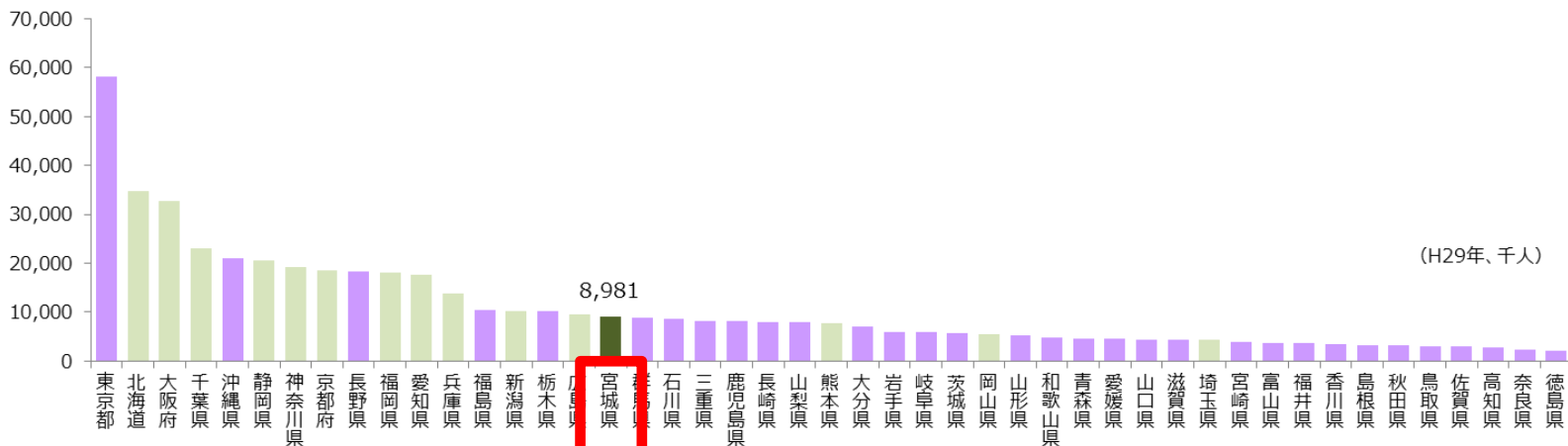
視点⑦ 躍動する仙台を創る

H30年の宿泊者数は587万人であり、近年は増加傾向にある。
政令市を含む道府県では4番目に低い。

【仙台市】



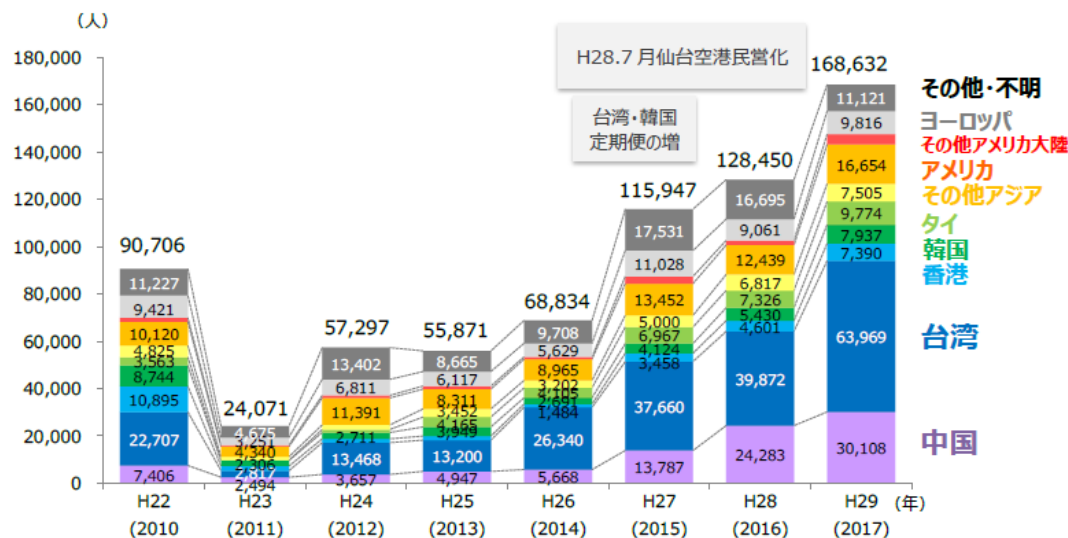
【都道府県】



外国人宿泊者数

視点⑦躍動する仙台を創る

外国人宿泊者数は年々増加し、H29年には16.8万人となり、3年連続で過去最高を更新している。政令市を含む道府県では3番目に低い。



政令市を含む道府県



出典:【左】仙台市観光客統計基礎データ(文化観光局)、【右】宿泊旅行統計調査(観光庁)

注:外国人延べ宿泊者数と国籍ごとの宿泊者数の和は一致しない。【右】対象は従業員数10人以上の施設。

コンベンション開催数・参加者数

視点⑦躍動する仙台を創る

H28年に開催された国際会議は115件であり、G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議等の開催により、参加者数は9万人を超えた。参加者数は、政令市では7番目である。

